

CP-NW200T Ethernet Board マニュアル

CP-NW200T のセットアップ方法と操作方法について記載されています。



~ ごあいさつ ~

この度は、CASIO Ethernet Board CP-NW200T をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は、CASIO SPEEDIA N6000シリーズ, N5000シリーズ, SPEEDIA N5シリーズ, SPEEDIA N4-614シリーズ, SPEEDIA CP-E8500シリーズ, SPEEDIA CP-E8000シリーズ のプリンタを Ethernet へ直接接続するためのインターフェイスボードです。 これにより、Ethernetケーブルが 敷設されている所であればどこにでもプリンタを設置することができます。(敷設されている10Base-T/100Base-TX規格のコンセントレータ(Hub)へ、 10Base-T/100Base-TXケーブルで接続して使用します。)

また、本マニュアルは「CASIO Ethernet Board CP-NW200T」を正しくご使用いただくための基本的な取り扱い方法等について記載してあります。 本マニュアルの各機能を十分にご理解の上、「CASIO Ethernet Board CP-NW200T」を正しくお使いいただくようお願いいたします。 なお、ご使用にあたっては、ネットワーク管理者の方の指導のもとに運用してください。

~ 電波障害自主規制について ~

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく クラスA 情報技術装置です。この装置 を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こす事があります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要請さ れることがあります。

~ 高長波対策について ~

本製品は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン(家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠)に適合しています。

~ ご注意 ~

- (1)本マニュアルでは、「CASIO Ethernet Board CP-NW200T」を『LANボード』と呼称しています。また、「Ethernet」を『LAN』と呼称しています。
- (2) 本マニュアル及び、本マニュアルに記載のLANボード用ユーティリティソフトウェア(以下、単にソフトウェア)の著作権は、カシオ計算機株式 会社およびカシオ電子工業株式会社の所有です。
- (3) 本ソフトウェアの一部または、全部を無断で使用、複製することは禁止します。
- (4) 本ソフトウェアの仕様ならびに、記載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (5) 本マニュアルに記載されなかった最新の情報や各種ダウンロードサービスをインターネットでご提供しております。

http://www.casio.co.jp/ppr/

- (6) 本マニュアルでは、Microsoft Windows 95/98/MeをWindows 95/98/Meと表記しています。
- (7) 本マニュアルでは、Microsoft Windows NT Workstation 4.0 / Microsoft Windows NT Server 4.0をWindows NT 4.0と表記しています。
- (8) 本マニュアルでは、Microsoft Windows 2000 Professional / Microsoft Windows 2000 ServerをWindows 2000と表記しています。
- (9) 本マニュアルでは、Microsoft Windows XP Home Edition / Professional Edition をWindows XPと表記しています。
- (10) Windows 95/98/Me, Windows NT 4.0/2000/XPに関する操作や概要につきましては、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。
- (11) 本ソフトウェアの内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付のことがあ りましたらご連絡ください。
- (12) 本ソフトウェアを運用した結果の影響につきましては、(11) 項にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- (13)ご利用いただく環境によって、実際の画面表示と本マニュアル中の画面の図とで差異が見られる場合があります。あらかじめご了承ください。
- (14) CASIO、SPEEDIA は、カシオ計算機株式会社の登録商標です。
- (15) Microsoft、Windows、Windows NT は米国Microsoft Corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。
- (16) ノベル、Novell、NetWare は米国Novell,Inc.の米国ならびに他の国における登録商標です。
- (17) 本マニュアルに記載のその他の社名またはソフトウェア名、商品名は、一般に各社の商標もしくは登録商標です。

目 次

\sim ごあいさつ \sim	2
~ 電波障害自主規制について ~	2
 る長波対策について ~ 	2
~ ご注意 ~	
1. LANボードご利用の手順、およびハードウェアの設定	
1. LANボードご利用の手順、およびハードウェアの設定	
1. LANボードご利用の手順、およびハードウェアの設定 1.1. LANボードご利用の手順	
 LANボードご利用の手順、およびハードウェアの設定 1.1.LANボードご利用の手順 1.2.ハードウェアの構成	
 LANボードご利用の手順、およびハードウェアの設定 1.1.LANボードご利用の手順 1.2.ハードウェアの構成 1.3.動作設定用スイッチ (SW1)の設定	
 LANボードご利用の手順、およびハードウェアの設定 1.1.LANボードご利用の手順 1.2.ハードウェアの構成 1.3.動作設定用スイッチ (SW1)の設定 1.4. Ethemet アドレスについて 1.5.通信速度/通信モードについて 	
 LANボードご利用の手順、およびハードウェアの設定 1.1. LANボードご利用の手順 1.2. ハードウェアの構成 1.3. 動作設定用スイッチ (SW1)の設定 1.4. Ethemet アドレスについて 1.5. 通信速度/通信モードについて	
 LANボードご利用の手順、およびハードウェアの設定 1.1.LANボードご利用の手順	
 LANボードご利用の手順、およびハードウェアの設定 1.1.LANボードご利用の手順	

2. IP(Internet Protocol)環境でのソフトウェア設定	
2.1. サポートプロトコルについて	25
【表 2.1. -1. IP環境でのサポートプロトコルと機能概要】	25
2.1.1. IP(Internet Protocol)環境 にてLANボードを使用する際の設定確認	
2.1.2. IP(Internet Protocol)環境における印刷設定概要	27
2.2. MS-Windows XP/2000/NT4.0で印刷する際の設定【TCP/IP印刷機能利用の場合】	31
【表 2.2. -1. Windows NTにてご使用の際の注意事項】	31
2.2.1. MS-Windows XP で印刷する際の設定	
2.2.2. MS-Windows 2000 で印刷する際の設定	
2.2.3. MS-Windows NT 4.0 で印刷する際の設定	45
2.3. CP-LPRでのご利用について	49
2.3.1. インストール	50
2.3.2. CP-LPRを使用して印刷を行うプリンタの追加	53
2.3.3. プリンタポートの追加と設定	
2.3.4. プリンタの検索	63
2.3.5. CP-LPRの印刷	66
2.4. DHCPを使用する際の設定	69
2.4.1.DHCPを使用する際の設定手順概要	69
2.4.2.DHCPサーバへ「予約」の追加設定	71
2.4.3.LANボードの設定	74
2.4.4.DHCPの設定の確認	75
2.4.5. クライアントコンピュータの設定	76
2.5. TELNETによる設定	77
2.6. WWWブラウザによる設定	79

3. NetWare環境でのソフトウェア設定	
3.1. サポートモードについて	80
【表 3.11. NetWare環境でのサポートモードと機能概要】	
3.1.1. NetWare環境における印刷設定概要	81

3.2. リモートプリンタモードの設定	
3.2.1. NetWare 4.xJ のリモートプリンタモード設定	
3.2.2. NetWare 3.xJ のリモートプリンタモード設定	110
3.2.3. NetWare 5.xJ のリモートプリンタモード設定	115
3.3. プリントサーバモードの設定	
3.3.1. 「未暗号化パスワード使用許可の設定	
3.3.2. NetWare 4.xJ のプリントサーバモードの設定	
3.3.3. NetWare 3.xJ のプリントサーバモードの設定	
3.3.4. NetWare 5.xJ のプリントサーバモード設定	145
3.4. IPX版設定ユーティリティによる設定	

4. LANボードの設定	
4.1. IP環境での設定	
4.1.1.TELNETによる設定	
4.1.1.1. 起動および接続方法	
4.1.1.2. 使用可能コマンド	
4.1.2.WWWブラウザによる設定	
4.1.2.1. 接続方法	
4.1.2.2. 操作概要	
4.2. NetWare環境での設定	
4.2.1. IPX版設定ユーティリティのインストール	
4.2.2. IPX版設定ユーティリティの起動方法	
4.2.3. IPX版設定ユーティリティの説明	177
4.2.3.1. LANボードへの接続方法	178
4.2.3.2. 使用可能コマンド	

5.	設定可能変数一覧	190
	5.1. プリンタ本体の操作パネルで設定可能な変数一覧	.190
	【表 5.11. プリンタ本体操作パネルにて設定可能な項目一覧】	.191
	【図 5.1. -1. プリンタ本体操作パネルの操作例】	. 192
	5.2.LANボードの設定変数一覧	.195

お問い)合せ先	 	 	
001 <u>0</u> 10	「ロビホ	 ••••••	 	

CP-NW200T User's Manual

目次

1. LANボードご利用の手順、およびハードウェアの設定

1.1.LANボードご利用の手順

LANボードのご利用に際しては、以下に示す手順に従って行ってください。各手順に対応する詳細説明は、付記された指示ページを参照してください。

LANボードのインストールに関する作業は、お使いになるネットワークシステムのシステム管理者に委ねられるべきものです。作業を代行する 場合においても、必ずシステム管理者の同意を得た後に行ってください。 現在運用中のネットワークシステム環境に深刻な影響を与える可能性 がありますので、慎重な作業進行をお願いします。

- ① 開始
 - ・LANボードは精密機器です。お取り扱いには十分に注意してください。
 - ・濡れた手でLANボードに触れないでください。
 - ・静電気による破損を防ぐため、LANボードに触れる前に身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くようにしてください。
- LANボード装着
 - ・プリンタ本体背面の拡張スロットにLANボードを装着します。 (※固定用ネジを必ず締めてください。)
 - ・取り付け方法はプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

くご注意>

下記プリンタ機種の場合、本LANボード(CP-NW200T)をご使用いただくためには、プリンタ本体のプリンタ制御ソフトウェアが以下のバージョンである必要があります。

■ N5serirs、N4-614series、CP-E8000series ・・・・・プリンタ制御ソフトウェア Ver.1.73 以上

※ N6000series、N5000series、CP-E8500series は、初期バージョンよりご使用いただけます。

「ステータスシート」を印刷(「オンライン」ボタンを押しながら電源スイッチを ON にします)し、バージョン をご確認ください。 例) I/F-Cont Ver:GV0K1.73/K4 最新のプリンタ制御ソフトウェアは、弊社インターネット・ホームページよりダウンロードすることが可能です。 カシオ ページプリンタ インターネット インフォメーション ホームページ <u>http://www.casio.co.jp/ppr/</u>

- ③ LANケーブルの接続
 - ・LANケーブル(Ethernetケーブル)は、カテゴリー5 以上の LANケーブルをお使いください。一般的にケーブルにはストレートケーブ ル/クロスケーブルの2種類がありますので、ご注意ください。
- ④ プリンタ本体電源投入
 - ・電源投入方法はプリンタ本体のマニュアルを参照してください。
- ⑤ IPアドレスなど、LANボードの基本設定

LANボードをIP(Internet Protocol)環境でプリンタ本体の操作パネルにて、LANボードの基本設定項目の設定を行います。

設定に際しては、必ずシステム管理者の同意を得て行ってください。

なお、NetWare環境でのみご使用になる場合は、「通信速度」設定の確認のみプリンタ本体の操作パネルにて行ってください。NetWare にてご使用になる際に必要な設定は、「<u>IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)</u>」にて行います。

■プリンタ本体へ本LANボード(CP-NW200T)を装着すると、操作パネルの設定メニューにて以下の項目が設定可能となります。



■プリンタ本体操作パネルの操作例 (※詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。) <ボタンの操作>

- i) [オンライン] ボタンを押してオフラインの状態にします。 (オンラインのランプが消えます。)
- ii) [メニュー] ボタンを8回押します。 (「*」は現在設定されている内容です。)
- iii) [項目] ボタンを8回押し、「IP Address」の設定にします。
 (「*」は現在設定されている内容です。)

オフライン

<パネルの表示例>



Н8	ΙP	Add	ress	
*	<u>0</u> .	0.	Ο.	0

H8 IP Address 192. 0. 0. 0 現在設定している桁の 数字が点滅します。 H8 IP Address 0. 0. 19_. 0 [**ユーザ**] ボタンで 次の桁へ移動します。 H8 IP Address 192. <u>O</u>. 0. 0 点滅する桁が 移動します。 H8 IP Address 192. _. 0. 0

H8	ΙP	Add	ress	
(*19	2.1	68.	1.	<u>1</u>

(H9 Netmask * <u>0</u>. 0. 0. 0



また、 [ユーザ] ボタンで桁が変わります。

iv) 「▼]「▲]ボタンを押して、数値を変更します。

- v) 最後の桁まで入力したら、 [実行] ボタンを押してください。全桁の値が設定 されます。 「*」が表示され、設定値が確定したことを表します。
- vi) [項目] ボタンを押して、「Netmask」(サブネットマスク)の設定に 進み、以降iv)~vi)の操作を行います。「Gateway」(デフォルトゲー トウェイ)も同様にiv)~vi)の操作で設定します。

vii) [オンライン] ボタンを押して通常表示に戻し、少し待ちます。

インサツ デ キマス

viii) 最後に<u>LANボードの[リセットSW]</u>を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」 \rightarrow 「入」してください。

※N4-614 series をご利用いただいている場合、パネル設定項目は「I8 IP Address」「I9 Netmask」 「IA Gayeway」となります。上記ii)の手順で「メニュー」ボタンを「9回」押してください。 詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。 ※設定した内容は、操作パネルにて [オンライン] ボタンを押下して、オンライン状態へ移行する際に保存されます。設定変更後は必ずオ ンライン状態にしてください。 また、保存した設定内容は次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。LANボードの [リセ ットSW] を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

メニュー項目名	操作パネル表	表示設定項目	設定候補	概略・他
	設定項目記号	設定項目名称		
通信速度	H6 I6 ^{**} (N4-614)	Link Mode	Automatic 100M/Full 100M/Half 10M/Full 10M/Half	通信速度を設定します。 ※Automatic…Auto Negotiation 機能を使用して、通信速度を決定します。 ★通常は{Automatic}でお使いください。{Automatic}でコンセントレータ(Hub) とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。
IPアドレス決定方法	H7 I7 ^{**} (N4-614)	IP Config	Memory RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの決定方法を設定します。 ※Memory…次項目[IPアドレス]へ設定したIPアドレスを使用します。 ★{RARP},{BOOTP},{DHCP}をお使いの場合は、それぞれに対応したサーバが 必要となります。
IPアドレス	H8 I8 ^{**} (N4-614)	IP Address	0.0.0.0 5 255.255.255.255	IPアドレスを設定します。 ※前項目[IPアドレス決定方法]の設定が{Memory}の場合のみ、使用されます。 ★{0.0.0.0},{255.255.255.255},{127.0.0.1}などの「特別な意味を持つIPアドレス」 を設定しますと、正常な通信が行えません。
サブネットマスク	H9 I9 [*] (N4-614)	Netmask	0.0.0.0	サブネットマスクを設定します。 ※0.0.0.0・・・決定したIPアドレスより、自動設定します。 ★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。
ゲートウェイ	HA IA ^{**} (N4-614)	IP Gateway	0.0.0.0	ゲートウェイアドレスを設定します。 ★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。

※プリンタ本体操作パネルによる設定方法の簡単な説明を『<u>5.1. プリンタ本体の操作パネルで設定可能な変数一覧』</u>へ記載しています。 ※設定した設定候補(値)が正しくない場合、正常に通信が行えない場合があります。正しい設定候補(値)に関しては『<u>5.2. LANボードの設定</u> 変数一覧』を参照してください。

<u>★重要</u>★

※本LANボードは、プリンタ本体の操作パネルに上記5項目の設定メニューが表示されないプリンタではお使いいただけません。

(9ページ < ご注意 > 『プリンタ本体制御ソフトウェアのバージョン制限』参照)

詳しくは、弊社インターネットインフォメーション http://www.casio.co.jp/ppr/ をご覧ください。

- ⑥ プリンタ本体の電源切断
- ⑦ セルフプリント出力の設定
 - ・<u>セルフプリント</u>にてLANボードのハードウェアの状態やソフトウェアのバージョン、<u>前項⑤</u>で行いました基本設定の内容(設定内容が正しく保存されているか,通信速度の設定がHubの設定と合致し通信が行える状態にあるか,IPアドレス決定方法に対応したサーバからIP アドレスが正しく取得できたか、NetWareにて使用する際の設定内容、など)が確認できます。
 - ・<u>セルフプリントのEI帰出力を行う場合</u>は、<u>SW1の4をON</u>にします。
 - 【1.3. 動作設定用スイッチ(SW1)の設定(17ページ)/1.7. セルフプリントについて(20ページ)参照】
- ⑧ プリンタ本体の電源再投入
 - ・<u>前項</u>でにてセルフプリント出力の設定を行った場合は、<u>セルフプリントが印刷出力</u>されるまでしばらくお待ちください。
 - ・前項⑦にてセルフプリント出力の設定を行った場合は、SW1の4を元のOFFの位置に戻してください。
 - 【1.3. 動作設定用スイッチ(SW1)の設定(17ページ)/1.7. セルフプリントについて(20ページ)参照】

9 ソフトウェア設定

お使いのコンピュータからネットワーク経由で印刷を行うための設定を、お使いのオペレーティングシステム(OS)へ行います。

- ・お使いのオペレーティングシステム(OS)の種類に合った設定を行ってください。
- ・<u>Windows 95, Windows 98, Windows Me</u>の場合は、別途LPRソフトウェア(RFC1179に準拠)をインストールする必要があります。 LANボードへ同梱されているCD-ROMより『スピーディアマネージャ for Network』または『<u>CP-LPR</u>』をインストールしてお使いくだ さい。
- ・<u>WindowsNT 4.0</u>の場合は、『Microsoft TCP/IP印刷』を使用します。
- ・<u>Windows 2000</u>, <u>Windows XP</u>の場合は、『標準 TCP/IP プリンタポート』にて『LPRプロトコル』を選択して使用します。

- ・NetWare 環境でのネットワークプリンタとしてご使用の場合は、NetWareのユーティリティ『<u>PCONSOLE.EXE</u>』(<u>NetWare 4.x 以前の</u> バージョンの場合)または『<u>NetWareアドミニストレータ</u>』(<u>NetWare 5 以降のバージョンの場合</u>)を使用して、NetWareサーバへ「<u>リモー</u> トプリンタ」または「<u>プリントサーバ</u>」の追加を行って使用します。
- ① LANボードの詳細設定
 - ・お使いのコンピュータの <u>TELNET</u>, <u>Webブラウザ</u>などを使用して、LANボードの詳細設定を行うことができます。
 LANボードを使用するネットワークが「NetWare のみを使用するネットワーク環境」の場合は、LANボードへ同梱されているCD-ROM より『IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)』をインストールしてお使いください。
 - ・LANボードを使用するネットワーク環境に合わせて、LANボードの詳細設定を変更してください。
 - ・設定に際しては、必ずシステム管理者の同意を得て行ってください。
 - ※設定した内容は、必ず保存を行ってください。 保存した設定内容は次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。LANボード の[リセットSW]を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。
- ① LANボードの詳細設定の確認
 - ・プリンタ本体の操作パネルにて『LAN設定情報のEI帰』』を行うことにより、LANボードが起動時に参照した設定内容の確認ができます。
 - ・『LAN設定情報のED刷』の出力は、プリンタ本体の操作パネルで [プリンタ情報ED刷]のメニュー項目にて [LANセッテイインサツ] を選択し(実行)するとED刷出力されます。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

【1.8. LAN設定印刷について(23ページ)参照】

12 準備完了

以上で、LANボードをご利用になる準備は整いました。

1.2. ハードウェアの構成

《注意》LANボードをプリンタへ装着、または取り外す際には、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。





1.4. Ethernet アドレスについて

LANボードのEthemetアドレスは、LANボードからセルフプリントを出力する、プリンタ本体の操作パネルにて『LAN設定情報の印刷』を行う、またはLANボード裏面貼付のシールにより確認できます。

また、このEthemetアドレスの下6桁は、「<u>設定変数 machine name(マシン名)</u>」のデフォルト文字列の一部として使用していますの で、SNMPのシステム名(sysName)や <u>NetWareのプリンタ名</u>に使用されています。

《注意》LANボードをプリンタへ装着、または取り外す際には、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。

1.5. 通信速度/通信モードについて

LANボードは 10Base-T と 100Base-TX の通信速度、および全二重と半二重の通信モードで使用することができます。

LANボードを使用する場合には、プリンタ本体の操作パネルのメニュー項目 [通信速度(表示名称:Link Mode)] にて、ご使用になる システム環境で定められている通信速度/通信モードを設定してください。

 ※デフォルトでは {Automatic} (Auto Negotiation 機能を使用して 通信速度/通信モード を自動決定) になっています。 通常は {Automatic} でお使いください。 {Automatic} でコンセントレータ(Hub)とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。
 ★ {Automatic} 以外に設定した場合、『セルフプリント』『LAN設定情報のEI帰』』『TELNET』『WWWブラウザ』』『IPX版設定ユーティリテ イ』などで表示される通信速度(Link_status)は、実際に決定された通信速度と異なる表示となります。特に「全二重(Full)」に設定した場合、実 際の通信速度は「半二重(Half)」であることがほとんどです。また、「10Mbps(10Base-T)」に設定してLANケーブルの接続先が 100Mbps(100Base-Tx)の「Fast Ethernet Hub」(スィッチングHubではありません)場合、表示上は通信速度が決定して「通信可能」となってい ますが、実際には通信速度が決定しておらず(Linkが確立いない)、通信が行えない状態となっています。 この場合、LANボードのオレンジ色の LEDが非常に短い周期で点滅していますので、確認してください。

決定した通信速度/通信モードは以下の方法により確認することができます。

- a) LANボードの『セルフプリント出力』にてセルフプリントを印刷出力して確認する。
- b) プリンタ本体の操作パネルにて『LAN設定情報のEPFI』を行い確認する。
- c) TELNET, WWWブラウザ, IPX版設定ユーティリティ,などを使用してLANボードへ接続し、LANボードの状態を表示して確認する。
- d) LANボードの LED の点灯状態で確認する。(通信速度のみ確認できます。) ※次ページ参照。

【図 1.5.-1. LANボードLEDによる状態表示説明】



1.6. LANボードの取り付けについて

●取り付けの前に

LANボードの取り付けにはプラスのドライバが必要です。 取り付けを始める前にご用意ください。

・LANボードの着脱は、必ずプリンタ本体の電源スイッチをOFFしてから行ってください。

・LANボードは精密機器です。お取り扱いには十分に注意してください。

・濡れた手でLANボードに触れないでください。

・静電気による破損を防ぐため、LANボードに触れる前に身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くようにしてください。

・基板のコネクタや IC に直接手を触れないようにしてください。

・基板を曲げたり、傷を付けないようにご注意ください。

●取り付け方

・プリンタ本体背面の拡張スロットにLANボードを装着します。 (※固定用ネジを必ず締めてください。)

・取り付け方法はプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

1.7. セルフプリントについて

LANボードとプリンタ本体との接続およびLANボード自身のチェックは、LANボードからセルフテストプリントを出力させることにより確認できます。

・セルフテストプリントにてLANボードのハードウェアの状態やソフトウェアのバージョン、『<u>1.1.LANボードご利用の手順</u>⑤IPア ドレスなど、LANボードの基本設定(9ページ)</u>』で行いました基本設定の内容(設定内容が正しく保存されているか,通信速度の設定が Hubの設定と合致し通信が行える状態にあるか、IPアドレス決定方法に対応したサーバからIPアドレスが正しく取得できたか、NetWare にて使用する際の設定内容、など)が確認できます。

①プリンタ本体の電源を OFF にします。

②LANボードの <u>SW1 の 4</u> を ON にします。 SW1 の操作がしづらい場合は、LANボードを外して操作してください。
 (先の細いドライバなどをご使用ください。ペン類を使用しますと正しく設定できない場合があります。)
 外した場合は確実に取り付けてください。

③コンセントレータ(Hub)に接続された 100Base-Tx / 10Base-T ケーブル(カテゴリー5以上のケーブル)をLANボードへ接続します。

④プリンタ本体の電源を ON にします。

- ⑤しばらくすると、プリンタ本体操作パネルのデータランプの点滅が始まり、その後点灯に変わります。(プリンタ本体の機種や温度条件 により時間は異なります。)
- ⑥チェックをすべてクリアしますと、次に示すようなテストプリントが出力されます。(印刷出力までの所要時間は、プリンタ本体の機種 や温度条件により異なります。)

《注意事項》

I. <u>セルフプリントの出力を確認した後は、SW1 の 4 は必ず元の OFF の位置に戻してください</u>。 そのままにしておきますと、プリンタ 本体の電源投入時に毎回セルフプリントが出力されることになります。

II. セルフプリントの中段に『Flash memory read check (n) ==> error』と表示されている場合、設定変更中や各種設定用メモリの初期化中にプリンタ本体の電源が遮断されてしまった、などの理由により、設定用メモリの内容が壊れていることが考えられます。
 設定用メモリの内容が壊れている場合は、SW1 の 3 を ON にしてプリンタ本体の電源を再投入し、しばらく待った後、再度各種設定を行ってください。(同時に SW1 の 4 を ON にしてLANボードのセルフプリント出力を行うことをお勧めします。セルフプリントの印刷出力が終了しますと、設定用メモリの初期化は終了しています。)
 正しく設定変更が行えたにも関わらず、再度『Flash memory read check (n) ==> error』と表示されるようでしたら、お手数ですが お買い求めの販売店 または 弊社テクニカル・インフォメーション・センター までご連絡ください。
 なお、設定用メモリの初期化を行った後は、SW1 の 3 は必ず OFF の位置に戻してください。
 そのままにしておきますと、プリンタの電源投入時に毎回設定用メモリの初期化が行われてしまい、設定変更内容が反映されません。



- ※1:通信速度設定(link_mode)を「自動決定(auto)」以外に設定した場合、表示される通信速度(Link_status)は、実際に決定された通信速度と異なる表示となります。特に「全二重(Full)」に設定した場合、実際の通信速度は「半二重(Half)」であることがほとんどです。また、「10Mbps(10Base-T)」に設定してLANケーブルの接続先が100Mbps(100Base-Tx)の「Fast Ethernet Hub」(スィッチングHubではありません)場合、表示上は通信速度が決定して「通信可能」となっていますが、実際には通信速度が決定しておらず(Linkが確立いない)、通信が行えない状態となっています。この場合、LANボードのオレンジ色のLEDが非常に短い周期で点滅していますので、確認してください。
- ※2: IPアドレス(IP address)、サブネットマスク(Netmask)、ゲートウェイ(Gateway)、を設定したにもかかわらず「0.0.0.0」と表示される場合や設定 値と異なる値が表示される場合は、設定値の誤り、サーバの設定が使用されている場合、サーバ上で設定していない場合、などが考えられます。 『<u>5.2. LANボードの設定変数一覧</u>』を参照してください。

1.8. LAN設定印刷について

プリンタ本体の操作パネルにて『LAN設定情報のEI帰』を行うことにより、LANボードが起動時に参照した設定内容の確認ができます。

『LAN設定情報の印刷』の出力は、プリンタ本体の操作パネルで「プリンタ情報印刷」のメニュー項目にて「LANセッテイインサツ」を 選択し(実行)すると印刷出力されます。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。



ア設定] [5.2. LANボードの設定変数一覧] 参照。

[** Configuration	memory settings	kk]				
	I memory settings 4					
machine_name link_mode < TCP/IP >	: CP800001 : 100M/Full	comment	: CASIO N5000	series		
ip_config	: dhep	ip_address	: 0.0.0.0	netmask	: 0.0.0.0	
gateway print_reset < SNMP >	: 0.0.0.0 : enable	ftp_passwd	: off	tcp_keep_alive	: 30	
snmp_mode < nw_param >	: enable	snmp_name	: public	snmp_host	: 130. 10. 1. 10	
nw_mode pserver timeout	: rprinter : PRINTSERVER1 : 10	nw_packet	: auto			
nw_spx_abort fserver1 fserver2 fserver3 fserver4	: 30 : FILESERVER1 : FILESERVER2 : FILESERVER3 : FILESERVER4	nw_spx_listen	: 6	nw_spx_verify	: 3	今回LANボードが起動時に使用している設定情 プリンタ本体の操作ペネルにて変更した設定 内容は、または telnet, Webブラウザ などで 変更した設定内容は、反映されていません。
polltime	: 15	nw passwd	:			次回LANボートが起動後に反映された印刷が
nw_ncp_timeout < Printer >	: 3	nw_ncp_retry	: 20			(ft)ntst.
banner0 bojstring0 eoistring0	: off : :					
printertypel bojstringl	: PR201 :	banner1	: off	tabsize1	: 8	
printertype2 bojstring2	PR201	banner2	: off	tabsize2	: 8	

2. IP(Internet Protocol)環境でのソフトウェア設定

(2.1. サポートプロトコルについて

IP(Internet Protocol)環境において、LANボードは複数のプロトコルを実装しています。

以下にサポートプロトコルとその機能概要を示します。

【表 2.1. -1. IP環境でのサポートプロトコルと機能概要】

プロトコル名	機能概要
FTP	FTPサーバーサービスにより、ファイルの転送を行います。LANボードはFTPにより印字が行えます。 FTPはRFC959に準拠します。実装はBSD系に準拠します。
LPR	LANボードのLPDにプリントデータの転送を行います。LANボードはLPRにより印字が行えます。 LPRはRFC1179に準拠します。実装はBSD系に準拠します。
TELNET	LANボードの内部設定の参照・変更に使用します。これによりLANボードの設定変数の設定が行えます。 TELNETはRFC854、RFC855に準拠します。実装はBSD系に準拠します。
HTTP	LANボードの内部設定の参照・変更に使用します。これによりLANボードの設定変数の設定が行えます。 WWW(Web)ブラウザが必要です。
BOOTP	LANボード起動時にLANボードで使用するIPアドレスをBOOTPサーバから取得します。BOOTPによりLANボードへ IPアドレスの自動割当が行えます。BOOTPはRFC951、RFC1497に準拠します。
DHCP	LANボード起動時にLANボードで使用するIPアドレスをDHCPサーバから取得します。DHCPによりLANボードへIP アドレスの自動割当が行えます。DHCPはRFC1531に準拠します。
RARP	LANボード起動時にLANボードで使用するIPアドレスをRARPサーバから取得します。RARPによりLANボードへIP アドレスの自動割当が行えます。RARPはRFC903に準拠します。
SNMP	LANボードはSNMPによりMIB情報をSNMPマネージャーに送信します。これによりプリンタの状態監視が行えます。SNMPはRFC1155、RFC1157に準拠します。MIB規格はMIB-II(RFC1213)に準拠します。

(2.1.1. IP(Internet Protocol)環境にてLANボードを使用する際の設定確認

LANボードを使用して IP(Internet Protocol)環境で印刷するためには、LANボードのIPアドレスの取得及びLANボードの設定変数設定が行われている必要があります。お使いのネットワークシステムの管理者、またはプリンタの管理者にお問い合わせください。

始めに、LANボードの基本設定をプリンタ本体の操作パネルより行います。下表の内「プリンタ本体操作パネル表示名称」欄へ名称の記載 がある5項目が操作パネルにて設定可能です。(※設定方法の簡単な説明を<u>(図 5.1.-1. プリンタ本体操作パネルの操作例)</u>へ記載しています。) その他の設定変数設定は『TELNET』『WWWブラウザ』で行うことが出来ます。設定方法は「4. LANボードの設定」を参照してください。

設定項目名称	プリンタ本体	プリンタ本体 LAN 操作パネル表示		LANボード 記定候補	
または	操作パネル表				概略・他
設定変数名称	項目記号	項目名称	动起交动台		
通信速度	H6	Link Mode	link_mode	Automatic	通信速度を設定します。
	I6(N4-614)			100M/Full 100M/Half 10M/Full 10M/Half	 ※Automatic ··· Auto Negotiation 機能を使用して、通信速度を決定します。 ★通常は{Automatic}でお使いください。{Automatic}でコンセントレータ(Hub)との Linkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。
IPアドレス決定方法	H7	IP Config	ip_config	Memory	IPアドレスの決定方法を設定します。
	I7 (N4-614)			RARP BOOTP DHCP	※Memory…次項目[IPアドレス]へ設定したIPアドレスを使用します。 ★{RARP},{BOOTP},{DHCP}をお使いの場合は、それそれに対応したサーバが必要 となります。
IPアドレス	H8	IP Address	ip_address	0.0.0.0	IPアドレスを設定します。 <u>※1</u>
	18 (N4-614)			ر) 255.255.255.255	※前項目[IPアドレス決定方法]の設定が[Memory]の場合のみ、使用されます。 ★{0.0.0.0},{255.255.255.255},{127.0.0.1}などの「特別な意味を持つIPアドレス」を 設定しますと、正常な通信が行えません。
サブネットマスク	H9	Netmask	netmask	0.0.0.0	サブネットマスクを設定します。 <u>※1</u>
	19(N4-614)			} 255.255.255.255	※0.0.0.0・・・決定したIPアドレスより、自動設定します。 ★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。
ゲートウェイ	HA	IP Gateway	gateway	0.0.0.0	ゲートウェイアドレスを設定します。 <u>※1</u>
	IA(N4-614)			ر 255.255.255.255	★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。
プリンタ制御ソフト			print_reset	enable	プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用する/使用しないを設定します。
ウェアリセット機能				disable	★{enable}は使用可能な環境に制限があります。 ※2
の設定 <u>※1</u>					

※1) 設定した設定候補(値)が正しくない場合、正常に通信が行えない場合があります。正しい設定候補(値)に関しては『<u>5.2. LANボードの</u> 設定変数一覧』を参照してください。

※2)使用可能な環境に制限があります。詳しくは「<u>5.2. LANボードの設定変数一覧</u>」を参照してください。

2.1.2. IP(Internet Protocol)環境における印刷設定概要

LANボードは IP(Internet Protocol)環境における印刷用のプロトコルとして、LPR(Line Printer Remote Protocol), FTP(File Transfer Protocol)のサーバ機能をサポートしています。

なお、LANボードには単純な印刷データの変換機能(漢字フィルタ機能)を搭載していますが、印刷データの生成機能(例:プリンタドラ イバ機能)は搭載していませんのでご注意ください。

①印刷用のプリンタポート名

印刷用のプリンタポートとして、以下のポートが使用できます。

- lp0 ・・・・ 通常はこちらをお使いください。CP-NW200シリーズより新規サポートされました。 印刷データの変換機能(漢字フィルタ機能)を使用せずに受信した印刷データをそのまま出力します。
- presto0 ・・ <u>弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合があります。</u> 印刷データの変換機能(漢字フィルタ機能)を使用せずに受信した印刷データをそのまま出力します。
- lp1 ・・・・ CP-NW200シリーズより新規サポートされました。 印刷データの変換機能(漢字フィルタ機能)を使用して、受信した印刷データ中のシフトJIS漢字コードを設 定変数printertype1へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコー ドへ変換して出力します。
- presto1 ・・ <u>弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合があります。</u> 印刷データの変換機能(漢字フィルタ機能)を使用して、受信した印刷データ中のシフトJIS漢字コードを設 定変数printertype1へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコー ドへ変換して出力します。
- lp2 ・・・・ CP-NW200シリーズより新規サポートされました。 印刷データの変換機能(漢字フィルタ機能)を使用して、受信した印刷データ中のEUC-JIS漢字コードを設定 変数printertype2へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコード へ変換して出力します。
- presto2 ・・ 弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合があります。

印刷データの変換機能(漢字フィルタ機能)を使用して、受信した印刷データ中のEUC-JIS漢字コードを設定 変数printertype2へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコード へ変換して出力します。

② LPR(Line Printer Remote Protocol) による印刷設定概要

オペレーティングシステムやソフトウェアにより印刷設定項目の名称が異なりますので、ご注意ください。

・UNIX系:「リモートホスト名」と「LANボードのIPアドレス」を対応付けて設定します。

「リモートホストのプリンタ名」として、「Ip0」を設定します。 ※テキストファイルをそのまま送信して印刷する場合などで漢字フィルタ機能をお使いの場合は、送信する印刷デ ータの漢字コード体系に合わせて「Ip1」または「Ip2」を設定します。なお、通常UNIX系ではEUC-JIS漢字コ ードを使用しています。

• Windows NT 4.0

「LPDを提供しているサーバの名前またはアドレス」へ「LANボードのIPアドレス」を設定します。 「サーバのプリンタ名またはプリンタキュー名」へ「Ip0」を設定します。

*「Ip0」は小文字で入力し設定しても、再度表示すると「LP0」と大文字で表示されます。 ※テキストファイルをそのまま送信して印刷する場合などで漢字フィルタ機能をお使いの場合は、送信する印刷デ ータの漢字コード体系に合わせて「Ip1」または「Ip2」を設定します。 なお、通常Windows系ではシフト-JIS 漢字コードを使用しています。

• Windows XP / Windows 2000 :

「プリンタ名またはIPアドレス」へ「LANボードのIPアドレス」を設定します。

「ポート名」へ「Ip0」*を設定します。

*Windows XP の「ポートの自動設定機能」では「presto0」が設定されます。

※テキストファイルをそのまま送信して印刷する場合などで漢字フィルタ機能をお使いの場合は、送信する印刷デ ータの漢字コード体系に合わせて「lp1」または「lp2」を設定します。 なお、通常Windows系ではシフト-JIS 漢字コードを使用しています。

・スピーディアマネージャ(SP-LPR) / <u>CP-LPR</u> :

「ホスト名またはIPアドレス」へ「LANボードのIPアドレス」を設定します。

「ポート名」へ「IpO」*を設定します。

*デフォルト表示が「presto0」になっていますので、「Ip0」へ変更します。 ※テキストファイルをそのまま送信して印刷する場合などで漢字フィルタ機能をお使いの場合は、送信する印刷デ ータの漢字コード体系に合わせて「Ip1」または「Ip2」を設定します。 なお、通常Windows系ではシフト-JIS 漢字コードを使用しています。

③ FTP(File Transfer Protocol)

ディレクトリ構成は以下の様になっています。



使用方法:

- ・LANボードのIPアドレスを指定して接続します。 ユーザ名は任意の文字列を指定します。パスワード入力要求はLANボードの設定に従いますが、入力されたパスワードのチェックは行いません。 但し、ユーザ名としてLANボードが規定しているシステム管理者名を指定した場合、パスワード入力要求が必ず行われます。入力すべきパスワードはLANボードへ設定されている文字列を指定します。
- ・カレントディレクトリを [lp0] (または [lp1] [lp2]) へ変更します。

- 「put」コマンドにてローカルコンピュータ上のファイルをリモートコンピュータへ転送します。ファイル転送は必ず 「binaryモード」で行ってください。
- ・ファイル転送が終了したらLANボードとの接続を終了します。

これらの機能を有効にお使いいただくためは、次項より記載しております「<u>ホストコンピュータの各オペレーティングシステム別の設定/</u> <u>ご利用方法</u>」に従い、正しく設定を行ってください。

また、より快適に印刷が行えますように『CASIO スピーディアマネージャ for Network』をCD内へ収納しております。

2.2. MS-Windows <u>XP/2000/NT4.0</u>で印刷する際の設定【TCP/IP印刷機能利用の場合】

Microsoft Windows <u>XP</u> / <u>2000</u> / <u>NT4.0</u> では、『Microsoft TCP/IP印刷』によりTCP/IP接続されたプリンタに対し、リモート印刷を行うことができます。

※注)MS-Windows NT4.0 でTCP/IP印刷を行うには、Windows NTに「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールする必要があります。 詳しくは、MS-Windows NT4.0 のオンラインヘルプをお読みください。

【表 2.2. -1. Windows NTにてご使用の際の注意事項】

◆ 印刷に関する仕様または制限など

★TCP/IPプリント(LPR)実行時の注意事項。

- Q. 複数のプリンタでTCP/IPプリント(LPR)を実行した場合に不当な遅延が発生する。
- A. Microsoft(R) Windows NT(R) 4.0 Service Pack 3以降では、RFC準拠に変更されたため、TCP/IPプリント(LPR)でパフォーマンスの劣化を伴うケースが想定されます。

詳細はMicrosoft(R)社からWebで提供されている「サポート技術情報」をご参照ください。

http://support.microsoft.com

※以下の内容は、上記「サポート技術情報」での記載から、関連部分を抜粋して転載したものです。情報の全容に関しては当該URLにてご確認ください。

【文書番号:JP141708】

Windows NT Version 3.51 SP4 またはそれ以前のバージョンでは、Windows NTのLPRサービスでLPRに接続するためにTCPポート731から721を使用 していました。これは RFC 1179 に準拠するものですが、このサービスは11個のTCPポートまでをサポートするので、パフォーマンスに限界があります。 RFC 1122 では、各ポートは4分間おかないと再使用できません(RFC 1122では、2 * Maximum Segment Lifetime と定義されています)。 Windows NT 3.51 SP5 は変更され、Windows NT 4.0 はサービスパック2 にアップされて、LPREIPBIのパフォーマンスが向上しました。このパフォー マンスの向上によって、TCPポート 512-1023 を LPR 接続に使用できるようになりました。ただし、RFC 1179 に外れることになるので、アプリケー ションによっては問題が発生することもあります。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;JP141708

【文書番号:JP179156】

Windows NT 4.0 サービスパック2(SP2) までのTCP/IPプリント(LPR)では、512から1,023までが既定のTCPポートでした。Windows NT 4.0 サービス パック3 のLPRでは、RFC 1179 (Windows NT 3.51 Service Pack 4 までのバージョン) で記述されているように、721から731までが既定のTCPポートで す。これに加えてService Pack 3 のLPRでは、2つのレジストリ エントリで1,024 以降のTCPポートを使用するように設定できるようになりました。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;JP179156

※以下のように要約できると考えられます。

- ■Microsoft Windows NT 4.0 Service Pack 2では、TCPポート512~1023をLPR接続に使用できるようにしたが、RFC 1179からは外れていた。 (文書番号: JP141708)
- ■Microsoft Windows NT 4.0 Service Pack 3では、RFC 1179で記述されているように、721~731までを既定のTCPポートとするように変更した。 (文書番号: JP179156)
- ■その結果、このサービスではTCPポートのサポートが11個までとなるので、パフォーマンスに限界が生じる。RFC 1122では、各ポートは4分間おかない と再使用できないと規定されているのである。 (文書番号: JP141708)

■Service Pack 3のLPRでは、2つのレジストリ・エントリで1,024以降のTCPポートを使用できるように設定可能とした。 (文書番号: JP179156)

但し、レジストリ操作は自己責任の範疇となる。

(2.2.1. MS-Windows XP で印刷する際の設定)

Windows XP環境では、TCP/IPを利用したネットワーク印刷を利用する方法として2通りあり、「UNIX用印刷サービス」をインストールすることにより利用できる [LPR Port] (Windows NT4.0と同様のLPR)を使用する場合、もう1つは [Standard TCP/IP Port] を使用する場合です。

ここでは [Standard TCP/IP Port] を使用してTCP/IPネットワーク印刷を行う手順を、あらかじめ [印刷するポート] として [LPT1:] に 設定されているプリンタの印刷ポートをTCP/IPEP刷用に設定変更する場合の手順を説明します。

なお、プリンタの追加にて新しいプリンタをインストールする場合も印刷ポートの作成手順は概ね同じです。

① MS-Windows XPを立ち上げ、ユーザグループ

「Administrators」に属するユーザ名でログインします。

- ② [スタート] メニューから [プリンタとFAX] を選択し、「プリンタとFAX」フォルダを開きます。
- ③ TCP/IPネットワーク印刷を行いたいプリンタの「プロパティ」を開きます。



④ 「プリンタプロパティ」より [ポート] タブをクリックして 「ポートタブ」 を 選択します。 続いて [ポートの追加] をクリックし、 「ポートの追加」 を開始 します。	全般 共有 ポート 詳細設定 色の管理 環境設定 ユーティリティ パーション情報
	エホート 説明 ブリンタ レPT1: ブリンタ ポート CASIO SPEEDIA N5300 レPT2: ブリンタ ポート LPT3: ブリンタ ポート COM1: シリアル ポート COM2: シリアル ポート COM3: シリアル ポート ボートの追加(① ポートの削除(②) ポートの道加(① ポートの削除(③) アリンタ ブールを有効にする(E)
	OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

⑤「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なポートの種類」から 「Standard TCP/IP Port」を選択し、「新しいポート」をクリックします。

ブリンタ ポート	? 🛛
利用可能なポートの種類(A):	
Local Port Standard TCP/IP Port	
〔新しいポートの種類(<u>N</u>)…	新しいボート(P) キャンセル

次へ(N)>

キャンセル

⑦「ポートの追加」画面が表示されますので、「プリンタ名またはIPアドレス」 ヘIPアドレスを入力し、「次へ」をクリックします。

IPアドレスを入力すると、「ポート名」は自動的に表示されます。

標準 TCP/IP ブリンタ ポートの追加ウィザード 🛛 🔀						
ポートの追加 どのデバイスに対するポートを追加しますか?						
希望のデバイスのプリンタ名または IP アドレス、およびポート名を入力してください。						
プリンタ名または IP アドレス(<u>A</u>):	130.10.90.186					
术一卜名(<u>P</u>):	IP_130.10.90.186					
	〈戻る個 次へ(1)〉 キャンセル					

続行するには、D欠へ]をクリックしてください。

< 戻る(B

2. IP(Internet Protocol)環境でのソフトウェア設定

- ⑧「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されますので、[完了]をクリックします。
 - ※以下の「ポートの設定」はWindows XPにより自動的に設定されます。

●プロトコル [LPR] の選択。

●LPR設定「キュー名」へ [presto0] *の設定。

●LPR設定 [バイトカウントを有効にする]の選択。

なお、本LANボード(CP-NW200T)は、 [バイトカウントを有効にする] を選択しなくても正常に動作します。

- 注)LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を [使用する(enable)] に設定する場合は、 [バイトカウントを有効にする] を選択する必要があります。プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用しますと、LANボードが「ドキュメントのキャンセル」を検出して自動的にプリンタ制御ソフトウェアのリセットを行います。ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。詳しくは「5.2.LANボードの設定変数一覧」を参照してください。
 - * [presto0] は弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合が ありますので、後述(1)にて [lp0] へ変更します。
- ⑨「プリンタポート」画面へ戻りますので、 [閉じる] をクリックします。




⑩ 「プリンタプロパティ」 画面へ戻りますので、 [ポートの構成] をクリックし 「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を表示します。	
	日本19 6 パー・ビア ドキュシントは、チェック ボックスがオンになっているボートのうち、最初に利用可能なもので 印刷されます。 ポート 説明 プリンタ ヘ
	□ COM1: シリアル ポート □ COM2: シリアル ポート □ COM3: シリアル ポート □ COM4: シリアル ポート ■ □ FILE: ファイルへ出力
	 ☑ IP_130.10.90.186 Standard TCP/IP Port ○ ポートの追加①… ポートの削除① ポートの構成②… □ 双方向サポートを有効にする(E)
①「LPR設定」の [キュー名] 欄を「Ip0」へ変更し、 [OK] をクリックして	OK キャンセル 適用(Δ) ヘルプ 標準 TCP/IP ポート モニタの構成 ?

- 「LPR設定」の [キュー名] 欄を「Ip0」へ変更し、 [OK] をクリックして 「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を閉じます。
 - * [presto0] は弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合がありますので、 [lp0] へ変更します。

標準 TCP/IP ポート モニタの構成	2 🔀
ポートの設定	
ポート名(<u>P</u>):	IP_130.10.90.186
プリンタ名または IP アドレス(<u>A</u>):	130.10.90.186
	⊙ LPR(L)
- Raw 設定 ポート番号(<u>N</u>): 515	
LPR 設定 キュー名(Q): [p0	
✓ LPR バイト カウントを有効にする(B)))
SNMP ステータスを有効にする(S)	
コミュニティ名(<u>O</u>): public	
SNMP デバイス インデックス(<u>D</u>): 1	
	OK キャンセル

12 設定したポートが登録され選択されている(チェックボックスがオン)ことを	ݤ CASIO SPEEDIA N5300 のプロパティ	? 🛛
確認してください。	全般 共有 ポート 詳細設定 色の管理 環境設定 ユーテルティ パージョン情報	
その後、「適用」「OK」をクリックし終了します。	CASIO SPEEDIA N5300	
	印刷するボート(P) ドキュメントは、チェック ボックスがオンになっているボートのうち、最初に利用可能なもので 印刷されます。	
	ポート 説明 プリンタ 🦲	
	□ COM1: シリアル ポート	
	□ COM3.	
	🗹 IP_130.10.90.186 Standard TCP/IP Port	
	ポートの追加(T) ポートの削除(D) ポートの構成(C)	
	▼ 双方向サポートを有効にする(E)	
	□ プリンタ プールを有効にする(N)	
	OK)キャンセル (適用(A)) へ	ルプ

※以上で、TCP/IPネットワークEI刷の設定は終了です。

Windows XP 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

(2.2.2. MS-Windows 2000 でEP刷する際の設定)

Windows 2000環境では、TCP/IPを利用したネットワーク印刷を利用する方法として2通りあり、「UNIX用印刷サービス」をインストール することにより利用できる [LPR Port] (Windows NT4.0と同様のLPR)を使用する場合、もう1つは [Standard TCP/IP Port] を使用する場合 です。

ここでは [Standard TCP/IP Port] を使用してTCP/IPネットワーク印刷を行う手順を、あらかじめ [印刷するポート] として [LPT1:] に 設定されているプリンタの印刷ポートをTCP/IP印刷用に設定変更する場合の手順を説明します。

なお、プリンタの追加にて新しいプリンタをインストールする場合も印刷ポートの作成手順は概ね同じです。

- ① MS-Windows 2000を立ち上げ、ユーザグループ 「Administrators」に属するユーザ名でログインします。
- [スタート] メニューの [設定] から [プリンタ] を選択し、 「プリンタ」フォルダを開きます。
- ③ TCP/IPネットワーク印刷を行いたいプリンタの「プロパティ」 を開きます。

🤕 プリンタ		
」ファイル(E) 編集(E) 🗄	表示(Y) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)	10 A
← 戻る → → • 包	③検索 追フォルダ ③履歴 階 監 X 約 囲・	
] アドレス(D) 🞯 プリンタ		▼ 🔗移動
名前 Δ	ドキュメント 状態 コメント 場所	モデル
JUンタの追加 Marcasio Speedia N5300	0 準備完了	CASIO SPEEDIA N5300
📃 選択されたオブジェクトの1	開((0)	1.
	✓ 通常使うプリンタ(ご設定(E) 印刷設定(T)	
	ー時停止(A) すべてのドキュメントの取り消し(<u>№</u>)	
	共有(山) ブリンタをオフラインで使用する(山)	
	貼り付け(P)	
	ショートカットの作成(<u>5</u>) 削除(<u>D</u>) 名前の変更(<u>M</u>)	
(プロパティ(B)	

④「プリンタプロパティ」より [ポート] タブをクリックして「ポートタブ」を選	≪CASIO SPEEDIA N5300 のプロパティ ?メ
択します。続いて「ポートの追加」をクリックし、「ポートの追加」を開始しま	全般 共有 ポート 詳細設定 色の管理 セキュリティ 環境設定 ユーティリティ パーション情報
ਰ.	CASIO SPEEDIA N5300
	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

ポート	説明	プリンタ		
LPT1:	プリンタ ポート	CASIO SPEEDIA N5300		
LPT2:	プリンタ ポート			
LPT3:	プリンタ ポート			
COM1:	シリアル ポート			
COM2:	シリアル ポート			
COM3:	シリアル ポート		-1	
Псоми	201720 40. L			
ポートの追加	ם(ד) 🌔 ポートのוֹ	削除(D) ポートの構成	(<u>C</u>)	
✓ XX方向サポー	トを有効にする(<u>E</u>)			
🔲 プリンタ ブール	を有効にする(<u>N</u>)			
	問じる	まか,わし 適用(A) [(A)	s (L=2)

⑤「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なポートの種類」から [Standard TCP/IP Port]を選択し、「新しいポート]をクリックします。

プリンタポート		? ×
利用可能なポートの種類(A):		
Local Port Standard TCP/IP Port		
,		
新しいポートの種類(<u>N</u>)	(新UCNボー下UPLI) 閉	්ත 📔

⑥「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が起動されますので、[次へ] ^{儒準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード} をクリックします。



⑦「ポートの追加」画面が表示されますので、「プリンタ名またはIPアドレス」へIPアドレスを入力し、〔次へ〕をクリックします。

IPアドレスを入力すると、「ポート名」は自動的に表示されます。

標準 TCP/IP ブリンタボートの追加ウィザー	4	×
ボートの追加 どのデバイスに対するポートを追加しま	すか?	
希望のデバイスのプリンタ名または IP	アドレス、およびポート名を入力してください。	
プリンタ名または IP アドレス(<u>A</u>):	130.10.90.186	
ポート名(<u>P</u>):	IP_130.10.90.186	
	< 戻る(B次へ(N) >	キャンセル

⑧「ポートの情報が更に必要です。」画面が表示されますので、「デバイスの種類」」で[カスタム]を選択し[設定]をクリックします。

標準 TCP/TP ブリンタポートの追加ウィザード
ボート情報がさらに必要です。 デバイスを識別できませんでした。
デバイスがネットワーク上に見つかりません。以下の点を確認してください。 1. デバイスがネットワーク上に見つかりません。以下の点を確認してください。 2. ネットワークが接続されている。 3. デバイスが正しく構成されている。 4. 前のページのアドレスが正確である。 アドレスが間違っていると考えられる場合は、「戻る」をクリックして、前のページに戻り、アドレスを修正し、ネットワークで別の検索を実行してください。アドレスが確実に正確である場合は、次のデバイスの種類を選択してください。 デバイスの種類
○ 標準(S) Generic Network Card ○ カスタム(C) (設定(D)) (※ カスタム(C) (注意) (※ 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- ⑨「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」画面の「ポートの設定」タブが表示されますので、以下の設定を行います。
 - ●プロトコル [LPR] の選択。
 - ●LPR設定「キュー名」へ [lp0] の設定。
 - ●LPR設定 [バイトカウントを有効にする]の選択。
 - なお、本LANボード(CP-NW200T)は、 [バイトカウントを有効にする] を選択しなくても正常に動作します。
 - 注)LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を [使用する(enable)] に設定する場合は、 [バイトカウントを有効にする] を選択する必要があります。プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用しますと、LANボードが「ドキュメントのキャンセル」を検出して自動的にプリンタ制御ソフトウェアのリセットを行います。ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。詳しくは「5.2.LANボードの設定変数一覧」を参照してください。
 - すべての設定が終了したら [OK] をクリックして「標準 TCP/IP ポート モニ タの構成」を閉じます。

標準 TCP/IP ボート モニタの構成		? ×
ポートの設定		
, 术一卜名(P):	IP_130.10.90.186	-
プリンタ名または IP アドレス(<u>A</u>):	130.10.90.186	
	• LPR(<u>L</u>)	
Raw 設定 9100		
LPR 設定 キュー名(Q): 「D		
LPR バイト カウントを有効にする(
ー 「」SNMP ステータスを有効にする(S)		
コミュニティ名(Q): public		
SNMP デバイス インデックス(①): 1		
	<u> </u>	14

10 「ポートの情報が更に必要です。」画面に戻りますので、 [次へ] をクリックし ます。

標準 TCP/IP ブリンタボ	ートの追加ウィザード
ボート情報がさらに 必 デバイスを識別で:	9夏です。 きませんでした。
デバイスがネットワーク。 1. デバイスがオンになっ	上に見つかりません。以下の点を確認してください。 っている。
 ネットワークが接続 デバイスが正しく構 前のページのアドレン 	それている。 成されている。 スが正確である。
アドレスが間違っている で別の検索を実行して ニデバイスの種類――	と考えられる場合は、戻る」をクリックして、前のページに戻り、アドレスを修正し、ネットワーク こください。アドレスが確実に正確である場合は、次のデバイスの種類を選択してください。
○ 標準(S)	Generic Network Card
© 力スタム(©)	(設定(1)
	< 戻る(B) (沐へ(M) >) キャンセル

①「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されますので、
 [完了]をクリックします。



(12)「プリンタポート」画面へ戻りますので、 [閉じる] をクリックします。



(13)「プリンタプロパティ」画面へ戻りますので、設定したポートが登録され選択さ れている(チェックボックスがオン)ことを確認してください。

その後、「適用] [OK] をクリックし終了します。

爹 CASIO SPEEDIA N530	0のプロパティ		<u>? ×</u>
全般 共有 ポート	詳細設定 色の管理 セキ	コリティ 環境設定 ユーティリラ	え バージョン情報
CASIO SPE	EEDIA N5300		
印刷するポート(<u>P</u>) ドキュメントは、チェック ボ 印刷されます。	ジックスがオンになっているボートの	うち、最初に利用可能なもの	Ċ.
ポート	说明	プリンタ	
COM2: 5	シリアル ポート		
COM3: 5	シリアル ポート		
COM4: 5	シリアル ポート		
FILE:	ファイルへ出力		
	Virtual printer port for USB		
IP_130.10.90.186 S	Standard TCP/IP Port	CASIO SPEEDIA N5300)
ポートの追加(工)	ポートの削除(D)	ポートの構成(<u>C</u>)	
☑ 双方向サポートを有き □ プリンタ プールを有効	<u>劫にする(E)</u> れこする(<u>N</u>)		
<u></u>	(OK)*+	rンセル (道用(<u>A</u>)	へルプ

※以上で、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。 Windows 2000 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

(2.2.3. MS-Windows NT 4.0 で印刷する際の設定)

Windows NT 4.0環境では、「Microsoft TCP/IP印刷」を利用することにより、TCP/IP接続されたプリンタに対しリモート印刷を行うことができます。

ここでは「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールすることにより利用できる「LPR Port」を使用してTCP/IPネットワーク印刷を行う手順を、あらかじめ[印刷するポート]として [LPT1:] に設定されているプリンタの印刷ポートをTCP/IP印刷用に設定変更する場合の手順を説明します。

なお、プリンタの追加にて新しいプリンタをインストールする場合も印刷ポートの作成手順は概ね同じです。

- ① MS-Windows NT 4.0を立ち上げ、ユーザグループ 「Administrators」に属するユーザ名でログインします。
- [スタート] メニューの [設定] から [プリンタ] を選択し、 「プリンタ」フォルダを開きます。
- ③ TCP/IPネットワーク印刷を行いたいプリンタの「プロパティ」 を開きます。

	🔯 ንሣンጵ		
	ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻)	^ルフ°(<u>H</u>)	
	🔯 ว [ุ] ฃบง	💌 🗈 👗 🖻 🛍 💌	
	名前	トキュメント 状態	
	1979ンタの追加		
C	CASIO SPEEDIA N5300	0	
	1 個のオフジェクトを選択		li.

PT1		1111	
	Local Port	CASIO SPEEDIA N5300	
LPT2:	Local Port		
LPT3:	Local Port		
COM1:	Local Port		
] COM2:	Local Port		
] COM3:	Local Port		-
ホ°ートの追加(① 双方向サホ°ートを有効)。 フリンタフ°ールを有効)こ	♪		

- ⑤「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なプリンタ ポート」 から [LPR Port] を選択し、 [新しいポート] をクリックします。
 - ※ [LPR Port] は「Microsoft TCP/IPEI帰」」をインストールしていないと表示されません。 「利用可能なプリンタポート」欄に [LPR Port] が表示されていない場合は、「Microsoft TCP/IPEI帰」」をインストールしてください。

詳しくは、Windows NT 4.0 のオンラインヘルプをお読みください。

ንሣンタ ホペート	? ×
利用市場となっかいね まやート(の)	h
LPR Port	
	新しいモニタ(N)
	(新しいホ [*] ート(P)) キャンセル

⑥「LPR互換プリンタの追加」画面が表示されますので、「Ipdを提供しているサー バの名前またはアドレス」へIPアドレスを入力します。

「サーバのプリンタ名またはプリンタキュー名」には"lp0"と入力します。 ("lp0"は必ず小文字で入力してください。)

両方の入力が終了したら [OK] をクリックします。

⑦「プリンタポート」画面へ戻りますので、 [閉じる] をクリックします。

LPR 互換ブリンタの追加	×
lpd を提供しているサーバーの名前 またはアトルス(№):	10.90.186
サーバーのフリンタ名または フリンタキュー名(R):	
	ンセル <u>ヘルプ(H)</u>

ንሣンタ ポート	? ×
利用可能なフツンタ ポート(<u>A</u>):	
Local Port LPR Port	
1	
	新しいモニタ(N)

- 8 「プリンタプロパティ」画面へ戻りますので、設定したポートが登録され選択さ れている(チェックボックスがオン)ことを確認してください。
 - ※追加されたポートが「***.***:LPO」となっていることを確認してください。

なお、"**pO**"は**小文字で入力**しても**大文字で表示**されます(小文字で設定されています)ので、ご注意ください。

🔪 CASIO SPEEDIA N5300 ወንግቢሳኝ፣ 🛛 💽 🔀				
全般 ポート スクジュール 共有 セキュリティ 環境設定 ユーティリティ バージョン情報				
CASIO SPEEDIA N5300 印刷するホ ^ペ ート(P) ドキュ火)トは、チェックされているホ ^ペ ートのうち、最初に利用可能なもので印刷されます。				
↓ *~	説明	7929		
 ✓ 130.10.90.186:LP0 □ LPT1: □ LPT2: □ LPT3: □ COM1: □ COM2: 	Local Port Local Port Local Port Local Port Local Port Local Port	CASIO SPEEDIA N5300	_ _	
		OK キャンセル	ヘルプ	

「全般」「ポート」スクジュール | 共有 | セキュリティ | 環境設定 | ユーティリティ | パージョン情報 |

🧼 CASIO SPEEDIA N5300 のプロパティ

⑨「スケジュール」タブをクリックして「スケジュール」を選択します。

可能となります。

【重要】 印刷データをプリンタへ確実に送信するために、 [印刷ドキュメントを スプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う]をチェックし、更に [全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに 送る] をチェックします。	 利用可能時間: ○ 常に切り ○ 常に切り ● 常に切り ● 常いの ● 常いの ● 常いの ● 常いの ● 常いの ● この
その後、 [OK] をクリックし終了します。	 ○ 全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る(L) ○ すぐにに印刷データをプリンタに送る(L) ○ フリンタに直接印刷データを送る(L) □ つ致しないドキュメントを保留する(L) □ スプールされたドキュメントを保御して印刷する(R) □ 印刷(各) キュメントを残力して印刷する(R)
※以上で、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。 Windows NT 4.0 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が	

? ×

2.3. CP-LPRでのご利用について

★「CASIO スピーディアマネージャ for Network」のご紹介。★
 LANボードに付属のCD-ROMには、Microsoft Windows 95/98/Me / Microsoft Windows NT 4.0 / Microsoft Windows 2000 / Microsoft Windows XP 環境にてより印刷を快適に行うことができる「CASIO スピーディアマネージャ for Network」を収納しております。
 「CASIO スピーディアマネージャ for Network」には
 LPRプロトコルを使用して、TCP/IP接続されたプリンタに対しリモート印刷が行えます。
 印刷の開始から印刷の完了まで、印刷ショブの状態が詳しく表示されます。
 ブリンタの状態と印刷ショブの状態が、同じ画面で確認できます。
 その他、プリンタ用の各ユーティリティおよびLANボード用の各ユーティリティ*と連携して、CASIO製ページブリンタの統合管理が行えます。 (*本製品(CP-NW200T)ではLANボードのWebページとの連携のみお使いいただけます。)
 といった特長があります。
 弊社としては、Microsoft Windows 95/98 / Me / Microsoft Windows NT 4.0 / Microsoft Windows 2000 / Microsoft Windows XP 環境にてTCP/IPを利用したネットワーク印刷を利用する場合、「CASIO スピーディアマネージャ for Network」をご利用されることを推奨いたします。
 「CASIO スピーディアマネージャ for Network」の詳細は、LANボード付属のCD-ROMに収納されている取扱説明書をお読みください。

Microsoft Windows 95/98/Me では、CP-LPRによりTCP/IP接続されたプリンタに対し、リモート印刷を行うことができます。 CP-LPR環境で印刷するにはローカルプリンタとしてインストールする必要があります。

- 最初にCP-LPRのインストールを行います。(『<u>2.3.1. インストール</u>』)
- 次にWindows上にプリンタを追加します。既に存在するプリンタのポートを変更する場合は『2.3.2. CP-LPRを使用して印刷を行うプリンタの追加』は省略できます。
 但し、「スプールの設定」(有効)の設定は必要です。
- さらにプリンタポートの設定を行います。(『2.3.3. プリンタポートの追加と設定』 『2.3.4. プリンタの検索』)

- また、CP-LPRを複数プリンタに設定する場合は、2台目以降のCP-LPRのインストールは省略できます。設定は各プリンタ単位に必要です。
- ※注) MS-Windows 95 / 98 / Me でCP-LPRにて印刷を行うには、MS-Windowsのネットワークに「Microsoft TCP/IP」をインストールする必要があります。
 詳しくは、MS-Windows 95 / 98 / Me のオンラインヘルプをお読みください。

(2.3.1. インストール)

- [1] CP-LPRをCD-ROMからインストールする場合。
 - ① CP-LPRをCD-ROMからインストールするには、LANボード付属のCD-ROMのセットアッププログラム(STARTUP.EXE) から行います。 コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタ ートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの"STARTUP.EXE"を実行してください。)
 - ②「セットアップタイプ」の選択画面が表示されます。 [カスタム]インストールを選択し[次へ(N)>]をクリックします。
 - ③「コンポーネントの選択」画面が表示されます。

[CP-LPRソフト]を選択(チェックボックスをオン) し、 [次へ(N)>] をクリックします。 この時、すでにインストール済みの他のコンポーネントは選択しないでください。

- ④「インストール先の選択」画面が表示されます。 インストール先ディレクトリを確認後、[次へ(N)>]をクリックします。
- ⑤「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。 プログラムフォルダを確認後、[次へ(N)>]をクリックします。
- ⑥「使用許諾契約」画面が表示されます。
 良くお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は [はい(Y)] をクリックしてください。インストールを中止する場合は
 [いいえ(N)>] をクリックしてください。

⑦ プログラムのインストールが開始されます。

⑧「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。
 Readmeファイルを表示する場合には [はい(Y)] をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

⑨「CP-LPRの検索」確認画面が表示されます。

「CP-LPRの検索」を実行する場合は [はい(Y)] をクリックしてください。

10以上でCP-LPRのインストールは終了しました。

[2] CP-LPRをフロッピーディスクからインストールする場合。

- CP-LPRをフロッピーディスクからインストールするには、予めLANボード付属のCD-ROMからCP-LPRの「FD作成」を行ってください。
 FD作成手順については「スタートアップメニュー」の[FD作成]をクリックし、画面の指示に従って操作してください。
 コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの"STARTUP.EXE"を実行してください。)
- ②「FD作成」にて作成した「CP-LPRディスク1」をフロッピードライブへ挿入します。
- ③ [スタート] をクリックし、 [ファイル名を指定して実行(R)] をクリックします。
- ④「ファイル名を指定して実行」画面にて「A:¥SETUP.EXE」と入力し、[OK] をクリックするとインストールプログラムが起動します。
 ※ここではフロッピードライブが "A" ドライブでの説明です。ドライブ番号は、ご利用になるコンピュータによって異なることがあります。
- ⑤「セットアップ」画面が表示されます。 [次へ(N)>]をクリックします。
- ⑥「使用許諾契約」画面が表示されます。

良くお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は [はい(Y)] をクリックしてください。インストールを中止する場合は [いいえ(N)>] をクリックしてください。

- ⑦「インストール先の選択」画面が表示されます。
 インストール先ディレクトリを確認後、[次へ(N)>]をクリックします。
- ⑧「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。 プログラムフォルダを確認後、〔次へ(N)>〕をクリックします。
- ⑨プログラムのインストールが開始されます。
- 「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。
 Readmeファイルを表示する場合には [はい(Y)] をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

「CP-LPRの検索」確認画面が表示されます。
 「CP-LPRの検索」を実行する場合は [はい(Y)] をクリックしてください。

12以上でCP-LPRのインストールは終了しました。

(2.3.2. CP-LPRを使用して印刷を行うプリンタの追加)

Microsoft-Windows 95/98/MeにてCP-LPRを使用して印刷を行うためには、「プリンタポートの追加と設定」を行う必要があります。

ここでは、「プリンタの追加」にて新しいプリンタをインストールし、その後「印刷先のポート」としてCP-LPRのプリンタポートを追加して「<u>プリンタポートの追加と設定</u>」を行う場合の手順を、MS-Windows Meを例に説明します。

なお、あらかじめ [印刷先のポート] としてCP-LPR以外のプリンタポートを使用する設定になっているプリンタの印刷ポートをCP-LPR を使用する設定へ変更を行う場合は、「プリンタの追加」の手順を省略し 『2.3.3. プリンタポートの追加と設定』 以降の手順を行ってください。

 [スタート] メニューの [設定] から [プリンタ] を選択し、「プリンタ」フォ ルダを開きます。

👼 ጋ°ロクʹラム(<u>P</u>)	•
☆ 最近使ったファイル(D)	▶ <u> </u>
🕵 設定(S)	▶ 🐼 בי/אר–א א°≉א(©)
🕄 検索(<u>C</u>)	▶ 通 つ∜い友(P)
🧼 ^///フ [°] (<u>H</u>)	
🚰 ファイル名を指定して実行(R)	
◙️ Windows Ø終了(U)…	
1 79-1	

② プリンタの追加を行います。

[プリンタの追加]をダブルクリックし「プリンタの追加ウィザード」を起動します。

😼 ጋ ህንፉ		_ 🗆 🗵
ファイル(E) 編集(E) 表示	R(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)	
←戻る - → - 🖬 🔞	検索 🛅 フォルダ 🧭 👗 🖻 🕮 階 🦉	≦ X ∽ 🔳 -
アドレス(型) 🞯 շፃンጵ		▼ 🔗移動
名前	ドキュメント 状態 コメント	▲
🥃 プリンタの注意加 💦		
		-
1 個のオブジェクトを選択		1.

③「プリンタ追加ウィザード」開始。

[次へ] をクリックします。

フリンタの追加ウィザード	このウィザードを使うと、ブリンタを簡単にインストールできます。 インストールを始めるには、[次へ]をクリックしてください。
	〈 戻る(日) (ホイン) キャンセル

④プリンタの接続形態の選択。

[ローカルプリンタ(L)]を選択して、 [次へ] をクリックします。

※CP-LPRのEI刷ポートはローカルポートとして作成されます。

ブリンタの追加ウィザード	
	プリンタはどこに接続されていますか? プリンタがにのコンピュータに直接つながっている場合は [ローカル プリンタ] を、別のコンピュータに接続されている場合は [ネットワーク プリンタ] を選 択してください。 ◎ <u>ローカル プリンタ(L)</u> ◎ ネットワーク プリンタ(<u>N</u>)
	< 戻る(B) 次へ > 、 キャンセル

⑤ プリンタドライバを選択します。

ご利用のプリンタ機種に対応するプリンタドライバを選択(クリック)し、プリン タ本体に同梱されているご利用のプリンタ機種に対応するプリンタドライバの ディスクメディアをセットし [ディスク使用(H)] をクリックします。

※最新のプリンタドライバは弊社インターネットインフォメーション (http://www.casio.co.jp/ppr/) より入手できます。

ブリンタの追加ウィザード	
プリンタの製造元とモデルを	選択してください。プリンタにインストール ディスクが付いている場合
(は、「ディスク使用」をクリッ	クレてください。プリンタが一覧にない場合は、プリンタのマニュアルを
参照して互換性のあるプリ	ンタを選択してください。
製造元(<u>M</u>):	プリンタ(P):
CASIO	CASIO CP-500U
Citizen	CASIO SPEEDIA N5II
Color Age	CASIO SPEEDIA N5
Compaq	CASIO SPEEDIA N5100
Dataproducts	CASIO SPEEDIA N5000
DEC	CASIO SPEEDIA N4-614
Diconix	CASIO SPEEDIA CP-E8000
	ディスク使用(<u>H</u>)… < 戻る(<u>B</u>) (<u>次へ</u>) キャンセル

⑥「利用可能なポート」は暫定的に[LPT1:]を選択します。

選択後、〔次へ〕をクリックします。

ブリンタの追加ウィザード	
	ブリンタで使用するボートを選択して、Dなへ] をクリックしてください。 利用可能なボート(A): COM1: 通信ボート FLE: ディスクにファイルを作成 LPT: EOP プリンタ ボート

⑦ 必要に応じて「プリンタ名(P)」「通常使うプリンタ」を設定し、[次へ]をクリ 20 ックします。



⑧「プリンタ追加ウィザード」を終了させます。

「印字テスト」はまだ行えませんので、 [いいえ] を選択してから [完了] をク リックし、「プリンタ追加ウィザード」を終了させます。

ブリンタの追加ウィザード	
	インストール後、プリンタが正しく設定されたかどうか確認するために、 テスト ページを印刷できます。 印字テストを行いますか? © はい (推奨)(y) © <u>いいえ(い)</u>
	< 戻る(B) 完了 キャンセル

③「プリンタフォルダ」から該当するプリンタのプロパティを表示し、「スプールの設定」をクリックします。

SIO SPEEDIA N5300Ø;	TOKT4			?
給排紙	環境設定	ユーティリティ		ジョン情報 1 /++==//ままの
CASIO SPEEDIA	巴仍曾建 共有 N5300	本中設定	11451%6R.4E	151701.18418
印刷先のポート(P):				
LPT1: (ECP プリンタ ボート	<u> </u>	ボートの追加(1)	<u></u>	
印刷に使用するドライバ(U):		ポートの削除(<u>D</u>)		
CASIO SPEEDIA N5300	•	ドライバの追加(M	D	
プリンタボートの割り当て - タイムアウト設定の	<u>(©)</u> プリンタ	ポートの解除(<u>N</u>)		
未選択時(<u>S</u>):	15 秒			
送信の再試行時(<u>R</u>):	45 秒			
	スプールの設定(1)	ポートの設定(Q)		
	OK	キャンセル	適用(<u>A</u>)	ヘルプ

10 [印刷ジョブをスプールし、プログラムの処理を高速に行う]を選択し [全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る]を選択します。

選択後 [OK] をクリックし、「プリンタスプールの設定」を閉じます。

プリンタ スプールの設定	? ×
 印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う(S) 全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る(L) 1 ページ目のデータをスプールしたら、印刷データをプリンタに送る(A) プリンタに直接印刷データを送る(P) 	
スプール データ形式(<u>F</u>): EMF 🗨	
 ● このプリンタの双方向通信機能をサポートする(E) ● このプリンタの双方向通信機能をサポートしない① 	
OK キャンセル 既定の設定に戻す(D)	

(2.3.3. プリンタポートの追加と設定)

Microsoft-Windows 95/98/MeにてCP-LPRを使用して印刷を行うためには、「プリンタポートの追加と設定」を行う必要があります。

ここでは、あらかじめ [印刷先のポート] としてCP-LPR以外のプリンタポートを使用する設定になっているプリンタの印刷ポートを CP-LPRを使用する設定へ変更を行う場合の手順を、MS-Windows Me を例に説明します。

『2.3.2. CP-LPRを使用して印刷を行うプリンタの追加』の手順を省略した場合は、以下の操作を必ず行ってください。

プリンタフォルダから該当するプリンタのプロパティを表示し、[スプ ールの設定]をクリックします。

「プリンタ スプールの設定」画面が表示されますので、 [印刷ジョブを スプールし、プログラムの処理を高速に行う]を選択し [全ページ分の データをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る]を選択しま す。

設定を行った後、 [OK] をクリックして「プリンタ スプールの設定」 を終了します。

プリンタ スプールの設定 ? 🗙
○ 印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う(S)
○ 全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る(L):
○ 1 ペーシ目のテータを入了ールしたら、印刷テータをプリンタに送る(A) ○ ゴリンタにきな行りに、たち、そうのの「「「「「「」」」
スプール データ形式(E): EMF 👤
● このプリンタの双方向通信機能をサポートする(E)
○ このブリンタの双方向通信機能をサポートしないΦ
OK トレー キャンセル 既定の設定(に戻す(D)

「プリンタ」フォルダから該当するプリンタの「プロパティ」画面を表示し、
 「ポートの追加」をクリックします。

CASIO SPEEDIA N5300	のプロパティ			? ×
給排紙 全般 詳細	環境設定 色の管理 共有	2-ティリティ 基本設定		ション情報 付加情報
CASIO SPEED	DIA N5300			
ー 印刷先のポート(<u>P</u>): 「PT1・(FCP プロンタ ポ)				
印刷に使用するドライバの]):	ポートの削除(D	2	
CASIO SPEEDIA N530	0	ドライバの追加公	<u>N</u> D	
プリンタ ポートの割り	当て(<u>C</u>) プリンタ	ポートの解除(<u>N</u>)		
┌タイムアウト設定⊕――				
未選択時(2):	15 秒			
送信の再試行時(8)	: 45 秒			
	スプールの設定(L)	ポートの設定(0).		
	ОК	キャンセル	適用(<u>A</u>)	ヘルプ

 「ポートの追加」画面で「その他」を選択し、更に[CP-LPR]を選択し[OK] をクリックします。

ボートの追加	? ×
追加するポートの種類を選択してください: 〇 ネットワーク(N) プリンタへのネットワーク パス:	参照(8)
 その他(0) 追加するポートの種類: 	
CP-LPR ローカル ボート	
ОК	++>U

③「CP-LPRの設定」画面で「プリンタ名」を「プリンター覧」で選択し、 [選択]をクリックします。

プリンタ名は直接「IPアドレス」或いは「ホスト名」を入力することもできます。

「プリンター覧」にプリンタ名が表示されない場合は[一覧更新]をクリックし、

「CP-LPRの検索」を呼び出して表示更新できます。

プリンタの検索については『<u>2.3.4. プリンタの検索</u>』を参照してください。







④ ポート名へ「lp0」を設定します。

デフォルト状態では「presto0」が表示されていますが、「presto0」は弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合がありますので、「lp0」へ変更して設定してください。

すべての設定が終了したら [OK] をクリックして「CP-LPRの設定」を閉じます。

ISIO SPE	EDIA N5300	のプロパティ				?
給排	⊫ ŧ紙 Ì	環境設定	1	ユーティリティ		ジョン情報
全般	言丰市世	色の管理	共有	基本設定	拡張設定	何加情報
A.	CASIO SPEED)IA N5300				
印刷生の	#_⊾(D)					
130.10.90	лт <u>гле</u> л).186 :lp0 (СР-	-LPR)	-	ポートの追加(1	2	
,					 \\	
印刷(:使	用するドライバ()	<u>]):</u>			<u></u>	
CASIOS	SPEEDIA N530	D	-	ドライバの追加(₩)	
プリン	タポートの割り	当て(<u>C</u>)…	プリンタ オ	ペートの解除(<u>N</u>)…		
	ウト設定の――				_	
未選	択時(<u>S</u>):	15 利	>			
:¥/=	の両部にあって	, ME \$1				
	WHENI 104 VD	· [40 13	/			
		スプールの語論	ະພາ 1 ແ	ポートの設定のパ		
		/////////////////////////////////				
		OK	1 :	キャンセル	適用(A) [ヘルプ

⑤ プリンタの「プロパティ」で [ポートの設定] をクリックします。

⑥必要な項目を設定します。

通常は特に変更する必要はありません。

設定変更を行った場合、[OK]をクリックして「CP-LPRの設定」を終了します。

×
分(0~999)
秒(1~59) キャンセル
▶ 印刷状況表示最前面
□ ポート番号拡張



(2.3.4. プリンタの検索)

「CP-LPRの検索」にてプリンタの検索を行うと「<u>CP-LPRの設定」</u>画面にて表示されるプリンター覧を更新することができます。新たにプリンタをネットワーク環境へ接続した場合などに、ご活用ください。

プリンタの検索は [スタート] メニューより「CP-LPRの検索」を起動することにより、単独で行うことができます。 通常は 『2.3.3. プリンタポートの追加と設定』手順で行います。 また、CP-LPRのインストール時にも検索が行えます。

ここでは、「CP-LPRの検索」の操作手順を、MS-Windows Me を例に説明します。

①「CP-LPRの検索」を単独で起動する場合、[スタート] メニューより
 → 「プログラム」 → 「CASIO SPEEDIA」 に登録された
 「CP-LPR 検索」をクリックします。

Ē	プログラム(<u>P</u>)	ŀ	Ē.	スタートアップ°	Þ		
\odot	最近使ったファイル(<u>D</u>)	₽	Ē.	CASIO SPEEDIA	►	Ĩ	CP-LPR Readme.txt
	設定(S)	F				<u>6</u>	CP-LPR 検索
٩	検索(<u>C</u>)	₽					
۲	^µ7°(<u>H</u>)						
7	ファイル名を指定して実行(<u>R</u>)						
•	Windows の終了(<u>U</u>)…						
	Z9- F						

「CP-LPRの設定」にて[一覧更新]をクリックして起動することもできます。

CP-LPRの設定	i	×
フツンタ名(N): ポート名(P):	presto0	OK キャンセル
プリンタ一覧(<u>L</u>):		選択
		一覧更新(<u>B)</u> 人

2. IP(Internet Protocol)環境でのソフトウェア設定

② 「検索結果」には過去に検索された内容が表示されます。必要なプリンタが見つからない場合は [検索開始] をクリックして検索してください。

検索範囲は「検索開始アドレス」から「検索終了アドレス」です。 検索アドレスは操作しているコンピュータと同一のセグメントに限られま す。

例:コンピュータのIPアドレスが「130.10.90.xxx」の場合は 「130.10.90.0~255」です。 なお、IPアドレスのクラス指定やルータの設定によって異なる場合が あります。

検索中は [検索開始] が [検索中断] に変わります。 [検索中断] をクリック すると検索が中断され、それまでに発見されたプリンタが追加表示されます。

③ 検索が終了すると「検索完了」が表示され、新たに発見したプリンタの台数が 表示されます。

※プリンタの電源が入っていない、などの場合は見つかりません。

[OK]をクリックすると「CP-LPRの検索」画面へ戻り、プリンター覧へ検索結果が反映されます。

<mark>帰</mark> CP-LPRの検索		×
検索開始アドレス:	130.10.90.0	検索開始
検索終了アドレス:	130.10.90.255	
検索結果:		1 306
IP7ドレス	Ethernetアドレス	[
		四山区会.
		月112年
		全て削除
, Copyright (C) 1999 /	ACCESS CO., LTD.	
Copyright (C) 1999 (Copyright (C) 1999 (CASIO COMPUTER CO., LTD. CASIO ELECTRONICS MANUFACTI	URING CO., LTD.
b7°4		



検索終了アドレス:	130.10.90.255	
検索結果:		
IPアドレス	Ethernetアドレス 🖌	-
130.10.90.184	08:00:74:80:00:14	
130.10.90.185	08:00:74:80:00:15	
130.10.90.186	08:00:74:80:00:01	
130.10.90.187	08:00:74:80:00:02 -	-
130.10.90.188	08:00:74:80:00:03	削除
130.10.90.109	08:00:74:80:00:04	-
•	•••••••	」 全て削除
Convright (C) 1999 A	CCESS CO. LTD	

「CP-LPRの設定」から起動された場合は、画面に結果が反映されます。

④ [終了] をクリックして「CP-LPRの検索」を終了します。

CP-LPRの設定	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	×
ブリンタ名(N): ポート名(P):	presto0	ОК ++>tzl
7判ンタ一覧(<u>L</u>):	130.10.90.184 ▲ 130.10.90.185 ■ 130.10.90.186 ■ 130.10.90.187 ■ 130.10.90.188 ■ 130.10.90.189 ■ 130.10.90.190 ▼	選択 一覧更新(B)

※以上で、MS-Windows 95/98/Me にて印刷する際の設定は終了です。

(2.3.5.CP-LPRの印刷)

プリンタへ印刷を行うと『CP-LPRの印刷』が起動されて印刷が行えます。

① <u>「EDRN状況表示」</u>を有効にしている場合(デフォルト)は、EDRN状況が表示されます。

②「印刷中止」をクリックすると印刷の中止が出来ます。

「印刷を中止しますか?」画面にて [はい] をクリックすると印刷処理が中止 されます。 [いいえ] をクリックすると印刷処理は中止せずに継続されます。 ※印刷処理を中止した場合、プリンタは別途リセットする必要があります。

- ※LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を「使用する」に設定しますと、プリンタのリセットはLANボードが印刷中止を検出して自動的に行います。
 - ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。詳しくは「<u>5.2.LAN</u> <u>ボードの設定変数一覧</u>」を参照してください。





③ 印刷データの転送が<u>「ポーリング間隔」</u>で指定された時間停止すると状態の表 示をします。

CP-LPRの印刷 プリンタ名: 130.10.90.186_:lp0(CP-LPR) ファイル名: Printer Test Page 送信状況: プリンタの準備が出来ていません(紙無し) Copyright (c) 1999-2001 ACCESS CO., LTD. Copyright (c) 1999-2001 CASIO COMPUTER CO., LTD. Copyright (c) 1999-2001 CASIO COMPUTER CO., LTD. Copyright (c) 1999-2001 CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO., LTD.

- ④ 印刷データの転送が「印刷タイムアウト」で指定された時間停止するとエラーの表示をします。
 - エラー表示画面にて [はい] をクリックすると印刷処理が中止されます。 [いいえ] をクリックすると印刷処理は中止せずに継続されます。
 - ※印刷処理を中止した場合、プリンタは別途リセットする必要があります。
 - ※LANボードの設定にて「<u>プリンタ制御ソフトウェアリセット機能</u>」を「使用する」に設定しますと、プリンタのリセットはLANボードが印刷中止を検出して自動的に行います。
 - ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。詳しくは「<u>5.2. LAN</u> <u>ボードの設定変数一覧</u>」を参照してください。



⑤回線が切断されるとエラー表示されます。

印刷が中止されます。



⑥<u>「印刷完了通知」</u>を有効にしている場合は、印刷完了が通知されます。 確認操作がされるまで停止しますので注意が必要です。

CP-LPRØETIK			
•	「Printer Test Page 」の印刷が完了しました。		
	<u> </u>		

2.4. DHCPを使用する際の設定

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol:動的ホスト構成プロトコル)を使用してIPアドレスの設定/管理を行っている環境では、LAN ボードのIPアドレスも同様に設定/管理を行うことができます。

DHCPはその名称が示すように、IPアドレスを含めたホスト構成を動的に行いますので、印刷を行うプリンタにて使用する際には関連する設定を行う必要があります。

ここでは、LANボードを使用する環境おいて Microsoft Network (MS-Windowsのネットワーク環境)を構築し、 MS-Windows 2000 Server 上で DHCPサーバを運用している場合に、DHCPサーバへLANボードのEthemetアドレスとリースするIPアドレスを「予約」登録して使用する際の設定手順を説明します。

- (注意)・DHCPサーバはシステム管理者によって管理されています。設定確認にあたってはシステム管理者の了承のもとで行ってくだ さい。
 - ・DHCPはあらかじめサーバコンピュータヘインストールされている必要があります。詳しくはシステム管理者に確認してください。または、各オペレーティングシステムのマニュアル/オンラインヘルプをお読みください。

2.4.1.DHCPを使用する際の設定手順概要

LANボードをDHCPで使用する際は、以下の手順で設定を行ってください。

① LANボードのEthemetアドレス(MACアドレス)を確認します。確認したアドレスは後で使用しますのでメモなどに転記しておいてください。 →「1.4. Ethemet アドレスについて」参照。

② DHCPサーバの設定を行います。

・「予約」の設定を行います。『2.4.2.DHCPサーバへ「予約」の追加設定』参照。

③ LANボードの設定を行います。

プリンタ本体の操作パネルにて [IPアドレス決定方法] を [dhcp] へ設定します。

- LANボードの基本設定をプリンタ本体の操作パネルより行います。下表の内「プリンタ本体操作パネル表示名称」欄へ名称の記載がある5項目が操作パネルにて設定可能です。(※設定方法の簡単な説明を『<u>(図 5.1.-1. プリンタ本体操作パネルの操作例)</u>へ記載しています。)
- DHCPを使用する場合は、 [通信速度(Link Mode)] [IPアドレス決定方法(IP Config)]の2項目の設定が必要です。
- その他の設定変数設定は『<u>TELNET</u>』『<u>WWWブラウザ</u>』『<u>IPX版設定ユーティリティ</u>』で行うことが出来ます。
 設定方法は「4. LANボードの設定」を参照してください。

設定項目名称 または 設定変数名称	プリンタ本体 操作パネル 表示名称	LANボード 設定変数名	設定候補	概略・他
通信速度	Link Mode	link_mode	Automatic 100M/Full 100M/Half 10M/Full 10M/Half	通信速度を設定します。 ※Automatic…Auto Negotiation 機能を使用して、通信速度を決定します。 ★通常は{Automatic}でお使いください。{Automatic}でコンセントレータ(Hub)との Linkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。
IPアドレス決定方法	IP Config	ip_config	Memory RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの決定方法を設定します。 ※Memory・・・次項目[IPアドレス]へ設定したIPアドレスを使用します。 ★{RARP},{BOOTP},{DHCP}をお使いの場合は、それぞれに対応したサーバが必要 となります。
IPアドレス	IP Address	ip_address	0.0.0.0 \$ 255.255.255.255	IPアドレスを設定します。 <u>※1</u> ※前項目[IPアドレス決定方法]の設定が{Memory}の場合のみ、使用されます。 ★{0.0.0.0},{255.255.255,{127.0.0.1}などの「特別な意味を持つIPアドレス」を 設定しますと、正常な通信が行えません。
サブネットマスク	Netmask	netmask	0.0.0.0 \$ 255.255.255.255	サブネットマスクを設定します。 <u>※1</u> ※0.0.0.0・・・決定したIPアドレスより、自動設定します。 ★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。
ゲートウェイ	IP Gateway	gateway	0.0.0.0 \$ 255.255.255.255	ゲートウェイアドレスを設定します。 <u>※1</u> ★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。
プリンタ制御ソフトウェア リセット機能の設定 <u>※</u> 2		print_reset	enable disable	プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用する/使用しないを設定します。 ★{enable}は使用可能な環境に制限があります。 ※2

※1) 設定した設定候補(値)が正しくない場合、正常に通信が行えない場合があります。正しい設定候補(値)に関しては『<u>5.2. LANボードの</u> 設定変数一覧』を参照してください。

※2)使用可能な環境に制限があります。詳しくは「<u>5.2. LANボードの設定変数一覧」を参照してください。</u>

④ LANボードを再起動します。

以下のいずれかの方法で行えます。

- ・「<u>TELNET</u>」の場合は「<u>reset</u>」コマンドを使用。
- ・「<u>WWWブラウザ</u>」の場合は【<u>再起動</u>】をクリック。
- ・LANボードの<u>リセットSW</u>を押下。
- ・プリンタの電源切断、5秒以上待った後、電源投入。

⑤お使いのクライアントコンピュータの設定を行います。

DHCPサーバにて「予約」を行ったIPアドレスを使用してクライアントコンピュータの設定を行います。

2.4.2.DHCPサーバへ「予約」の追加設定

ここでは、DHCPサーバに対して、LANボードEthemetアドレスとリースするIPアドレスの「予約」登録を行います。 以下の説明例ではMS-Windows 2000 Server を例としてしますが、異なる場合は必要に応じて設定を行ってください。

① MS-Windows 2000 Server ヘユーザグループ「Administrator」に属するユーザ名でログインします。

② [スタート] メニューの [設定] から [コントロールパネル] を選択し、「コントロールパネル」を開きます。

③「コントロールパネル」から「管理ツール」を選択し、「管理ツール」を開きます。

④「管理ツール」から [DHCP] を選択し、DHCPサーバの管理画面を開きます。

⑤スコープの「状態」が「アクティブ」であることを確認してください。

Le DHCP			<u>_ </u>
│ 操作(A) 表示(Y) │ ← → │ € 🔃 🗙 😭 🚱 │ 😫 │ 🖳			
ツリー	win2000server [130.10.90.1]		
DHCP	DHCP サーバーの内容	状態	説明
win2000server [130,10,90,1]	🚞 スコープ [130.10.0.0] CP-NW200T	** アクティブ **	CASIO SPEEDIA PRINTER
	□∃サーバーオプション	\square)
└── サーバー オプション			

⑥「予約」を行う[スコープ]ツリー表示を展開し、「予約]を選択して右クリックメニューより「新しい予約]を選択します。

C DHCP	
操作(A) 表示(Y) ← → 🗈 💽	× 🗗 🗗 堤 🖲
ツリー	スコープ [130.10.0.0] CP-NW200T
DHCP	スコープの内容
🖻 🚡 win2000server [130.10.90.1]	アドレス プール
□-□ スコープ [130.10.0.0] CP-NW200T	10アドレスのリース
	□ 型でかり
□	
⑦ 表示される「新しい予約」 画面にて、リースを行う [IPアドレス] とLANボードの [MACアドレス] (Ethemetアドレス) を設定し、 [DHCP のみ] をクリックします。

[予約名] は任意の文字列ですが、LANボードのマシン名を設定することをお勧めします。

新しい予約		? X
予約済みクライアントの情報	服を入力してください:	
予約名(<u>R)</u> :	CP800001	
IP アドレス(<u>P</u>):	130 . 10 . 90 . 186	
MAC アドレス(<u>M</u>):	08-00-74-80-00-01	
┋兑8月(<u>E</u>):	CASIO SPEEDIA N5300 + CP-NW200T	
- サポートされている種類- ○ DHCP と BOOTP(○ DHCP のみ(型) ○ BOOTP のみ(型)	<u>B</u>)	
	<u>追加(A)</u> 閉じる(0)

⑧ [追加]をクリックして設定した「予約」を登録します。

※続けて複数のプリンタ(LANボード)の登録を行う場合は、設定と追加を繰り返してください。追加が終了したら [閉じる] をクリックして 「新しい予約」を終了します。 ⑨「予約」した結果が予約ツリーへ追加表示されていることを確認してください。

Le DHCP					
│ 操作(A) 表示(Y) │ 🗢 ⇒ │ 🔁 💽	🗙 😭 🕼 🗟 🛛 🖑	•			
ツリー	[130.10.90.186] CP800001				
	オブション名	ベンダー	値	クラス	
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6日 003 ルーター	標準	130.10.90.1	なし	
	, 				

(2.4.3.LANボードの設定)

ここでは、LANボードの設定変数「IPアドレス決定方法(変数名:ip_config)」の設定変更を行います。

- ① <u>プリンタ本体の操作パネル</u>にて、メニュー項目名「IPアドレス決定方法」(操作パネル設定項目表示名称は [IP Config])を [DHCP] へ変更し [実行] キーを押下します。 設定に際しては、必ずシステム管理者の同意を得て行ってください。
 - ※設定した内容は、操作パネルにて [オンライン] ボタンを押下して、オンライン状態へ移行する際に保存されます。設定変更後は必ず オンライン状態にしてください。
- ② LANボードを再起動します。
 - ※保存した設定内容は次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。 LANボードの [リセットSW] を押下するか、プリンタ 本体の電源を「切」→「入」してください。

(2.4.4.DHCPの設定の確認)

ここでは、これまでの「DHCPを使用する際の設定手順」が正しく行われ、LANボードが使用可能状態であることをDHCPサーバの表示で確認します。

以下の説明例では MS-Windows 2000 Server を例としてしますが、異なる場合は必要に応じて操作を行ってください。

① DHCPサーバの管理画面で「アドレスのリース」を選択します。

② 現在リースされているIPアドレスの一覧が表示されますので、「クライアントIPアドレス」欄、「一意なID」欄を確認してください。確認 した内容は後でクライアントコンピュータの設定に使用しますので、メモなどへ転記しておいてください。「一意なID」欄にはLANボード のEthemetアドレス(MACアドレス)が表示されます。先程設定したLANボードのアドレスと同一であるか確認してください。

Le DHCP							
」操作(A) 表示(Y) ↓ 🗢 → 🔁 🖬	1						
ツリー	アドレスのリース						
	クライアント IP アドレス	名前	リースの有効期限	種類	一意な ID	説明	
🖶 🔂 win2000server [130.10.90.1]	📇 130.10.90.186		2003/10/31 01:01:00	DHCP	080074800001		
Ē 🚞 スコープ [130.10.0.0] CP-NW200T							
- <u> </u>							
·····································							
	,						

③「名前」欄は、「予約」を行った際に設定した「予約名」が表示されます。この場合「リースの有効期限」欄に「予約(アクティブ)」と表示されることで、LANボードへ正しくIPアドレスがリースされた(割り当てられた)ことになりますので、確認してください。

Lo Dhcp							
│ 操作(A) 表示(Y) │ ⇐ → │ 🔁 💽	1 🗟 😫						
ツリー	アドレスのリース						
DHCP	クライアント IP アドレス	名前	リースの有効	種類	一意な ID	記明	
📄 🗟 win2000server [130.10.90.1]	📇 130.10.90.186		予約 (アクティブ)	DHCP	080074800001	CASIO SPEEDIA N5300 + CP-NW20	ют
🛱 💼 スコープ [130.10.0.0] CP-NW200T			\square		\square		
一一夜 アドレスのリース							
	*						

2.4.5. クライアントコンピュータの設定

ここでは、これまでの「DHCPを使用する際の設定手順」が正しく行われ、LANボードが使用可能状態になっているものとして、クライアントコンピュータの設定を行います。

クライアントコンピュータの設定は、既に説明した方法と同一です。 ホート名またはプリンタ名として、DHCPサーバへ「予約」登録を行ったIPアドレスを使用して定義します。

以上で、DHCPサーバで運用する環境での、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。

Windows 2000 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

2.5. TELNETによる設定

TELNETを使用しますと、IP環境においてLANボードの設定変数設定を行うことができます。 設定可能項目はIP環境にて使用する項目に限 定されているわけではありません。 <u>NetWare環境</u>にて使用する設定項目に関してもTELNETコマンドを用いて設定することが可能です。 各 設定は管理者でなければ出来ません。

TELNETコマンドの詳細については、「<u>4.1.1.TELNETによる設定</u>」を参照してください。

また、設定可能項目については、「<u>5.2. LANボードの設定変数一覧</u>」も参照してください。

変数グループ	設定項目	設定内容または推奨値など	デフォルト
	admin_passwd	LANボード設定管理者用パスワード	未設定
common	machine_name	LANボードのマシン名(SNMP, NetWareにて使用)。デフォルト値での使用を推奨。	CPxxxxxx
	comment	コメント	未設定
	link_mode	通信速度決定方法の設定。auto,100m/full,100m/half,10m/full,10m/half より選択 <u>※1</u>	auto
		・現在TELNETで正常に通信が行えていますので、このままお使いになることを推奨します。	
tcpip	ip_config	IPアドレス決定方法。memory,rarp,bootp,dhcpより選択 <u>※1</u>	memory
	ip_address	IPアドレス設定値。(ip_configがmemoryの時に有効) <u>※1</u>	0.0.0.0
	netmask	サブネットマスク 🛛 🕺	0.0.0.0
	gateway	ゲートウェイアドレス <u>*1</u> <u>*2</u>	0.0.0.0
	ftp_passwd	passwordを要求するFTPクライアントの場合に設定	off
	tcp_keep_alive	TCP・キープ・アライブ・パケットの送信間隔。(0~79秒)	30
	print_reset	プリンタ制御ソフトウェアリセット機能の設定。(enable:使用する、disable:使用しない) ※	enable
snmp	snmp_mode	SNMPの動作モードを設定。(enable:使用する、disable:使用しない)	enable
	snmp_name	SNMPのコミュニティ名を設定	public
	snmp_host	Trapパケットを送信するホストのIPアドレスを設定。	0.0.0.0
nw_param	nw_mode	<u>リモートプリンタモード</u> では [rprinter]、 <u>プリントサーバモード</u> では [pserver]、未使用は	rprinter
		[disable] を設定。	
	nw_packet	AUTO,IEEE802.2,IEEE802.3,ETHERNET IIのどれかを選択	auto
		入力はそれぞれ [auto] [ieee802_2] [ieee802_3] [ethernet_ii] としてください。	
	nw_spx_abort	SPX監視停止タイムアウト時間。(30 ~ 300 秒)	30

変数グループ	設定項目	設定内容または推奨値など	デフォルト
	nw_spx_listen	SPX監視検査タイムアウト時間。(1 \sim 180 秒)	6
	nw_spx_verify	SPX確認待機タイムアウト時間。(1 \sim 15 秒)	3
	pserver	リモートプリンタモードでは、必ずプリントサーバ名を入力。	未設定
	timeout	リモートプリンタモードで印刷終了後、他プロトコルによる印刷を開始するまでのタイムアウト時	10
		間。(この間にリモートプリンタモードの印刷が投入されると優先して印刷します。)(1~255秒)	
	fserver1	プリントサーバモードではファイルサーバは最大4台まで設定が可能です。	未設定
	fserver2	(fserver1~fserver4 のうち必ず1つ以上にファイルサーバ名を入力してください)。	未設定
	fserver3	(なお、同じファイルサーバ名を入力しないでください。	未設定
	fserver4		未設定
	polltime	プリントサーバモードにて、印刷キューへ印刷データの有無を問い合わせる間隔。(1 ~ 255 秒)	15
	nw_passwd	プリントサーバモードで、LANボードがプリントサーバとしてファイルサーバへログインする際に使	未設定
		用するパスワード。	
	nw_ncp_timeout	NCPタイムアウト監視時間。(1 ~ 255 秒)	3
	nw_ncp_retry	NCPパケット再送信回数。(1 ~ 255 回)	20

※1)操作パネルでも設定可能です。後から設定した値が保存されます。

※2)ip_configがbootp/dhcpの場合、本設定が0.0.0の場合のみBOOTPサーバDHCPサーバより通知される設定を使用します。

※3)使用可能な環境に制限があります。詳しくは「<u>5.2. LANボードの設定変数一覧</u>」を参照してください。

2.6. WWWブラウザによる設定

WWWブラウザを使用しますと、IP環境においてLANボードの設定変数設定を行うことができます。 設定可能項目はIP環境にて使用する項目に限定されているわけではありません。 NetWare環境にて使用する設定項目に関してもWWWブラウザを用いて設定することが可能です。 各設定は管理者でなければ出来ません。

WWWブラウザによる設定の詳細については、「<u>4.1.2.WWWブラウザによる設定</u>」を参照してください。

また、設定可能項目については、「<u>5.2. LANボードの設定変数一覧</u>」も参照してください。

3. NetWare環境でのソフトウェア設定

(3.1. サポートモードについて

NetWare環境においてネットワークプリンタとしてご使用になる場合、LANボードはリモートプリンタモードと、プリントサーバモードの2つのモードから選択することができます。。

以下にそれぞれのモードの機能概要を示します。

【表 3.1. -1. NetWare環境でのサポートモードと機能概要】

モード名	機能概要	
リモートプリンタモード	NetWareのファイルサーバコンピュータ、もしくは専用のプリントサーバコンピュータ上で動作するプリ トサーバ(PSERVER)を介して運用されるモードです。	ノン
	NetWareのリモートプリンタ機能をエミュレートしています。LANボードはリモートプリンタとして NetWareプリントサーバへ接続することにより印字が行えます。 <u>リモートプリンタモードは NetWare 4.x に準拠します。</u>	
<u>プリントサーバモード</u>	プリンタ本体内(性格にはLANインターフェース上)でプリントサーバ(PSERVER)を動作させ運用するモ ドです。	. <u> </u>
	NetWareのプリントサーバ機能をエミュレートしています。LANボードはプリントサーバとしてNetWar ァイルサーバへ接続することにより印字が行えます。	reフ
	<u>ブリントサーバモードは NetWare 3.x に準拠します。</u> <u>NetWare 4.x 以降</u> では、バインダリリエミュし ションモードでのサポートとなります。	<u>/-</u>

どちらのモードでもNetWareユーティリティ「PCONSOLE.EXE」(または相当のユーティリティ)による設定は不可避であり、しかもそれぞれの設定内容は異なりますので、両モードを混同しないように注意してください。

3.1.1.NetWare環境における印刷設定概要

LANボードは NetWare環境における印刷機能として、リモートプリンタおよびプリントサーバのエミュレートを行う<u>リモートプリンタモー</u> <u>ド</u>および<u>プリントサーバモード</u>をサポートしています。

なお、NetWare環境における印刷機能では、LANボードには印刷データの変換・生成機能(例:プリンタドライバ機能、フィルタ機能)は 使用できませんのでご注意ください。

①リモートプリンタモードの設定概要

NetWareのバージョンにより使用するNetWareユーティリティやサーバ設定項目の名称が異なりますので、ご注意ください。

- ◆ <u>NetWare 4.xJ</u>: NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「<u>クイックセットアップ</u>」を行う場合。
 - i) <u>NetWareのクライアントコンピュータにてPCONSOLE.EXEを起動します。</u>

ii) <u>ディレクトリコンテキストを変更します。</u>

iii) <u>[クイックセットアップ] により、「新しいプリンタ」「新しいプリントキュー」を追加します。</u>
 ※新しいプリンタ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine name設定文字列)に「-0」を付加した文字列を設定します。

iv) ファイルサーバのコンソールにて、プリントサーバ(PSERVER)のリロードを行います。

v) LANボードの設定を行います。

- ・「<u>NetWareモード</u>」(設定変数nw_mode)へ「rprinter」を設定します。
- ・「プリントサーバ名」(設定変数pserver)へ接続するNetWareプリントサーバ名を設定します。
- ・LANボードを<u>リセット</u>するか、プリンタの電源を再投入します。
- ◆ <u>NetWare 4.xJ</u>: NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「通常のセットアップ」を行う場合。
 - i) NetWareのクライアントコンピュータにてPCONSOLE.EXEを起動します。
 - ii) <u>ディレクトリコンテキストを変更します。</u>
 - iii) [プリントキュー]を選択し「新しいプリントキュー」を追加します。
 - iv) <u>[プリントサーバ]を選択します。</u>プリントサーバが未設定の場合は、新規に作成を行ってください。
 - v) <u>[プリンタ] を選択し「新しいプリンタ」を追加します。</u>
 ※新しいプリンタ名には「<u>LANボードのマシン名</u>」(設定変数machine_name設定文字列) に「-0」を付加した文字列を設定します。
 - vi) ファイルサーバのコンソールにて、プリントサーバ(PSERVER)のリロードを行います。

vii) LANボードの設定を行います。

- ・「<u>NetWareモード</u>」(設定変数nw_mode)へ「rprinter」を設定します。
- ・「プリントサーバ名」(設定変数pserver)へ接続するNetWareプリントサーバ名を設定します。
- ・LANボードを<u>リセット</u>するか、プリンタの電源を再投入します。
- ◆ <u>NetWare 3.xJ</u>: NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用します。
- i) NetWareのクライアントコンピュータにてPCONSOLE.EXEを起動します。
- ii) <u>[プリントキュー]を選択し「新しいプリントキュー」を追加します。</u>
- iii) <u>[プリントサーバ]を選択します。</u>プリントサーバが未設定の場合は、新規に作成を行ってください。
- iv) <u>「プリンタ」を選択し「新しいプリンタ」を追加します。</u> ※新しいプリンタ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine name設定文字列) に「-0」を付加した文字列を設定します。
- v) ファイルサーバのコンソールにて、プリントサーバ(PSERVER)のリロードを行います。
- vi) LANボードの設定を行います。
 - ・「<u>NetWareモード</u>」(設定変数nw_mode)へ「rprinter」を設定します。
 - ・「プリントサーバ名」(設定変数pserver)へ接続するNetWareプリントサーバ名を設定します。
 - ・LANボードを<u>リセット</u>するか、プリンタの電源を再投入します。
- ◆ <u>NetWare 5.xJ</u>: NetWareユーティリティは「NetWareアドミニストレータ」を使用し、「<u>クイックセットアップ</u>」を行う場合。
 - i) <u>NetWareのクライアントコンピュータにて「NetWareアドミニストレータ」(NWADMIN32.EXE)を起動します。</u>
 - ii) <u>コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバ/プリントサーバのディレクトリコンテキストを表示させます。</u>

 - iv) <u>[プリントサーバ名] 欄でLANボードが接続するプリントサーバを選択します。</u>プリントサーバが未設定の場合は、新規に作 成を行ってください。
 - v) <u>[プリンタ] の [名前] 欄へ [LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列) に [-0] を付加した文字列を設定します。</u>
 - vi) <u>[プリントキュー] の各欄を設定します。</u>

※既存の運用環境を保存するため、新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。

vii) 各設定内容を確認し、 [作成] ボタンをクリックして「プリントサービスクイックセットアップ」を終了します。

viii)ファイルサーバのコンソールにて、プリントサーバ(PSERVER)のリロードを行います。

ix) LANボードの設定を行います。

- ・「<u>NetWareモード</u>」(設定変数nw_mode)へ「rprinter」を設定します。
- ・「<u>プリントサーバ名</u>」(設定変数pserver)へ接続するNetWareプリントサーバ名を設定します。
- ・LANボードを<u>リセット</u>するか、プリンタの電源を再投入します。

② プリントサーバモードの設定概要

NetWareのバージョンにより使用するNetWareユーティリティやサーバ設定項目の名称が異なりますので、ご注意ください。 なお、NetWare 4.1J 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。

- ◆ NetWare 4.xJ : NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「<u>クイックセットアップ</u>」を行う場合。
 - i) ファイルサーバのコンソールにて、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。
 - ・ <u>SYSTEMコンソールにて「set allow unencrypted passwords = on」と入力します。</u>
 - 「インストール」ユーティリティ(INSTALL.NLM: 「load install」と入力して起動)または「インターネットワーキング環境 設定」ユーティリティ(INETCFG.NLM: 「load inetcfg」と入力して起動)にて「autoexec.ncfファイルの編集」を選択し、 「autoexec.ncf」ファイルへ「set allow unencrypted passwords = on」行を追加します。

ii) <u>NetWareのクライアントコンピュータよりPCONSOLE.EXEを起動します。</u>

- iii) 【F4】 キーを押下して「バインダリモードへ切替え」を行います。
- iv) [<u>クイックセットアップ</u>] により、「<u>新しいプリントサーバ」「新しいプリンタ</u>」「<u>新しいプリントキュー</u>」を追加します。
 - ・新しいプリントサーバ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)を設定します。
 - ・新しいプリンタ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)に「-0」を付加した文字列を設定します。
 - ・既存の運用環境を保存するため、<u>新しいプリントキュー名</u>には新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。
- v) LANボードの設定を行います。
 - ・「<u>NetWareモード</u>」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定します。
 - ・「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1~fserver4のいずれか)へ接続するNetWareファイルサーバ名を設定します。
 - ・LANボードを<u>リセット</u>するか、プリンタの電源を再投入します。
- ◆ NetWare 4.xJ : NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「通常のセットアップ」を行う場合。
 - i) ファイルサーバのコンソールにて、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。
 - ・ <u>SYSTEMコンソールにて「set allow unencrypted passwords = on」と入力します。</u>

- 「インストール」ユーティリティ(INSTALL.NLM: 「load install」と入力して起動)または「インターネットワーキング環境 設定」ユーティリティ(INETCFG.NLM: 「load inetcfg」と入力して起動)にて「autoexec.ncfファイルの編集」を選択し、 「autoexec.ncf」ファイルへ「set allow unencrypted passwords = on」行を追加します。
- ii) <u>NetWareのクライアントコンピュータよりPCONSOLE.EXEを起動します。</u>
- iii) 【F4】 キーを押下して「バインダリモードへ切替え」を行います。
- iv) [<u>プリントサーバ</u>]を選択し、「<u>新しいプリントサーバ</u>」を追加します。 ・ 新しいプリントサーバ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)を設定します。
- v) <u>追加したプリントサーバを選択し、「プリントサーバ情報」にて〔プリンタ〕を選択して「定義済プリンタ」へ「プリンタ」</u> <u>を追加</u>します。

※プリンタ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)に「-0」を付加した文字列を設定します。

vi) 追加したプリンタを選択し、「プリンタの環境設定」にて[プリントキュー割り当て]を選択して「新しいプリントキュー」 を追加します。

※既存の運用環境を保存するため、新しいプリントキュー名には新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。

- vi) LANボードの設定を行います。
 - ・「<u>NetWareモード</u>」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定します。
 - ・「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1~fserver4のいずれか)へ接続するNetWareファイルサーバ名を設定します。
 - ・LANボードを<u>リセット</u>するか、プリンタの電源を再投入します。
- ◆ <u>NetWare 3.xJ</u>: NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用します。
- i) ファイルサーバのコンソールにて、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。
 - ・ <u>SYSTEMコンソールにて「set allow unencrypted passwords = on」と入力します。</u>
 - ・ <u>「インストール」ユーティリティ(INSTALL.NLM: 「load install」と入力して起動)にて「autoexec.ncfファイルの編集」を選</u> 択し、「autoexec.ncf」ファイルへ「set allow unencrypted passwords = on」行を追加します。
- ii) <u>NetWareのクライアントコンピュータよりPCONSOLE.EXEを起動します。</u>
- iii) <u>[プリントサーバ]を選択し、「新しいプリントサーバ」を追加</u>します。
 - ・ 新しいプリントサーバ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)を設定します。
- iv) <u>追加したプリントサーバを選択し、「プリントサーバ情報」にて</u>[プリンタの構成]を選択し「構成完了プリンタ」へ「プリ ンタ」を追加します。

※プリンタ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)に「-0」を付加した文字列を設定します。

- v) 「利用可能な項目」にて [プリントキュー情報] を選択し「新しいプリントキュー」を追加します。 ※既存の運用環境を保存するため、新しいプリントキュー名には新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。
- vi) 「プリントキュー情報」にて [キューサーバ] を選択し追加したプリントサーバを設定します。
- vii) LANボードの設定を行います。
 - ・「<u>NetWareモード</u>」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定します。
 - ・「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1~fserver4のいずれか)へ接続するNetWareファイルサーバ名を設定します。
 - ・LANボードを<u>リセット</u>するか、プリンタの電源を再投入します。
- ◆ <u>NetWare 5.xJ</u>: NetWareユーティリティは「NetWareアドミニストレータ」を使用し、「クイックセットアップ」を行う場合。
 - i) ファイルサーバのコンソールにて、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。
 - ・ <u>SYSTEMコンソールにて「set allow unencrypted passwords = on」と入力します。</u>
 - <u>「NetWare環境設定」ユーティリティ(NWCONFIG.NLM: 「load nwconfig」と入力して起動)にて「サーバスタートアップ</u> ファイルの作成/編集」を選択し、「autoexec.ncf」ファイルへ「set allow unencrypted passwords = on」行を追加します。
 - ii) 「NetWareアドミニストレータ」(NWADMIN32.EXE)を起動します。
 - iii) <u>コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバのディレクトリコンテキストを表示させます。</u>
 - iv) <u>プリントサーバを作成するコンテナオブジェクトを選択し [ツール] メニューから [プリントサービスクイックセットアップ]</u> を選択してウィンドウを開きます。
 - v) [プリントサーバ名]欄へ「LANボードのマシン名」(設定変数machine name設定文字列)を入力します。
 - vi) <u>[プリンタ] の [名前] 欄へ 「LANボードのマシン名」(設定変数machine name設定文字列) に 「-0」を付加した文字列を設定します。</u>
 - vii) <u>[プリントキュー] の各欄を設定します。</u>
 - ※既存の運用環境を保存するため、新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。
 - viii)各設定内容を確認し、[作成]ボタンをクリックして「プリントサービスクイックセットアップ」を終了します。
 - ix) LANボードの設定を行います。
 - ・「<u>NetWareモード</u>」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定します。
 - ・「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1~fserver4のいずれか)へ接続するNetWareファイルサーバ名を設定します。
 - ・LANボードを<u>リセット</u>するか、プリンタの電源を再投入します。

3.2. リモートプリンタモードの設定

リモートプリンタモードの設定を行うには、NetWareサーバにインストールされているユーティリティを使用します。

<u>NetWare 4.xJ 以前のバージョンでは「PCONSOLE.EXE」を使用し、NetWare 5 以降のバージョンでは「NetWareアドミニストレータ」を</u>使用します。

〔3.2.1. NetWare 4.xJ のリモートプリンタモード設定〕

① PCONSOLEを実行します。

※PCONSOLE.EXEは、通常「SYS:¥PUBLIC」に格納されています。



② ディレクトリコンテキストを変更します。

※プリントサーバ,プリンタ,プリントキューはディレクトリツリー内に作成されますので、必要に応じてコンテキストを変更します。

(例)コンテキストを「NETWARE」から「FSERVER1.NW411J.NETWARE」へ変 更する場合。







③ クイックセットアップによる設定



3. NetWare環境でのソフトウェア設定



3. NetWare環境でのソフトウェア設定





《注意》このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。またこのオペレ ーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペレー ションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

ファイルサーバのコンソール画面で、PSERVERをリロード(RELOAD)します。リロードというのは、既にPSERVERが実行されている場合には、一旦アンロード(UNLOAD)してから再度ロード(LOAD)するという内容を含みます。



3. NetWare環境でのソフトウェア設定







⑤ クイックセットアップを使用しない場合の設定方法。

1) プリントキューの追加を行います。

プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運 用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します。

i) 「利用可能な項目」メニューから [プリントキュー] を選択します。

ii) Insertキーを押下し、プリントキューの追加を選択します。

NetWar h);f\$7	reプリント⊒ンソール 4.15 ト・ESERVER1_NW411.L_NETWARE		(7)()	2000 -	11 - 1	13:01
		利用可能な項目				
		7*リントキュー				
		7*929				
		91っ?をったっ」				
(#Bar	<u> そうかんちょうまう まろにい</u>					
		8、NEnter/2140日 恭之 5終了	5 9		E1-AL	じのまー
cnter-,	▲初(「4−// 1ノ% クモート / 14/) ■	首人 Esc-和公子			FT- 40,	0.361
	Fnter+-	畑下にて遅	圮			
			7/1			
	₩					
NetWar	י=ר¢אַראַלאַדער 4.15		(7)()	2000 -	11 - 1	13:01
NetWar コンテキス	reブッントコンソール 4.15 ト: FSERVER I, NW411J.NETWARE		(7)	2000 -	11 - 1	13:01
NetWar コンテキス	יביעטאל א 15 אין אראנענען א 15 אין דאראנענען אין אין אין אין אין אין אין אין אין אי		(7 7)	2000 -		13:01
NetWar コンテキス	יפר"ייטאבאיאין 4.15 איז איז איז איז איז איז איז איז איז איז		(7) (1)	2000 -	11 - 1	13:01
NetWar コンテキス	re7*/2)-12)-2)-4, 15 :: FSERVER1, NW411J, NETWARE :: SERVER1, NU4, NU4, NU4, NU4, NU4, NU4, NU4, NU4			2000 -		13:01
NetWar J)773	יפ"י"ט'בעיי"ע 4.15 די FSERVERI .NW411J .NETWARE די FSERVERI .NW411J .NETWARE די לא גערייין אין אין אין אין אין אין אין אין אין		() ()	2000 -	11 - 1	13:01
NetWar J)773	יפיז"טאבטא-ע. 4.15 איז דאריער איז		0/5)	2000 -		13:01
NetWar J)7tX	יפיד"איזאבאיזאבערייערייערייערייערייערייערייערייערייערי			2000 -		
NetWan J)74X	reブリントコンソール 4.15 : FSERVER1.NW411J.NETWARE 000000000000000000000000000000000000		(7)0	2000 -		
NetWan JVFtX	יפ"י") איז איז איז איז איז איז איז איז איז איז		0/0	2000 -		
NetWar Jyftl	יפ"ד"איז איז איז איז איז איז איז איז איז איז			2000 -		
NetWar コンテス リート・ レート・ ンテス レート・ 注意の レート・ 注意の し、 と	re7*リントコンソール 4.15 ::FSERVER1.NW411J.NETWARE フ*リントキュー PRINT0_0		(7)			
NetWar コンテキス リーンテキス リーンテキス リーンティス リーン リーン リーン リーン リーン リーン リーン リーン リーン リーン	re7*リントコンソール 4.15 : FSERVER1, NW411J.NETWARE フ・リントキュー PRINT0_0 PRINT0_0 にいるフィリントキューこ見する情報 違択 Ins=挿入 De1=削修	■ ■	()や ()や () () () () () () () () () () () () ()	2000 - 2000 - 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		13:01
NetWan コンテキス	・・・・・ ・・・・ ・・ ・・ FSERVER1 . NW411J . NETWARE ・・ ・ ・・ ・ ・・ ・・ ・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・ ・・ ・ ・・ ・・ ・	ギリ用可能な項目 アリットキュ・ アリットサーバ・ アリットサーバ・ アリットサーバ・ フィットサーバ・ フィットサーバ・ フィットサーバ・ アリット アリット アリットサーバ・ アリット アリット アリット アリット アリット アリット アリット アリット	(7)0	2000 -		13:01
NetWas コンテキス シテキス シート・ シート・ シート・ シート・ シート・ シート・ シート・ シート・	・・FSERVER1.NW411J.NETWARE ・・FSERVER1.NW411J.NETWARE ・・FSERVER1.NW411J.NETWARE ・・・・・・	ギリ用可能な項目 ギリ用可能な項目 アックト アックト アックト アックト アックト アックト アックト アックト	()や ()や () () () () () () () () () () () () ()	2000 - 第世します 追加 るプリ」		13:01 14:01 14:01
NetWar コンテキス シンテキス	tre7*リントコントー、4.15 EFSERVER1.NW411J.NETWARE ア・リントキュー PRINT0_0 でいるフリントキューに関する情報 選択 Ins=挿入 Del=削勝 Insertキー 一名を入力	利用可能な項目 アリットすった アリット・	()や () () () () () () () () () () () () ()	2000 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		13:01 13:01 13:01 13:01 13:01 14:0

iii) 追加するプリントキュー名を入力します。

iv) プリントキューの作成先となるボリュームを指定します。

フ*ワンドキュ~ International and a second s	
フ*リンドュー 印刷目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目	
利用可能な項目 利用可能な項目 時間の時間の時間 17'97月3~ 時間の時間の時間の時間 新ししい7*97月3~名: PRINT0_1 127月3月の変更 時間時間時間時間 127月3月の変更 時時間時間時間時間時間 112月3月のの変更 112月3月のの変更 113月3月の時間 111月月前日 112月3月のの変更 113月3月のの変更 113月3月の時間 113月3月の時間 113月3月の時間 113月3月	
7'97 +3 新しい7'97 +3-名: PRINTO_1 コンテオストの変更 株開始時間時間時間 日日の一次の変更 株開時間時間時間時間時間 日日の一次の変更 株開時間時間時間時間時間 日日の一次の変更 日日の一次の変更 日日の一次の変更 日日の一次の一次の 日日の一次の変更 日日の一次の変更 日日の一次の変更	
新しいアップドキュー名・PRINTO_1	
000000000000000000000000000000000000	
選択 Esc=終了	F1=\\\7*(
reプリントコンソール、4.15 (フヤン 2000 - .ト: FSERVER: .NW411J.NETWARE 	11 - 1 1 0000000
PRINTQ_0 利用可能な項目	
779244a- 27924- 27924-	
<mark> プリントキュー</mark> プリンカ プリンカ プリントサーバ プリントサーバ シントオントの変更 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	
17197年3- 7192月 71921 7	
⁷	
アソフトキュ・ アソフタ・パ フリンタ・パ フリンタ・パ フリンタ・パ フリンタ・パ フリンタ・パ コンデオントの変更 And the second seco	
アックトキュ・ アックト アックト アックト アックト アックト アックト アックト アックト	_F1=^\U/2^*(
アックトコー アックタ アックターパン フリントーパン フリントーパン コンテオントの変更 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	F1=^\U/2^*(
	<u></u> <u></u> <u></u> ・ 上名の

			/ _ /
V)	プリントキューの作成先ボリュームを選択します。作成先ボリュームには	Net₩areブソントコンンール 4.15 (フヤン 2000 - 11 - 1 13: _コンテキスト: FSERVER1.NW411J.NETWARE	:01
-	十分な空き容量のあるボリュームを指定してください。	17°9°±91. 95%	
		FILESERVERI_SYS	
		G I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	雕
) 9 小+ュ=YFbX元のハー9ュームを選択してくたさい Enter=選択 F10=選択 Esc=終了 F1=∿レプの;	表示
		ボリュームを選択後、Enterキーを押下	し
		✓ 確定します。	
		•	
		NetWare 7*リントコンソール 4.15 (7や 2000 - 11 - 1 13:	:01
vi)	プリントキューの追加は終了しました。	_J/7+A(): FSERVERI . WW411J.NE WARE	
		1997 <mark>- 7'9784a-</mark> 000000000000000000000000000000000000	
		1990年1月1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1	
		2月からかって、 コンデストの変更	
		26かしているフリカキューに関する)推測を表示するには、くEnter>を押します Enter=選択 Ins=挿入 Del=削除 F6=バインダリリファレンスキューの追加 Alt+F1	1=)欠
		Escape干一押下。	
		¥	



vii) Escapeキーを押下し、「利用可能な項目」メニューへ戻ります。

※続けて、プリントサーバ情報を設定します。

- 2) プリントサーバはディレクトリツリー内に作成されていますので、プリント サーバの作成されている<u>コンテキストへ変更</u>します。
- 3) プリンタの追加を行います。
 - viii) 「利用可能な項目」メニューから、 [プリントサーバ] を選択します



NetWareプリントコンソール 4.15 コンテキスト:FSERVER1.NW411J.NETWARE (7)0 2000 - 11 - 1 13:01 ix) プリントサーバが、既に設定してあればそれを利用します。なければ新規 に作成を行ってください。 フ・リントサール・ 利用可能な項目 PRINTSERVER1 フッリントキュー ブリンム プリントサーバ クイックセットアップ コンテキストの変更 選択しているブリントサーバに関する情報を表示するには、 <Enter>を押します Enter=選択 Ins=挿入 Del=削除 F3=変更 F5=?~り Esc=終了 F1=៕プの表示 プリントサーバを選択しEnterキー押下。 NetWareフ[°]リントコンソール 4.15 コンテキスト: FSERVER1.NW411J.NETWARE (7)0 2000 - 11 - 1 13:01 「プリントサーバ情報」メニューから「プリンタ」を選択します。 プリントサーバ 利用可能な項目 フリントリーが情報 PRINTSERVER1 プリントキュー フ・リンタ 情報およびステータス フ*リシタ^{レー} フ*リントサーハ* クイックセットアッフ* コンテキストの変更 n 4400 & エーデ パート・ 説明 パスワート・ 監視 このプリハサーバにサビスされるように割当てられているプリルを表示するには、 <Enter>を押します Enter=選択 Esc=終了 F F1=ヘルプの表示 Enterキー押下。

X)



xi) Insertキーを押下し、追加するプリンタの選択メニューを表示します。

※既に設定されているプリンタの一覧が表示されます。

xii) さらにInsertキーを押下し、新しいプリンタ名の入力を行います。

※プリンタ名はLANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定さ <u>れている文字列</u>)に「-0」を付加した文字列を入力してください。 LANボードのマシン名は工場出荷時の状態では<u>Ethernetアドレス</u>の下6 桁に「CP」を付加した文字列となっています。

(例)LANボードのEhtemetアドレスが「080074800002」の場合、工場出荷 時状態(デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっていますので、 新しいプリンタ名には図のように「CP800002-0」と入力してください。

xiii) 追加したプリンタを選択します。











CP-NW200T User's Manual

F1=ヘルプの表示

「Yes」を選択するとブログラムは終了します、「No」を選択するとブログラムは続行します

Enterキー押下にてPCONSOLEを終了します。

Enter=選択 Esc=キャンル

4) 追加したプリンタを有効にします。

xix) **PSERVER** *O***RELOAD**

《注意》このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。またこのオペ レーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペ レーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

前述「<u>④PSERVERのRELOAD</u>」の手順に従い、ファイルサーバのコンソール画面で、PSERVERをリロード(RELOAD)します。

リロード後、<u>追加を行ったプリンタ</u>が「<u>プリンタリスト</u>」に追加表示されていることで、プリンタの追加が正しく行えたことを確認します。

以上の手順でNetWareサーバへの設定は終了です。引き続きLANボードの設定を行ってください。LANボードの設定にて『<u>NetWare</u> モード」(設定変数nw_mode)へ「rprinter」を設定、「<u>プリントサーバ名</u>」(設定変数pserver)へこれまで設定を行ったNetWareプリント サーバ名を設定』した後、LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの[リセットSW]を押下するか、 プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待った後「<u>プリンタリスト</u>」で[<u>追加を行ったプリンタ</u>] (LANボードのマ シン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加した名前)を選択しEnterキーを押下して表示されるプリンタ動作 状態表示の[カレントステータス] 欄が「プリンタ未接続」から「プリントジョブ待機中」へ表示が変わることで確認できます。

⑥注意事項。

- 1) プリンタの印刷動作をより詳細に設定するために、NetWareには PRINTDEF, PRINTCON, CAPTURE 等のコマンドが用意されてい ます。内容については、NetWareのマニュアルをご参考ください。
- 2) これまでの操作例は「NetWare 4.11J」の画面表示を元に説明しています。「NetWare 4.xJ」は、ほとんど同じ操作でお使いいただ
けます。「<u>NetWare 3.2J</u>」以前のバージョンでは、PCONSOLE、プリントサーバコンソール等の画面表示が変更されていますが、 設定の手順は概ね同様です。また、「<u>NetWare 5.xJ</u>」では使用するNetWareユーティリティが異なり、設定の手順も変更になってい ますが、基本的な考え方は概ね同様です。「<u>NetWare 3.xJ</u>」「<u>NetWare 5.xJ</u>」のバージョンについては次ページ以降を参照してく ださい。

3) 詳しくはシステム管理者にお尋ねください。

(3.2.2. NetWare 3.xJ のリモートプリンタモード設定)

⑦ PCONSOLEを実行します。

⑧ プリントキュー情報を設定します。

まず「利用可能な項目」メニューから [プリントキュー情報] を 選択します(()。

プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します(**()**)。



⑨プリントサーバ情報を設定します。

「利用可能な項目」メニューに戻り、「プリントサーバ情報」を選択します(②)。プリントサーバが、既に設定してあればそれを利用します。なければ新規に作成を行ってください(④)。



「プリントサーバ情報」メニューから [プリントサーバ構成]を選択します()



「プリントサーバ構成メニュー」から、 [プリンタ構成] を選択します(①)。	NetWare7° リントコンソールユーティリティ J-V1.41 ユーザ : SUPERVISOR	ファイルサーバ: DEL	(火) 2000-10-31 19:01 LGX5133 接続数:1
「構成完了プリンタ」メニューから、未インストール ([1)ストールされていません] と表示されているところ)の プリンタ番号を選択します(の)。	構成完了プリッタ CP800001-0 0 10入トーにされていません 1 10入トーにされていません 3 10入トーにされていません 3 10入トーにされていません 5 10入トーにされていません 6 10入トーにされていません 6 10入トーにされていません 7 10入トーにされていません 7 10入トーにされていません 8 10入トーにされていません 9 10入トーにされていません 10 10入トーにされていません 10 10入トーにされていません 11 10入トーにされていません 11 10入トーにされていません 13 10入トーにされていません 13 10入トーにされていません 14 10入トーにされていません 14	。 用可能な項目 11けーバの変更 リンドュー情報 リンドゥード情報	プリントサーバ 情報 プリントサーバ 構成メニュー 使用されているファイルサーバ プリンタ通知リスト プリンタでサービスされているキュー プリンタの構成

プリンタ名はLANボードのマシン名(設定変数 machine nameに設定されている文字列)に「-0」を付加し たものを入力してください。LANボードのマシン名は工場 出荷時の状態では <u>Ethernet アドレス</u>下6桁に「CP」を付加し たものとなっています。また、プリンタのタイプは 「リモートパ ラルル, LPTn」としてください。(h)

NetWareプリントコンソールユーティリティ J-V1.41 (火) 2000 – 10 – 31 19:01 ユーザ: SUPERVISOR ファイルサーバ: DELLGX5133 接続数: 1				
構成 CP800001-0 1)ストールされてい 1)ストールされてい 1)ストールされてい 1)ストールされてい 1)ストールされてい 1)ストールされてい 1)ストールされてい 1)ストールされてい 1)ストールされてい 1)ストールされてい	プリンタ 1 の構成 名前: CP80000-2 タイプ: リモートN°ラルル、LPT1 社別時間子: IRQ: 7 バッファサイズ (Kバイト): 3 開始日1紙: 0 +- # ビンモト:	- ௫	バ 情報	

15

再び「プリントサーバ構成メニュー」に戻り、「プリンタ でサービスされているキュー」を選択します()。

続いて「定義済みのプリンタ」メニューから

の

~

ゆで追

加したプリンタを選択します(①)。



 ● で設定したプリントキューを選択し((€)、その優先順 位を決定します(①)。 優先順位をつけるからには、複数 のキューを設定することもできます。 また、同一のキュ ーを複数のプリンタに割り当てることもできますが、詳し くはNetWareのマニュアル等をご参照ください。



《注意》このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。またこのオペ レーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペ レーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

前述「 <u>④PSERVERのRELOAD</u> 」の手順に従い、サーバのコン ソール画面で、PSERVERをリロード(RELOAD)します。	Novell NetWare v3.2J (40 user) 10/31/97 (C) Copyright 1983-1997 Novell Inc. All Rights Reserved
リロード後、 <u>追加を行ったプリンタ</u> が「 プリントサーバコンソ ール」に追加表示されていることで、プリンタの追加が正しく行え たことを確認します。	Tuesday October 31, 2000 6:58:31 pm 10/30/00 8:11pm: 0.0.0 Remote Console Connection Granted for ~ FSERVER: <u>UNLOAD PSERVER</u> Module PSERVER.NLM unloaded FSERVER: <u>LOAD PSERVER PRINTSERVER</u>

以上の手順でNetWareサーバへの設定は終了です。引き続きLANボードの設定を行ってください。LANボードの設定にて『「NetWare モード」(設定変数nw_mode)へ「rprinter」を設定、「プリントサーバ名」(設定変数pserver)へこれまで設定を行ったNetWareプリント サーバ名を設定』した後、LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの[リセットSW]を押下するか、 プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待った後「プリントサーバコンソール」の[追加を行ったプリンタ] (LAN ボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加した名前)欄に押下して表示されるプリンタ動作状態 表示欄が「プリンタ未接続」から「プリントジョブ待機中」へ表示が変わることで確認できます。

プリンタのEI帰動作をより詳細に設定するために、NetWareには PRINTDEF, PRINTCON, CAPTURE 等のコマンドが用意されています。内容については、NetWareのマニュアルをご参考ください。

〔3.2.3. NetWare 5.xJ のリモートプリンタモード設定〕

① NetWareアドミニストレータを実行します。

1) 「SYS:¥PUBLIC¥WIN32¥NWADMIN32.EXE」を実行します。

[] Net₩are7トミニストレータ - [[Root] (CASIO)] _ □ ×
□ おジェクト(Q) 表示(V) おフジョン(P) ツール(T) クィントヴ(W) ヘルフ°(H) □ □ □ ×
(Root)
- S. NETWARE
L 🕒 Security

<mark>陳 NetWareアトミニストレータ - [[Root] (CASIO)]</mark> 麗 オフジェクト(① 表示(① オフジョン(P) ツール(① ウィントウ(⑪) ヘルフ(①) _ 🗆 × 2) コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバ/プリントサーバのコ - 8 × ンテキストを表示させます。 😵 [Root] **⊢ &** NETWARE L ng NW50J FSERVER1 - See DNSDHCP-GROUP ■ FILESERVER1 - 🐣 CP800001 - 0 - 🕰 PRINTSERVER1 -≝PRINTQ D 🔺 🖀 admin - 🗉 FILESERVER1 SYS -@Novell+NetWare 5 Conn SCL+500 - Novell+NetWare 5 Server+500 - D NLS LSP FILESERVER1 - 🕽 SAS Service - FILESERVER1 - 🛯 LDAP Server - FILESERVER1 - MELDAP Group - FILESERVER1 -- LDAP Catalog - FILESERVER1 - 🌉 FILESERVER1 BROKER - 🗖 DNS-DHCP L 🛛 RootServerInfo L 🛅 Security

12 クイックセットアップによる設定。

プリントキューを作成するコンテナオブジェクトを選択(シングルクリック)し、 [ツール] メニューから [プリントサービスクイックセットアップ(非NDPS)] を選択してクイックセットアップを起動します。



4) プリントキューを作成する [プリントサーバ名] を確認します。異なる 場合は【ブラウズ】ボタンをクリックして、正しいプリントサーバを選 択します。



- 5) 「**プリンタ**」の [名前] を入力します。
 - ※プリンタ名はLANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定 されている文字列)に「・0」を付加した文字列を入力してください。LAN ボードのマシン名は工場出荷時の状態(または、各種設定用メモリの初 期化時の状態)では<u>Ethernetアドレス</u>の下6桁に「CP」を付加した文 字列となっています。
 - (例)LANボードのEthemetアドレス「080074800002」の場合、工場出 荷時状態(デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっています ので、新しいプリンタ名には図のように「CP800002-0」と入力し てください。
- 6) 「プリントキュー」の [名前] を入力します。
 - ※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既 存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作 成します。

7) 必要に応じて「プリントキュー」の [ボリューム] の設定を変更します。

その他の設定は、変更しないでください。各設定内容を確認後【作成】 をクリックして設定を保存することにより、クイックセットアップを終 了します。

フリントサービスのりイ	ፇクセットアッフ*(非NDPS)	×
フリントサーバ名(P): コリンター	PRINTSERVERI	EEE 作成(C)
名前(N):	CP800002-0	- <u>++200</u>
\$17°(<u>T</u>):	ハ ^o ラレル 通信(C)	
ハ [*] ナータイフ [*] (<u>B</u>):	7+21	
- フツントキュー		
名前(<u>A</u>):	Q1	
<u></u> ₩₽₩₽₩₽₩₽	FILESERVER1_SYS	

フリントサービスのクイァ	フセットアッフ*(非NDPS)		×
フリントサーバ名(<u>P</u>):	PRINTSERVER1	ĔR:	作成①
- / 9/% 名前(<u>N</u>):	CP800002-0		キャンセル ヘルコ*(H)
\$√7°(<u>T</u>):	パラレル ▼ 通信©)		
ハ*ナータイフ*(<u>B</u>):			
7%)/h+1= _			
名前(<u>A</u>):	PRINTQ_1		
₩₽⊐₩4(<u>V</u>):	FILESERVER1_SYS	Ĕ <u>R</u> :	



9) 以上で、クイックセットアップによるプリンタの設定は終了です。

※リモートプリンタモードで運用を行うネットワークプリンタ(LANボード)を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順3~80を 繰り返して行ってください。 10)追加したプリンタを有効にします。

PSERVERのRELOADを行います。

《注意》このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。またこのオペ レーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペ レーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

前述「<u>**4PSERVERORELOAD</u>**」の手順に従い、ファイルサーバのコンソール画面で、PSERVERをリロード(RELOAD)します。 リロード後、<u>追加を行ったプリンタ</u>が「<u>プリンタリスト</u>」に追加表示されていることで、プリンタの追加が正しく行えたことを確 認します。</u>

以上の手順でNetWareサーバへの設定は終了です。引き続きLANボードの設定を行ってください。LANボードの設定にて『<u>NetWare</u> モード」(設定変数nw_mode)へ「rprinter」を設定、「<u>プリントサーバ名</u>」(設定変数pserver)へこれまで設定を行ったNetWareプリント サーバ名を設定』した後、LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの[リセットSW]を押下するか、 プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待った後「<u>プリンタリスト</u>」で[追加を行ったプリンタ] (LANボードのマ シン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加した名前)を選択しEnterキーを押下して表示されるプリンタ動作 状態表示の[カレントステータス] 欄が「プリンタ未接続」から「プリントジョブ待機中」へ表示が変わることで確認できます。

3.3. プリントサーバモードの設定

LANボードの諸設定は、NetWare環境で使用するものとしては基本的にリモートプリンタモードをデフォルトとしてあります。ログインスロットを余分に消費しない点、未暗号化パスワードの使用許可設定を行う点、バインダリエミュレーションモードでのサポート(NetWare 4.1J 以降)、などの諸点を考慮すると、弊社としてはリモートプリンタモードを推奨します。

(注) NetWare 4.1J 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。

3.3.1.「未暗号化パスワード使用許可の設定)

ファイルサーバのコンソール画面で、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

《注意》ファイルサーバを次回起動時にも設定する必要がありますので、autoexec.ncfファイルにも設定してください。

①動作中のファイルサーバに、未暗号化パスワード使用許可の設定を行います。

1) ファイルサーバの「SYSTEMコンソール」にて、

「set allow unencrypted passwords = ON」 とコマンド入力します。

ファ	[,] イルサーバ S	SYSTEMコンソー	ν	
Novell NetWa (C) Copyrigh All Rights R 特許申請中 —	re 4.11 1996 t 1983-1996 N eserved Novell Inc.	August 22 ovell Inc.		
Wednesday, 2	000 November	1 12:20:23 JST		
OEM識別: 999 ライセンス接続の最大数: 100 インストール済みライセンス シリアル番号 接続数 ライヤンスタイプ ハージョン 有効期限				
12345678	100	WEB/CONN	4.11 NONE	
FILESERVER1: set allow unencrypted passwords = on				

コマンド入力後Enterキー押下

2) Allow Unencrypted Passwords を ON に設定しました」と表示され、	ファイルサーバ SYSTEMコンソール
setコマンドは正常に実行されました。	Novell NetWare 4.11 1996 August 22 (C) Copyright 1983-1996 Novell Inc. All Rights Reserved 特許申請中 - Novell Inc. Wednesday, 2000 November 1 12:20:23 JST OEM識別: 999 ライセンス接続の最大数: 100 インストール済みライセンス ジリアル番号 接続数 ライセンスタイプ バージョン 有効期限 12345678 100 WEB/CONN 4.11 NONE FILESERVER1: set allow unencrypted passwords = on Allow Unencrypted Passwords をONに設定しました FILESERVER1:

② autoexec.ncfファイルへ「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

1) ファイルサーバの「SYSTEMコンソール」にて、「INSTALL」 ユーティリ ティを記動します	ファイルサーバ SYSTEMコンソール
) 「 と起動しな 9。 NetWare 5.0J 以降では「NWCONFIG」 ユーティリティを起動します。	Novell NetWare 4.11 1996 August 22 (C) Copyright 1983-1996 Novell Inc. All Rights Reserved 特許申請中 - Novell Inc.
	Wednesday, 2000 November 1 12:20:23 JST
	OEM識別: 999 ライセンス接続の最大数: 100 インストール済みライセンス ジリアル番号 接続数 ライセンスタイプ ハーージョン 有効期限 12345678 100 WEB/CONN 4.11 NONE
	FILESERVER1: load install
	 コマンド入力後Enterキー押下



4) 未暗号化パスワード使用許可設定のためのコマンドを追加します。

※AUTOEXEC.NCFの適切な位置に 「set allow unencrypted passwords = ON」 と1行追加します。

5)「インストール」ユーティリティを終了します。



(3.3.2. NetWare 4.xJ のプリントサーバモードの設定)

① PCONSOLEを実行します。

1) PCONSOLEを起動後、【F4】キーを押下し「バインダリモードへ切替え」を行 います。

<u>※NetWare 4.x では、プリントサーバモードはバインダリエミュレーションモー</u> ドでのサポートとなります。



② クイックセットアップによる設定。

1) 「利用可能な項目」メニューから [クックセットアップ] を選択します。

2) [プリントサーバ] 欄へカーソルを移動します。



3. NetWare環境でのソフトウェア設定

3) [新しいプリントサーバ名] の入力を開始します。

入力ボックスはプリントサーバ名の入力を開始すると自動的に表示されます。

入力終了後、Enterキーを押下して確定します。

- ※プリントサーバ名はLANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定さ <u>れている文字列</u>)を入力してください。LANボードのマシン名は工場出荷時の 状態では<u>Ethernetアドレス</u>の下6桁に「CP」を付加した文字列となっています。
- (例)LANボードのEthemetアドレスが「080074800002」の場合、工場出荷時状態 (デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっていますので、「新しいプリ ントサーバ名」には図のように「CP800002」と入力してください。
- 4) [新しいプリンタ] 欄へカーソルを移動します。

	フ・リントサービースクイックセットアッフ・	
しいワッツントサーバッキ	占: CP800002	
N°ナ-タイフ*:	テキスト	
プリンクタイブ: 位置:	がうル 手動ロート* たいしてき いったいちょう	
anco⊁. ポート:	LPT1	
リンタとフ・リントキューを	をサービスするブリントサーバの名前を入力してくださ!	(,)
プリ	リントサーバ名入力後、Ente	er+
עיל 🗸	リントサーバ名入力後、Ente	er‡
↓ プリ プリ 2 ⁻¹ × ADMIN	リントサーバ名入力後、Ente 15 (7k) 2000 (NetWareサーバ名: FILESERVER1, 接続ID: 6)	er+•
プリノ プリノ プリノ プリノ プリノ プリノ プリノ ネーサ、 ADMIN	リントサーバ名入力後、Ente 15 (水) 2000 - (Net Wareサーバ名: FILESERVER1, 接続ID: 6)	er‡•
↓ プリ プリノ 2-サ [*] ADMIN	リントサーバ名入力後、Enter 15 (7次) 2000 - (Net Ware サーバ名: FILESERVERI, 接続ID: 6) 7*リントサー* スカイックセットアッフ*	er‡-
プリントヨンソール 4. ユーザ ADMIN プリントサール・: 新ししいアリンクトま	リントサーバ名入力後、Ente 15 (次) 2000 (NetWareサーバ名: FILESERVER1, 接続ID: 6) フ*リントサービネンイックセットアッフ* CP800002 P1 -: 01	er‡
プ プ プ プ プ プ プ プ	リントサーバ名入力後、Enter 15 (パ、) 2000 (Net Ware サーバ名: FILESERVER1, 接続ID: 6) フ*リントサービ*スクイックセットアッフ* CP800002 こ 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	• 11 -
プ ¹ ソントコンターは 4. スーサ ² ADMIN フ ¹ ソントサール ² : 新ししいフ ¹ ソントサー 新ししいフ ¹ ソントサー がナータイフ ² : 立義 <u>2</u> :	リントサーバ名入力後、Enter 15 (パ) 2000 (NetWareサーバ名: FILESERVER1, 接続ID: 6) 7*リントサービネクイックセットアップ CP800002 P1 ・: 01 7*スト ハ*ラレル 手動ロード	- 11 -
プ ¹ ツントランソール 4. ユーサ* ADMIN ア ¹ ツントサール*: 新ししいア ¹ ツントキュ 新ししいア ¹ ツントキュ パ ² ナータイフ*: フ ¹ ツントタイフ*: 割込み: 赤 ⁺ ト:	 リントサーバ名入力後、Enter (/k) 2000- (/ketWareサ-/h*名: FILESERVERI, 接続ID: 6) ア*リントサービスクイックセットアップ ア*リントサービスクト・ディントウントサービスクイックセットアップ ア*リントサービスクイックセットアップ ア*リントサービスクイックセッシントサービスクイックセッシンクション ア*リントサービスクイックセッシンクション ア*リントサービスクイックセッシンクション ア*リントサービスクイックセッシンクション ア*リントサービスクイックション ア*リントリントリントリントリントリントリントリントリントリントリントリントリントリ	• 11 -



3. NetWare環境でのソフトウェア設定

NetWareプソントコンソール 4.15 (7K) 2000 - 11 - 1 13:01 ユーザ ADMIN (NetWareサーバ名: FILESERVER1, 接続ID: 6) 5) 「新しいプリンタ名」の入力を開始します。 入力ボックスはプリンタ名の入力を開始すると自動的に表示されます。 ファリントサービッスクイックセットアップ 入力終了後、Enterキーを押下して確定します。 新しいプリンタ名: CP800002-0 ※プリンタ名はLANボードのマシン名(設定変数machine nameに設定されてい パッナータイプ*: 퀐 プリンタタイプ: 位置: 割込み: ポート: パラルル 手動ロード る文字列に「-0」を付加した文字列を入力してください。LANボードのマシン なし(ポーリングモード) LPT1 名は工場出荷時の状態(または、各種設定用メモリの初期化時の状態)では Ethernetアドレスの下6桁に「CP」を付加した文字列となっています。 (例)LANボードのEthernetアドレスが「080074800002」の場合、工場出荷時状態 作成するブリンタの名前を入力してください.必ず固有名にしてください (デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっていますので、 [新しいプリ F1=ヘルプの表示 Enter=選択 Esc=終 ンタ名]には図のように「CP800002-0」と入力してください。 プリンタ名入力後、Enterキー押下 NetWareブリントユンソール 4.15 (水) 2000 - 11 - 1 13:01 コーザ ADMIN (NetWareサーバ名: FILESERVER1, 接続ID: 6) 6) 「新しいプリントキュー] 欄へカーソルを移動します。 ファリントサービッスクイックセットアップ フ^{*}リントサーバ^{*}: CP800002 新ししいフ^{*}リンタ: CP800002-0 新ししいフ^{*}リントキュー: 01 パナータイプ*: 퀐 パラレル 手動ロード なし(ポーリングモード) LPT1 プリンクタイブ: 位置: 11日) 割込み: ポート: 作成するプリントキューには固有名を指定してください Enter=選択 F10=保存 F3=変更 Esc=終了 F1=ヘルプの表 プリントキュー名の入力開始

3. NetWare環境でのソフトウェア設定





9) 以上で、クイックセットアップによるプリンタの設定は終了です。

10) プリントサーバ (プリントサーバモードで運用を行うLANボード)を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順1)~8)を繰り返して行ってください。

※複数のファイルサーバで1台のプリントサーバ(プリントサーバモードで運用を 行うLANボード)を使用する場合、「利用可能な項目」メニューにて「NetWare サーバの変更」を選択し、「カレントサーバ」メニューから該当のNetWareサー バを選択した後、これまでの手順 <u>1</u>~9) を行ってください。

(注)以上の手順でNetWareサーバへの設定は終了です。引き続きLANボードの設定を行ってください。LANボードの設定にて『「NetWareモード」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定、「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1~fserver4のいずれか)へこれまで設定を行ったNetWareファイルサーバ名を設定』した後、LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの「リセットSW」を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待ちますと、LANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。ファイルサーバの「コンソールモニタ」の「接続情報」、またはクライアントパソコンから「NLIST USER /A /B」「NLIST USER={LANボードマシン名} /A /B」コマンド等を実行すると、LANボードのマシン名がプリントサーバとしてログインしていることを確認できます。

③クイックセットアップを使用しない場合の設定方法。

1) プリントサーバ情報を設定します。

定を続行します。

「利用可能な項目」メニューから「プリントサーバ」を選択します。 i)





iv) 「プリントサーバ」メニューから iii) で作成したプリントサーバを選択して Enterキーを押下します。



NetWareプリントコンソール 4.15 (水 2000 - 11 - 1 13:01 ヱーザADMIN (NetWareサーバ名: FILESERVER1, 接続ID: 6)

v) 「プリントサーバ情報」メニューから [プリンタ] を選択します。









NetWareプリンゴンリーは 4.15 (水) 2000 - 11 - 1 13:01 ユーザ ADMIN (NetWareサーバ:名: FILESERVER1, 接続ID: 6) 定義 NetWareサーバギフプリン 利用可能なプリントキュー 優先順位 ステータス PRINTQ 0 CPS 新しいプリントキュー名: PRINTQ_1 作成するプリントキューの名前を入力してください Enter=選択 Eso=終了 F1=ヘルプの表示 Enterキー押下にて入力確定 NetWareプリントコンソール 4.15 (7校) 2000 - 11 - 1 13:01 2-ザ ADMIN (NetWareサーバ 名: FILESERVER1, 接続ID: 6) 定義 NetWareサーバギアプリ 優先順位 ステータス 利用可能なプリントキュー PRINTQ_0 PRINTQ_1 このプリンタのプリントキューリスNに追加するプリントキューを選択します.新しいi+ューを作成するには くInser+ンを押してください Enter=選択 F10=選択 F5=?ーク Ins=挿入 Esc=終了 F1=^\Jプの表 F1=ヘルプの表示 プリントキュー選択後、Enterキー押下

xii) [新しいプリントキュー名] を入力します。

xiii)<u>xii)</u>で追加したプリントキューを選択してEnterキーを押下します。

※プリントキューを複数割り当てることもできます。

(7)0 2000 - 11 - 1 13:01

xiv)必要に応じてプリントキューの優先順位を変更します。

Escapeキーを複数回押下します。

xv) プリントサーバ情報の設定は終了しました。

Escapeキーを複数回押下してPCONSOLEを終了します。

定義	NetTare7~//*¥7*921	‡ a∽	優先順位	72-97
ICP8	FILESERVER1¥PRIN	TQ_1		
「日本」 「日本」 「「「「「」」 「「「「「」」」 「「「「「」」」 「「「「」」」 「「「」」」 「「」」 「」」」 「」」 「」」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 」 「」」 」 「」」」 「」」 」 」 」 」 「」」 「」」 「」」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」	する優先順位を指定する 定済み、または [AC] 市 訳 Ins=挿入 Del=前	ー「NEBADARA AND AND AND AND AND AND AND AND AND AN	С. ([А] J79 -	NANANANANANANANANANANANANANANANANANANA
	Escape=	キーを複数回押	不	
VetWare	Escape=		(70) 2000 - 接待(10): 6)	11 - 1 13:01
VetWare	Escape= גייטאבעא-וו. א. וז ב-שי אמאווא (אפ+ש דיטאראי-איי	キーを複数回押 areサーN*名: FILESERVER1.	下 (70 2000 - 接続ID: 6)	- 11 - 1 13:01
VetWare	Escape= 2-9° ADMIN (NetW 2-9° ADMIN (NetW 7°92)-5-8° 2-9° ADMIN (NetW 2-9° ADMIN (NETW) 2-9° AD	キーを複数回押 areサーバ 名: FILESERVER1, ####################################	下 (水 2000 - 接続ID: 6)	- 11 - 1 13:01
	Escape=		下 (水 2000 - 接続ID: 6)	

NetWareプリントコンソール 4.15

Escapeキーを複数回押下し、 PCONSOLE.EXEを終了

プリントサーバ(プリントサーバモードで運用を行うLANボード)を複数インスト ールする場合は、続けてこれまでの手順<u>ii)~xiv</u>)を繰り返して行ってください。 ※複数のファイルサーバで1台のプリントサーバ(プリントサーバモードで運用を 行うLANボード)を使用する場合、「利用可能な項目」メニューにて「NetWare サーバの変更」を選択し、「カレントサーバ」メニューから該当のNetWareサー バを選択した後、これまでの手順 i)~xiv) を行ってください。

(注)以上の手順でNetWareサーバへの設定は終了です。引き続きLANボードの設定を行ってください。LANボードの設定にて『「NetWareモード」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定、「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1~fserver4のいずれか)へこれまで設定を行ったNetWareファイルサーバ名を設定』した後、LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの「リセットSW]を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待ちますと、LANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。ファイルサーバの「コンソールモニタ」の「接続情報」、またはクライアントパソコンから「NLIST USER /A /B」「NLIST USER={LANボードマシン名} /A /B」コマンド等を実行すると、LANボードのマシン名がプリントサーバとしてしてログインしていることを確認できます。

④ 注意事項。

- 1) プリンタの印刷動作をより詳細に設定するために、NetWareには PRINTDEF, PRINTCON, CAPTURE 等のコマンドが用意されていま す。内容については、NetWareのマニュアルをご参考ください。
- 2) これまでの操作例は「NetWare 4.11J」の画面表示を元に説明しています。「NetWare 4.xJ」は、ほとんど同じ操作でお使いいただけ ます。「<u>NetWare 3.2J</u>」以前のバージョンでは、PCONSOLE、プリントサーバコンソール等の画面表示が変更されていますが、設定 の手順は概ね同様です。また、「<u>NetWare 5.xJ</u>」では使用するNetWareユーティリティが異なり、設定の手順も変更になっていますが、 基本的な考え方は概ね同様です。「<u>NetWare 3.xJ</u>」「<u>NetWare 5.xJ</u>」のバージョンについては次ページ以降を参照してください。

3) 詳しくはシステム管理者にお尋ねください。

〔3.3.3. NetWare 3.xJ のプリントサーバモードの設定〕

⑤ファイルサーバのコンソール画面で、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

《注意》ファイルサーバを次回起動時にも設定する必要がありますので、autoexec.ncfファイルにも設定してください。

設定方法は、「<u>3.3.1.「未暗号化パスワード使用許可の設定</u>」を参照してください。

⑥ PCONSOLEを実行します。

⑦プリントサーバ情報を設定します。

5 [プリントサーバ情 -ルを行うLANボード 転を行います。(①) ントサーバ名」の入力 Nボードのマシン名(設 小る文字列)を入力し D状態では<u>Ethernetア</u> 5のとなっています

i) まず「利用可能な項目」メニューから「プリントサーバ情報]を選択します(②)。

プリントサーバはこれからインストールを行うLANボード そのものを意味しますので、新規に作成を行います。())

【Insert】キーを押下し「新しいプリントサーバ名」の入力 を行います。プリントサーバ名はLANボードのマシン名(設 定変数machine_nameに設定されている文字列)を入力し てください。

LANボードのマシン名は工場出荷時の状態では<u>Ethernetア</u> ドレスの下6桁に「CP」を付加したものとなっています (()。

ii) 新規に作成したプリントサーバに対してプリントサーバ

情報の設定を行います。「プリントサーバ」メニューから 新規に作成したプリントサーバ(())。を選択してEnterキ ーを押下します。

iii)「プリントサーバ情報」メニューから「プリントサーバ構成」を選択します(



iv)「プリントサーバ構成メニュー」から、「プリンタの構成] を選択します(①)。

「構成完了プリンタ」メニューから、未インストール ([1/1/-1/されていません]と表示されているところ)の プリンタ番号を選択します(の)。



v) プリンタ名はLANボードのマシン名(設定変数 machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加し たものを入力してください。LANボードのマシン名は工場 出荷時の状態ではEthernetアドレス下6桁に「CP」を付加し たものとなっています。また、プリンタのタイプは 「リモートパ・ラルル,LPTn」としてください。(①)

NetWareプリントコンノ	ールユーティリティ J-V1.41 (火) 20)00-1	0-31 20:01
ב-	ザ : SUPERVISOR ファイルサーパ : DELLGX5133	接続	数: 1
構成 CP800001-0 1)ストールされてし 1)ストールされてし 1)ストールされてし 1)ストールされてし 1)ストールされてし 1)ストールされてし 1)ストールされてし 1)ストールされてし 1)ストールされてし 1)ストールされてし 1)ストールされてし 1)ストールされてし	プリンタ 0 の構成 名前: CP80000-2 タイプ: リモートト プラルル, LPT1 社別『聴説』子: IRQ: 7 バッファサイズ (Kバイト): 3 開始用紙: 0 キューサービスモード: 必要に応じた用紙の変更可	- (b)	バ 情報 着成だュー ファイルサーバ れているキュー

⑧ プリントキュー情報を設定します。

- vi)「利用可能な項目」メニューに戻り [プリントキュー情報] を 選択します(())。
- vii)プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します(())。

【**Insert**】 キーを押下し「新しいプリントキュー名」の入力 を行います。





新規に作成されたプリントキューにキューサーバを設定す べく、作成したプリンタキューを選択し() Enterキーを 押下して表示される「プリントキュー情報」メニューから [キューサーバ]を選択します())。

キューサーバとして ⓒ で追加してプリントサーバを設定してください(⑩)。

【Insert】 キーを押下し表示されたプリントサーバー覧から © で追加したプリントサーバを選択しEnterキーを押下す ることにより設定します。



(注)以上の手順でNetWareサーバへの設定は終了です。引き続きLANボードの設定を行ってください。LANボードの設定にて『「NetWareモ ード」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定、「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1~fserver4のいずれか)へこれまで設定を行っ たNetWareファイルサーバ名を設定』した後、LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの「リセット SW]を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待ちますと、LANボードのマシン名(設定変数machine_name に設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。ファイルサーバの「コンソールモニタ」の「接続情 報」、またはクライアントパソコンから「USERLIST」コマンド等を実行すると、LANボードのマシン名がプリントサーバとしてしてログ インしていることを確認できます。
(3.3.4. NetWare 5.xJ のプリントサーバモード設定)

⑨ NetWareアドミニストレータを実行します。

1) 「SYS:¥PUBLIC¥WIN32¥NWADMIN32.EXE」を実行します。

🙀 NetWare7トミニストレータ - [[Root] (CASIO)] 🛛 📃 🗵
💼 わシシュント◎ 表示♡ わション(Ⴒ) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) 📃 🛃 🗵
(Root)
L 🖪 Security

2) コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバ/プリントサーバのコ ンテキストを表示させます。



10 クイックセットアップによる設定。

1) プリントキューを作成するコンテナオブジェクトを選択(シングルクリ ック)し、 [ツール] メニューから [プリントサービスクイックセットア ップ(非NDPS)] を選択してクイックセットアップを起動します。



2) [プリントサーバ名] を入力します。

※プリントサーバ名はLANボードのマシン名(設定変数machine_name に設定されている文字列)を入力してください。 LANボードのマシン名は工場出荷時の状態(または、各種設定用メモリの初期化時の状態)ではEthernetアドレスの下6桁に「CP」を付加し

た文字列となっています。

フリントサービスのクイックセットアッフ*(非NDPS) x フリントサーバ名(P): PRINTSERVER1 ĽĘ: 作成(C) -7%)/2-キャンセル 名前(N): P1 ∧μフ°(<u>H</u>) 通信(C).. タイフ°(T): パラレル -ハナータイプ(B): テキスト -フリントキュー 名前(A): Q1 FILESERVER1 SYS <u>تە:</u> ホリューム(い):

(例)LANボードのEthemetアドレスが「080074800002」の場合、工場 出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっています ので、プリントサーバ名は図のように「CP800002」と入力してくだ さい。

- 3) 「**プリンタ**」の[名前]を入力します。
 - ※プリンタ名はLANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定 されている文字列)に「-0」を付加した文字列を入力してください。LAN ボードのマシン名は工場出荷時の状態(または、各種設定用メモリの初 期化時の状態)ではEthernetアドレスの下6桁に「CP」を付加した文 字列となっています。
 - (例)LANボードのEthemetアドレス「080074800002」の場合、工場出 荷時状態(デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっています ので、新しいプリンタ名には図のように「CP800002-0」と入力し てください。

フリントサービスのクイォ	ウセットアッフ*(非NDPS)			X
フリントサーバ名(P): - フリンター	[CP800002	k.	<u> </u>	作成(<u>C</u>) キャンセル
_ \$17°(<u>T</u>): እ°ታ-\$17°(<u>B</u>):	, パラレル <u>・</u> テキスト <u>・</u>	通信(<u>C</u>)		<u>^/レフ°(H</u>)
- フツントキュー 名前(<u>A</u>): ホリューム(<u>V</u>):	Q1 FILESERVER1_SYS		ĔĦ:	



- 4) 「プリントキュー」の [名前] を入力します。
 - ※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既 存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作 成します。

フリントサービスのりイァ	クセットアッフ*(非NDPS)			×
プリントサーバ名(<u>P</u>):	CP800002		Ĕ:	
7%2%				キャンセル
名前(<u>N</u>):	CP800002-0			
\$17°(፲)፡	N°5₩ 💌	通信(<u>C</u>)		
ハ [*] ナータイフ [*] (<u>B</u>):	7+71			
-7%ントキュー				
名前(<u>A</u>):	PRINTQ_1			
₩Jューム(<u>V</u>):	FILESERVER1_SYS	Ĭ		

5) 必要に応じて「プリントキュー」の [ボリューム] の設定を変更します。

その他の設定は、変更しないでください。各設定内容を確認後【作成】 をクリックして設定を保存することにより、クイックセットアップを終 了します。



7) 以上で、クイックセットアップによるプリンタの設定は終了です。

※プリントサーバモードで運用を行うネットワークプリンタ(LANボード) を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順 1) ~5) を繰り 返して行ってください。 (注)以上の手順でNetWareサーバへの設定は終了です。引き続きLANボードの設定を行ってください。LANボードの設定にて『「NetWareモ ード」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定、「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1~fserver4のいずれか)へこれまで設定を行っ たNetWareファイルサーバ名を設定』した後、LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの「リセット SW]を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待ちますと、LANボードのマシン名(設定変数machine_name に設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。ファイルサーバの「コンソールモニタ」の「接続情 報」、またはクライアントパソコンから「NLIST USER /A /B」「NLIST USER={LANボードマシン名} /A /B」コマンド等を実行すると、 LANボードのマシン名がプリントサーバとしてしてログインしていることを確認できます。

①注意事項。

1) プリンタの印刷動作をより詳細に設定するために、NetWareには PRINTDEF, PRINTCON, CAPTURE 等のコマンドが用意されてい ます。内容については、NetWareのマニュアルをご参考ください。

2) 詳しくはシステム管理者にお尋ねください。

3.4. IPX版設定ユーティリティによる設定

IPX版設定ユーティリティを使用しますと、NetWare環境においてLANボードの設定変数設定を行うことができます。 設定可能項目は NetWare環境にて使用する項目に限定されているわけではありません。 <u>IP環境にて使用する設定項目</u>に関してもIPX版設定ユーティリティを用 いて設定することが可能です。 各設定は管理者でなければ出来ません。

IPX版設定ユーティリティの詳細については、「<u>4.2. NetWare環境での設定</u>」を参照してください。

また、設定可能項目については、「<u>5.2. LANボードの設定変数一覧</u>」も参照してください。

変数グループ	設定項目	設定内容または推奨値など	デフォルト
	admin_passwd	LANボード設定管理者用パスワード	未設定
common	machine_name	LANボードのマシン名(SNMP, NetWareにて使用)。デフォルト値での使用を推奨。	CPxxxxxx
	comment	コメント	未設定
	link_mode	通信速度決定方法の設定。auto,100m/full,100m/half,10m/full,10m/half より選択 <u>※1</u>	auto
		・現在TELNETで正常に通信が行えていますので、このままお使いになることを推奨します。	
tcpip	ip_config	IPアドレス決定方法。memory,rarp,bootp,dhcpより選択 <u>※1</u>	memory
	ip_address	IPアドレス設定値。 (ip_config/memoryの時に有効) <u>※1</u>	0.0.0.0
	netmask	サブネットマスク 🛛 🕺	0.0.0.0
	gateway	ゲートウェイアドレス <u>*1</u> <u>*2</u>	0.0.0.0
	ftp_passwd	passwordを要求するFTPクライアントの場合に設定	off
	tcp_keep_alive	TCP・キープ・アライブ・パケットの送信間隔。(0~79秒)	30
	print_reset	プリンタ制御ソフトウェアリセット機能の設定。(enable:使用する、disable:使用しない) ※	enable
snmp	snmp_mode	SNMPの動作モードを設定。(enable:使用する、disable:使用しない)	enable
	snmp_name	SNMPのコミュニティ名を設定	public
	snmp_host	Trapパケットを送信するホストのIPアドレスを設定。	0.0.0.0
nw_param	nw_mode	<u>リモートプリンタモード</u> では [rprinter]、プリントサーバモードでは [pserver]、未使用は	rprinter
		[disable] を設定。	
	nw_packet	AUTO,IEEE802.2,IEEE802.3,ETHERNET IIのどれかを選択	auto
		入力はそれぞれ [auto] [ieee802_2] [ieee802_3] [ethernet_ii] としてください。	
	nw_spx_abort	SPX監視停止タイムアウト時間。(30 ~ 300 秒)	30

変数グループ	設定項目	設定内容または推奨値など	デフォルト
	nw_spx_listen	SPX監視検査タイムアウト時間。(1 \sim 180 秒)	6
	nw_spx_verify	SPX確認待機タイムアウト時間。(1 \sim 15 秒)	3
	pserver	リモートプリンタモードでは、必ずプリントサーバ名を入力。	未設定
	timeout	リモートプリンタモードで印刷終了後、他プロトコルによる印刷を開始するまでのタイムアウト時	10
		間。(この間にリモートプリンタモードの印刷が投入されると優先して印刷します。)(1~255秒)	
	fserver1	プリントサーバモードではファイルサーバは最大4台まで設定が可能です。	未設定
	fserver2	(fserver1~fserver4 のうち必ず1つ以上にファイルサーバ名を入力してください)。	未設定
	fserver3	なお、同じファイルサーバ名を入力しないでください。	未設定
	fserver4		未設定
	polltime	プリントサーバモードにて、印刷キューへ印刷データの有無を問い合わせる間隔。(1 ~ 255 秒)	15
	nw_passwd	プリントサーバモードで、LANボードがプリントサーバとしてファイルサーバへログインする際に使	未設定
		用するパスワード。	
	nw_ncp_timeout	NCPタイムアウト監視時間。(1 ~ 255 秒)	3
	nw_ncp_retry	NCPパケット再送信回数。(1 ~ 255 回)	20

※1)操作パネルでも設定可能です。後から設定した値が保存されます。

※2)ip_configがbootp/dhcpの場合、本設定が0.0.0の場合のみBOOTPサーバDHCPサーバより通知される設定を使用します。

※3)使用可能な環境に制限があります。詳しくは「<u>5.2. LANボードの設定変数一覧</u>」を参照してください。

4. LANボードの設定

LANボードの設定は<u>IP環境</u>および<u>NetWare(IPX)環境</u>それぞれにて行うことができます。 設定可能項目は各環境にて使用する項目に限定されているわけではありません。 他の環境にて使用する設定項目に関しても各環境にて設定することが可能です。

IP環境では、お使いのオペレーティングシステムにインストールされているソフトウェアのTELNET(「<u>4.1.1.TELNETによる設定</u>」を参照) またはWebブラウザ(「<u>4.1.2.WWWブラウザによる設定</u>」を参照)を使用してLANボードの設定変数設定を行うことができます。

NetWare環境では、LANボード付属CDに収納されておりますIPX版設定ユーティリティ(「<u>4.2. NetWare環境での設定</u>」を参照)を使用して LANボードの設定変数設定を行うことができます。

なお、各設定は管理者でなければ出来ません。

また、設定可能項目については、「<u>5.2. LANボードの設定変数一覧</u>」も参照してください。

4.1.IP環境での設定

IP(Internet Protocol)環境においては、TCP/IPを使用する以下のプロトコルにてLANボードの設定を行うことができます。

プロトコル名	機	肖 旨	概	要		
<u>TELNET</u>	LANボードの ボードの動作 TELNETはF	の内部設定 乍状態を表 RFC854、	Eの参照・ 表示するで RFC855	変更に使 こともでき に準拠し	用します。これによりLANボードの設定変数の設定が行えます。 きます。 ます。実装はBSD系に準拠します。	また、LAN
<u>HTTP</u>	LANボードの ボードの基本 WWW(Worl	の内部設成 本動作状態 d Wide W	Eの参照・ 影やプリン (eb)ブラ	変更に使 ソタの状態 ウザが必要	用します。これによりLANボードの設定変数の設定が行えます。 態を表示することもできます。 要です。	また、LAN

(4.1.1.TELNETによる設定)

TELNETを使用することにより、LANボードの内部設定の参照・変更を行うことができます。 また、LANボードの動作状態を表示することもできます。

なお、TELNETは、お使いのオペレーティングシステムにインストールされているソフトウェアを使用されることを前提としており、LAN ボードの付属ユーティリティとして提供するものではありません。

TELNETは、お使いのオペレーティングシステムやソフトウェアによって異なります。 ここでは通常オペレーティングシステムに付属しているTELNETクライアントソフトウェアを例に説明します。

4.1.1.1. 起動および接続方法

TELNETクライアントソフトウェアを起動してLANボードへ接続し、ユーザ名/パスワードを入力してログインを完了します。ログインが完了すると、入力したユーザ名を元にしたプロンプトが表示されます。

C:¥>**telnet 130.10.90.196** CASIO CP-NW200T Ver.NCOT 2.01 USER: **cpadmin** Password:

cpadmin>

※斜体部分を入力します。

- ・「USER:」と表示されるのでユーザ名を入力します。
- ・ユーザ名は管理者以外は特に定められてはいません。管理者のユーザ名は「*cpadmin*」です。
- ・管理者は更にパスワードを要求されますので設定されているパスワードを入力してください。(初期状態は未設定)
- ・管理者以外は以下のコマンドが使えません。

<u>·set</u> <u>reset</u>

管理者のパスワードが不一致の場合、「Login incorrect」と表示されますので、再度ユーザ名入力からやり直してください。

C:¥>**telnet 130.10.90.196** CASIO CP-NW200T Ver.NCOT 2.01 USER: **cpadmin** Password: Login incorrect

USER:

既に他の管理者がLANボードへ接続している場合、「Login incorrect. Already used by another administrator.」と 表示されますので、管理者以外のユーザ名を再度入力してください。

C:¥>**telnet 130.10.90.196** CASIO CP-NW200T Ver.NCOT 2.01 USER: **cpadmin** Password: Login incorrect. Already used by another administrator.

USER:

LANボードへ接続した状態で約5分間無操作状態が続きますと、LANボードはTELNET接続を強制切断します。 強制切断後は接続操作を始めからやり直してください。

C:¥>**telnet 130.10.90.196** CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01 USER: **cpadmin** Password: cpadmin> cpadmin> Idle time limit reached.

ホストとの接続が切断されました。

C:¥>

4.1.1.2. 使用可能コマンド

TELNETにて使用可能なコマンドを説明します。コマンドはプロンプト表示状態(「入力したユーザ名」+">")で入力してください。 cpadmin>**help**

① help コマンド

TELNETにて使用可能なコマンドー覧、各コマンドの入力ガイダンス、および各設定変数へ設定する値のガイダンスを表示します。

・コマンドー覧表示の例。

cpadmin> help			
set <parameter=value></parameter=value>	set parameter		
show [parameter/section/all]	show parameter		
stat	display status		
quit	quit without saving		
exit	save and exit		
reset	save and reset		
help [command]	display help		
cpadmin>			
※ここで表示されたコマンドによって		キャマの設定を変更することができます	制品では初期店

※ここで表示されたコマンドによって、LANホートの設定内容を得、またその設定を変更9ることかできま9。 衆品では<u>秋期</u>に が設定されておりますが、 <u>ip_address, netmask, gateway</u> などはご使用になるIP環境にあわせて変更してください。

・各コマンドの入力ガイダンスの例

cpadmin> help show Display parameter usage:show [parameter/section/all]			
Command	display what		
show [network]	Basic parameters		
show all	All parameters		
show tcpip	TCP/IP communication parameters		
show common	Common parameters		
show snmp	SNMP parameters		
show nw param	NetWare communication parameters		
show port	Printing parameters		
cpadmin>			

・各設定変数へ設定する値のガイダンスの例

cpadmin>help ip_config
ip config = memory/dhcp/bootp/rarp

cpadmin>**help link_mode**

link_mode = auto / 100M/Full / 100M/Half / 10M/Full / 10M/Half

cpadmin>

② show コマンド

指定した変数名、グループ名、または設定可能な変数すべての設定状態を表示します。

・変数名指定の例。

cpadmin> show ip_address	
ip_address	: 130.10.90.186
cpadmin>	

フルーフ名指定の例。	※「show」のみを入力した場合、「show network」と入力した場合と同じ表示となります
cpadmin> show ne	etwork
machine_name	: CP800001
comment	:
link_mode	: auto
ip_config	: memory
ip_address	: 130.10.90.186
netmask	: 255.255.0.0
gateway	: 130.10.1.1
print_reset	: enable
nw_mode	: rprinter
cpadmin>	

・設定可能な変数すべて(all)指定の例。

cpadmin> show all			
machine name	: CP800001	fserver1	:
comment	:	fserver2	:
link_mode	: auto	fserver3	:
ip_config	: memory	fserver4	:
ip_address	: 130.10.90.186	polltime	:15
netmask	: 255.255.0.0	nw_passwd	:
gateway	: 130.10.1.1	nw_ncp_timeout	: 3
ftp_passwd	: off	nw_ncp_retry	: 20
tcp_keep_alive	: 30	banner0	: off
print_reset	: enable	bojstring0	:
snmp_mode	: enable	eojstring0	:
snmp_name	: public	banner1	: off
snmp_host	: 130.10.1.10	bojstring1	:
nw_mode	: rprinter	eojstring1	:
nw_packet	: auto	printertypel	: PR201
pserver	:	tabsizel	: 8
timeout	: 10	banner2	: off
nw_spx_abort	: 30	bojstring2	:
nw_spx_listen	: 6	eojstring2	:
nw_spx_verify	: 3	printertype2	: PR201
		tabsize2	: 8
		cpadmin>	

※管理者用のパスワード設定変数「 admin passwd 」は一覧表示されません。

③ set コマンド

指定した変数名に数値または文字列を設定します。

※setコマンドは管理者専用コマンドです。

cpadmin> set com	ment=CASIO-Color-PagePrinter_2nd-floor_north-east-coner
comment	: comment=CASIO-Color-PagePrinter_2nd-floor_north-east-coner
cpacmin>set lin	K_mode=100m/full
link mode	: 100M/Full
_	
cpadmin> set ip_	address=130.10.90.186
ip address	: 130.10.90.186
_	
cpadmin>	

※設定した数値または文字列は、後述「<u>exitコマンド</u>」「<u>resetコマンド</u>」にて設定値の保存を行った後、LANボードの[<u>リセッ</u> <u>トSW</u>]を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」して次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。 また、設定値の保存を行わない場合は、後述「<u>guitコマンド</u>」にてTELNET接続を終了してください。

特記事項: setコマンドを使用しますと、管理者用のパスワードを設定することができます。 パスワードは 英大文字/英小文字 / 数字 が設定可能です。 なお、英大文字と英小文字は区別されますのでご注意ください。

cpadmin> set admin_p	passwd=CASIO
admin_passwd	: CASIO
padmin>	

設定されている管理者用のパスワードを未設定状態にする場合は、「=」の後に何も入力せずにEnterキーを押下して送信してください。

:

admin_passwd

cpadmin>

④ stat コマンド

LANボードの状態を表示します。

・基本情報表示の例。

cpadmin> sta	t						
CASIO CP-NW2	200T Ve	er.	NCOT 2.01				
Ethernet add	dress	:	08:00:74:80:00):01	-		
Link status		:	100Base/Full I	Dupl	_e	x (Auto)	
TCP/IP state	us	:	IP address		:	130.10.90.186	
			IP config		:	Memory	
			Netmask		:	255.255.0.0	
			gateway		:	130.10.1.1	
IPX packet	type	:	IEEE802.2(Auto)			
Netware Sta	LUS	:	Mode		:	rprinter	
			print server		:	PRINTSERVER1	
Printer stat	tus	:	Port status		:	Printer ready	
			Model name		:	N5300	
			Version No.		:	GVUK 1./3/K4	
			Paper Ieeder		:	MPF:A4	
						CPF1:A4	
						CDE3·A3	
						CPE/ · Lottor	
						CPF5.B5	
						CPF6·AA	
cpadmin>						Dupter unit	
-1- 0.01							

・印刷ジョブ情報表示の例。

cpadmin	>stat qu	ieue			
Rank	Job	Owner		User-ID	
1st	100	130.10.90.100		PowerUser	
2nd	101	130.10.90.101		Administrator	
3rd	102	130.10.91.52		guest	
4th	103	130.10.92.143		casiotaro	
5th	104	130.10.90.104		PrintUser	
		PRINTSERVER1	₩1		
cpadmin	>				

※1:NetWareによる印刷の場合、送信元のプリントサーバ名またはファイルサーバ名が表示されます。

X2

・接続中ホスト情報表示の例。

cpadmin> stat host			
130.10.90.100	:	ftp	
130.10.90.101	:	http	※ 1
130.10.92.143	:	telnet	
130.10.90.104	:	ftp	
		NetWare	e console

cpadmin>

※1:「http」はWWWブラウザにて設定変更を行っている場合に表示されます。

※2:「NetWare console」はIPX版設定ユーティリティにて接続中に表示されます。

⑤ quit コマンド

TELNETを終了し接続を切断します。 <u>setコマンド</u>にて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存は行わずに破棄 した後にTELNETを終了します。 cpadmin>**quit**

ホストとの接続が切断されました。

C:¥>

⑥ exit コマンド

TELNETを終了し接続を切断します。 <u>setコマンド</u>にて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存を行った後に TELNETを終了し、接続を切断します。

※保存した設定値は、次回LANボードが正常に起動に起動した後に有効になります。 LANボードの [<u>リセットSW</u>]を押下するか、 プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

|--|

ホストとの接続が切断されました。

C:¥>

※設定値の保存を行わない場合は、前述「guitコマンド」にてTELNET接続を終了してください。

⑦ reset コマンド

TELNETを終了し接続を切断した後、LANボードをリセットします。 <u>setコマンド</u>にて変数へ数値または文字列を設定した場合は、 設定値の保存を行った後にTELNETを終了し、接続切断→リセットを行います。

※resetコマンドは、管理者専用コマンドです。

cpadmin>**reset**

ホストとの接続が切断されました。

C:¥>

(4.1.2.WWWブラウザによる設定)

WWW(World Wide Web)ブラウザを使用することにより、HTTPによりLANボードとの通信を行い、LANボードの内部設定の参照・変更を行うことができます。 また、LANボードの動作状態を表示することもできます。

なお、WWWブラウザは、お使いのオペレーティングシステムにインストールされているソフトウェアを使用されることを前提としており、 LANボードの付属ユーティリティとして提供するものではありません。

WWWブラウザは、お使いのオペレーティングシステムやソフトウェアによって異なります。 以下に記載したソフトウェアをお使いください。(表記あるいはそれ以上のバージョンをお使いください。)

- Netscape Communicater 4.7
- Netscape 6
- Internet Explorer 5

ここでは MS-Windows 2000 にインストールした Internet Explorer Version 5 を例に説明します。

4.1.2.1. 接続方法

WWWブラウザソフトウェアを起動してアドレス欄へURLとしてLANボードのIPアドレスを入力します。

URLは「http://xxx.xxx.xxx」(xxx.xxx.xxxはLANボ ードのIPアドレス) と入力します。

🗯 about:blank	- Microsof	t Internet	Explorer								
ファイル(<u>E</u>)	編集(E)	表示⊙	お気に入り(<u>A</u>)	ツール①	ヘルプ(田)						
↓ 戻る ・	→ 進む	- ⑧ 中止	 更新	ි 	② 検索		③ 履歴	■ メール	ED制		
アドレス(🕘) 櫌	http://13	0.10.90.186	3							▼ @穆	動] リンク

4.1.2.2. 操作概要

WWWブラウザによるLANボードの内部設定の参照・変更操作の概要を説明します。を行うことができます。 また、LANボードの動 作状態を表示することもできます。

- ① 内部設定の参照、およびLANボード動作状態の表示。
 - URLを入力してLANボードへ接続し、始めに表示されるWebページで確認することができます。
 - ※LANボードの動作状態は自動更新されません。必要に 応じてWWWブラウザの「更新」ボタンをクリックし てリロードしてください。

CASIO <u>をクリックしますと、カシオ計算機(株)</u>のホームページへ接続できます。

 をクリックしますと、カシオページ

 プリンタウェブサイトへ接続できます。カシオページプ
 リンタに関する最新情報が掲載されておりますので、ご
 覧ください。

ASIO PAGEPRINTER We zイル(E)	b Monitor - Microsoft モムム お気に入れ(A)	Internet Explo	rer ∧ u.⊐?(⊔)					
「「小」」 補未に 衣				िन	SA	民.	<i>—</i>	
に、「「」」で、「」	中止更新	ゴーム	検索	お気に入り	履歴	ビュ・	印刷	
レス(D) 🛃 http://130.10).90.186							▼ 🤗移動
ASIO				- 5				
	P Ethornot Room		ООТ	V.	- NOOT (0.01		
Port sta	tus : Printer Beady		001	Ether	met addres	s: 08:00:3	74:80:00:01	
Model na Version	me : N5 No • EPOV1 75/V4	, (==, ,		Link	status Pototuo	: 10Base,	/Half Duple	x (Auto)
Paper fe	eder: MPF:A3	2			r status	IP add	ress : 130	.10.90.186
	CPF1:A4 CPF2:B4		160	3		Netmask Gateway	k :255 y :130	.255.0.0
	CPF3:A3 CPF4:Letter		N	IPX p NetWa	acket type re status	e : Discoro : Mode	ded (Auto) : Dis	able (roriot
リンタの情報	CPF5:B5	LAI	Nボードの	语辛悦		Print	server:	
	Duplex-unit							
J		I		I				
		_	_	_				
top/IP	NetWare PRINTE	R		T				
top/IP	NetWare PRINTER	R		更 更				
き 通 TCP/IP 設定表示項目の分類	NetWare PRINTE	R 設定項目		E E E B B B B B B B B B B B B B B B B B	役定内容			
 ・通 TCP/IP ・設定表示項目の分類 ++通数定項目 	NetWare PRINTE	R g定項目		変更 CP800	_{货定内容}			
 ・通 TCP/IP ・設定表示項目の分類 共通設定項目 	NetWare PRINTER PRINTER ジン名 コメント 通信速度決定方法	R 役定項目		CP800	^{役定内容}			
 ・通 TCP/IP ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・<td>NetWare PRINTED マシン名 コメント 通信速度決定方法 IPアドレス決定方法</td><td>R 没定項目</td><td></td><td>CP800 auto memor</td><td>^货定内容 001 y</td><td></td><td></td><td></td>	NetWare PRINTED マシン名 コメント 通信速度決定方法 IPアドレス決定方法	R 没定項目		CP800 auto memor	^货 定内容 001 y			
 ・通 TCP/IP ・ ・ ・ ・ ・ ・	NetWare PRINTE マシン名 コメント 通信速度決定方法 IPアドレス決定方法 IPアドレス(設定用	R 没定項目 : : : : : : : : : : : : :	① 3	EEE CP800 auto memor 130.10	^{役定内容} 001 y .90.186			
 通 TCP/IP 設定表示項目の分類 共通設定項目 	NetWare PRINTE マシン名 コメント 通信速度決定方法 IPアドレス決定方法 IPアドレス(設定用 ネットマスク	R 没定項目 ま は 大モリの設定((直)	EEE CP800 auto memor 130.10 255.25	^股 定内容 001 9 .90.186 5.0.0			
 法通 TCP/IP 日 設定表示項目の分類 共通設定項目 TCP/IP設定項目 	NetWare PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE マシン名 コメント 通信速度決定方法 IPアドレス決定方法 IPアドレス(設定用 ネットマスク グートウエイアドレフ	R 資定項目 ま は、 大 大 ス	(直)	CP800 CP800 auto 130.10 255.25 130.10	度定内容 001 90.186 5.0.0 .1.1			
 ・通 「TCP/IP ・ ・ ・	NetWare PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE	R 資定項目 ま は 大 し ス 	(直)	EEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEE	^{役定内容} 001 90.186 5.0.0 .1.1 ード使用=	off		
 ・通 TCP/IP の 設定表示項目の分類 	NetWare PRINTE PRINTE PRINTE PRINTE マシン名 コメント 通信速度決定方法 IPアドレス(設定用 ネットマスク ゲートウエイアドレン FTPパスワード Keep-Alive時間の	R 資定項目 : : : : : : : : : : : : :	(直)	変更 C P800 C P800 auto memor 130.10 255.25 130.10 バスワ 30秒	ģ定内容 001 .90.186 5.0.0 .1.1 →ド使用=	off		
 通 TCP/IP の 設定表示項目の分類 共通設定項目 TCP/IP設定項目 	NetWare PRINTE PRIN	R 数定項目 : : : : : : : : : : : : :	(值) 應 	また また。 また。 をP800 の はた。 です。 の の の の の の の の の の の の の	ģ定内容 001 .90.186 5.0.0 .1.1 →ド使用=			
 通 TCP/IP 設定表示項目の分類 共通設定項目 TCP/IP設定項目 	NetWare PRINTE PRINTE アシン名 コメント 通信速度決定方法 IPアドレス決定方法 IPアドレス(設定用 ネットマスク ゲートウエイアドレン FTPパスワード Keep - Alive時間に ブリンタ制御ンフトウ SNMP	R 設定項目 : : : : : : : : : : : : :	(值) 機能	また また また また で と や おの に の で や おの の で や おの の で い の で い の の の で い の の の の つ い の つ い の つ い の つ の の の の の の の の の の の の の	() () () () () () () () () ()			
 通 TCP/IP 設定表示項目の分類 共通設定項目 TCP/IP設定項目 SNMP設定項目 	NetWare PRINTE PRINTE アシン名 コペント 通信速度決定方法 IPアドレス決定方法 IPアドレス(設定用 ネットマスク ゲートウエイアドレン FTPパスワード Keep - Alive時間に ブリンタ制御ンフトロ SNMP コミュニティ名 エロヘアジケレーズ	R 数定項目 注 ま 以モリの設定(ス (0~79秒) ウェアリセット様 ((値) 機能	また また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 でする でする でする でする でする でする でする でする	ģ定内容 001 .90.186 5.0.0 .1.1 →ド使用=			
 通 TCP/IP 設定表示項目の分類 共通設定項目 TCP/IP設定項目 SNMP設定項目 	NetWare PRINTE PRIN	R 数定項目 注 ま 以モリの設定(ス 0~79秒) ウェアリセット根 信するホストの	(値)	また また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 ま	\$定内容 001 .90.186 5.0.0 .1.1 →ド使用= .1.10			
 通 TCP/IP 設定表示項目の分類 共通設定項目 TCP/IP設定項目 SNMP設定項目 etWare共通設定項目 	NetWare PRINTE PRI	R 設定項目 注 ま 以モリの設定(ス ()~79秒) ウェアリセット様 信するホストの	(値) 機能 DIPアドレ	また またの またの またの またの またの でする またの でする でする でする でする でする でする でする でする	ģ定内容 001 .90.186 5.0.0 .1.1 →ド使用= .1.10 r			
 通 TCP/IP 設定表示項目の分類 共通設定項目 TCP/IP設定項目 SNMP設定項目 etWare共通設定項目 	NetWare PRINTE PRI	R 数定項目 ま ま 以モリの設定(ス 〇~79秒) ウェアリセット根 (信するホストの	(値) 機能 りIPアドレ	Event Control Co	\$定内容 001 .90.186 5.0.0 .1.1 →ド使用= .1.10 r			
 通 TCP/IP 設定表示項目の分類 共通設定項目 TCP/IP設定項目 SNMP設定項目 tWare共通設定項目 	NetWare PRINTE PRI	R 数定項目 ま た 以モリの設定付 ス (の~79秒) ウェアリセット根 (信するホストの 1、2555秒)	(値) 機能 りIPアドレ	Even (1997) CP800 CP800 auto memor 130.10 255.25 130.10 バスワ 30秒 enable enable public 100.10 fyrinte auto 10.10	ģ定内容 001 .90.186 5.0.0 .1.1 →ド使用= .1.10 r			

ネットワーク パスワードの入力 ? X ② 設定変更の開始。 ユーザー名とパスワードを入力してください。 設定変更を開始する場合には 💽 変更 を 130.10.90.186 サイト クリックし、表示されるダイアログへ管理者ユーザ名「cpadmin」と設定さ 領域 Administrator れているパスワードを入力してください。 ユーザー名(U) cpadmin パスワード(P) **** このパスワードを保存する(S) ÖK キャンセル

③ 他の管理者が接続中の表示。

設定変更は複数の管理者が同時に行うことはできません。(誤設定防止のため)

既に他の管理者がLANボードへ接続している場合は、 設定変更は行えません。

「Retum」をクリックすると<u>1へ戻りますので、</u>確認 してからやり直してください。



④ 設定変更ページの操作。

設定変更ページを表示しますと、LANボードは管理者 権限の占有を行ます。管理者権限の解放を行う場合は、 「「覧に戻る」をクリックして管理者権限を解放してくだ さい。

設定内容欄は、各設定項目ごとに異なります。

- •設定値を入力する欄では、数値または文字列を入力してください。
- 設定候補を選択する欄では、表示される設定候補の中から選択してください。
- チェックボックス欄では、クリックしてON/OFFを切り かえてください。

設定項目の分類欄を右図のようにクリックしますと、 ヘルプページ(⑤参照)が別ウィンドウで表示されます。 ヘルプページには設定項目に関する情報をまとめてあり ますので、設定内容が解らない場合などに参照してくだ さい。

設定変更を行った後は、必ず最下行にある

<u>変更内容の送信</u> <u>ボタン</u>をクリックして、設定変更 内容の送信を行いLANボードへ保存してください。(<u>6</u> <u>参照</u>)

なお、設定変更ページの有効時間は約5分間となって います。設定変更に時間が掛かる場合は、途中で変更内 容の送信を行ってください。約5分間経過しますと LANボードは管理者権限を解放し、Webページによる設 定変更を受け付けなくなります。

	R Web Monitor		St. 11 (77)	 						-
71ル(止) 編集(止)	表示(<u>い</u>) お	気に入り(<u>A</u>) (A)	ッール① ~~~~	· ヘルフ(円)) Ga	<i>6</i> 24	▶.			
「「「「」」 道応	ਂ ਦੱ	更新	山口 ホーム	検索	お気に入り	履歴	メール	印刷		
ドレス(D) 🙋 http://1	30.10.90.186								▼ ∂稍	鋤]リ
					~	-00		11		
ASIU						-13				
ASIO PAGEPRI	NTER Ethe	rnet Boar	rd CP−N\	N200T	Ve	er.NCOT :	2.01			
Por Mod Ver	: status : Pr el name : N5 sion No. : FF	rinter Read; ; 90K1.75/K4	y(sleep)		Ether Link TCP/I	net addre: status Pistatus	ss: 08:00: : 10Base : IP con	74:80:00: /Half Dup fig : m	01 lex (Auto) emory)
Papi	er feeder: MF CF	PF:A3 PF1:A4					IP add Netmas	lress :1 k :2	30.10.90.1 55.255.0.0	186 1
	CF	PF2:B4		1		acket typ	Gatewa e : Discor	y :1 ded (Auto	30.10.1.1	
リンタの情報	CF	PF4:Letter PF5:B5		LANボードの	の情報 Net Wa	re status	: Mode Print	server:	isable (rp	printer
	Du	uplex-unit								
± ід Пориц	NetWare	PRINTE	R	a	己的心	Ē	暫に戻る			
共通 <mark>∫TCP/II</mark>	NetWare	PRINTE	R		記動	F	覧に戻る			
、 通 TCP/II 変更内容を有効に	NetWare たい場合は、	<mark>・ PRINTE</mark> . 最下行にす	R ある「変更内	(南容の送信)	<mark>記動</mark> 」ボタンをクリ	<mark>日</mark> ック後、再	覧に戻る 起動を行っ	てください	*	
共通 ↓TCP/II 変更内容を有効に 設定表示項目の分	NetWare たい場合は、 類	PRINTE 最下行にあ	R ある「変更内 完項日	(内容の送信	記動		<u>覧に戻る</u> 記動を行っ	てください	*	
共通 「TCP/II 変更内容を有効に 設定表示項目の分	NetWare したい場合は、 類	・ PRINTE 、最下行にす 設: ふ(デフォルト	R ある「変更体 定項目 値の流用を	●「「「」 内容の送信。 医推奨)	2前) Jボタンをクリ [[[[[[[[[[[[[[[[] []	・ ック後、再 設定内容 D1	<u>覧に戻る</u> 記動を行っ	てください	*	
 共通 丁CP/II 変更内容を有効に 設定表示項目の分 共通設定項目 	NetWare たい場合は、 類 マシン名 コメント	<mark>・ PRINTE</mark> 、最下行にす 設: ら(デフォルト	R ある「変更内 定項目 値の流用を	(中国) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国)	2000 Iボタンをクリ CP80000	・ ック後、再 設定内容 D1	「起動を行っ	てください	*	
 共通 丁CP/11 変更内容を有効に 設定表示項目の分 共通設定項目 	NetWare たい場合は、 類 マシン名 コメント 通信速度	 PRINTE 最下行にあ 設: (デフォルト) (デスカス) 	R ある「変更内 定項目 値の流用を	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	2000 Jボタンをクリ CP80000 自動	ック後、再 設定内容 01	<u>覧に戻る</u> 記動を行っ	てください	*	
も、通 「TCP/II] で 変更内容を有効に 設定表示項目の分 共通設定項目	NetWare たい場合は、 類 マシン名 コメント 通信速度 IPアドレ.	 PRINTE 最下行にあ 設: (デフォルト 寛決定方法 ス決定方法 	R ある「変更内 定項目 値の流用を	(「 内容の送信 を推奨)	200 Jボタンをクリ CP80000 自動 memory	ック後、再 設定内容 D1	覧に戻る 起動を行っ	てください	*	
も通 TOP/II 変更内容を有効に 設定表示項目の分 <u>共通設定項目</u>	NetWare たい場合は、 類 マシン名 コメント 通信速度 IPアドレ. IPアドレ	 PRINTE 最下行にあ 設 る(デフォルト 寛決定方法 ス決定方法 ス(設定用> 	R ゆる「変更内 定項目 値の流用を 	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	20) Jボタンをクリ CP8000 自動 memory 130.10.9	ック後、再 設定内容 D1	<u>覧に戻る</u> 記動を行っ	てください	*	
 株通 TCP/II 変更内容を有効に 設定表示項目の分 共通設定項目 	NetWare たい場合は、 類 マシン名 国信速度 IPアドレ IPアドレ ネットマン	 PRINTE 最下行にあ 設づ す。(デフォルト 意決定方法 ス決定方法 ス(設定用> スク 	R ある「変更体 定項目 値の流用を べてりの設定	(1) 内容の送信: 5) (注 推奨) (注 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	E動 ボタンをクリ CP80000 自動 130.10.9 255.255.	ック後、再 没定内容 01 0.186 0.0	<u>覧に戻る</u> 起動を行っ	てください	*	
 生通 TCP/II 変更内容を有効に 設定表示項目の分 共通設定項目 TCP/IP設定項目 	NetWare たい場合は、 類 マシン名 コメント 通信速度 IPアドレ、 アアドレ、 ネットマン ゲートウ:	 PRINTE 最下行にあ 設 (デフォルト (デフォルト (第) (1) <li< td=""><td>R 5る「変更体 定項目 値の流用を 代しの設定</td><td> 内容の送信 ぎ推奨〉 ぎ値〉 </td><td>E動 コボタンをクリ CP80000 自動 130.10.9 255.255. 130.10.1</td><td>ック後、再 登定内容 0.186 0.0 1</td><td>覧に戻る 記動を行っ</td><td>てください</td><td>*</td><td></td></li<>	R 5る「変更体 定項目 値の流用を 代しの設定	 内容の送信 ぎ推奨〉 ぎ値〉 	E動 コボタンをクリ CP80000 自動 130.10.9 255.255. 130.10.1	ック後、再 登定内容 0.186 0.0 1	覧に戻る 記動を行っ	てください	*	
 生通 TCP/II 変更内容を有効に 設定表示項目の分 共通設定項目 土通設定項目 TCP/IP設定項目 	NetWare たい場合は、 類 マシン名 コメント 通信速度 IPアドレ、 IPアドレ、 ネットマン ゲートウ: FTPパス	 PRINTE 最下行にあ 設 (デフォルト (デフォルト (美) (4) (5) (6) (6) (7) (7) <li< td=""><td>R 5る「変更体 定項目 値の流用を に に て りの設定</td><td>(1) 内容の送信 を推奨) 定値)</td><td>Efb ボタンをクリ CP80000 自動 130.10.9 255.255. 130.10.1</td><td>ック後、再 後定内容 D1 ・ 0.186 0.0 ・ 1 ・ する</td><td>覧(戻る 記動を行っ</td><td>てください</td><td>*</td><td></td></li<>	R 5る「変更体 定項目 値の流用を に に て りの設定	(1) 内容の送信 を推奨) 定値)	Efb ボタンをクリ CP80000 自動 130.10.9 255.255. 130.10.1	ック後、再 後定内容 D1 ・ 0.186 0.0 ・ 1 ・ する	覧(戻る 記動を行っ	てください	*	
 生通 TCP/II 変更内容を有効に 設定表示項目の分 共通設定項目 土通設定項目 TCP/IP設定項目 	NetWare たい場合は、 類 マシン名 コメント 通信速度 IPアドレ、 IPアドレ、 IPアドレ、 ネットマン ゲートウ: FTPパス Keep-	PRINTE PRINTE 最下行に ま で	R ゆる「変更内 定項目 値の流用を に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	(1) (内容の送信) (注推奨) (注値)	Efb コボタンをクリ CP80000 自動 130.10.9 255.255. 130.10.1 「使用 30	ック後、再 後定内容 D1 0.186 0.0 1.1 1 する	覧(戻る 記動を行っ	てください	*	
 共通 TCP/11 変更内容を有効に 設定表示項目のダ 共通設定項目 工CP/1P設定項目 	NetWare たい場合は、 類 マシン名 コメント 通信速度 IPアドレ、 ドアドレ、 ネットマン デートウ: FTPパス Keep- ブリンタオ	PRINTE 最下行に 最下行に ま で ま で フォルト ま な え な た て テ た ま た て フォルト ま な た て フォルト な な ス な な ス な て フォル な な ス な な ス な な ス な な ス な な ス な な ス な な ス な ス な ス な ス な ス な ス な ス な	R かる「変更内 定項目 値の流用を ペモリの設定 (ペーワの設定 (ペーク)~79秒) エアリセット	 (するの送信) を推奨) 室値) ・機能 	EDD ボタンをクリ CP80000 1 自動 130.10.9 255.255. 130.10.1 使用 30 マ 使用	ック後、再 後定内容 D1 0.186 00 1.1 する	<u>覧に戻る</u> 記動を行っ	てください	*	
 共通 「TCP/11 変更内容を有効に 設定表示項目のダ 共通設定項目 <u>井通設定項目 </u> <u>TCP/1P設定項目 </u> 	NetWare たい場合は、 類 マシン名 コメント 通信速度 ドアアドレ、 ネットマン ドロッドレ、 ネットマン ドロッドレ、 ネットマン ドロッドレ、 ネットマン ドロッドレ、 ネットマン ドロッドレ、 ネットマン ドロッド	 PRINTE 最下行にあ 設づフォルト (デフォルト (デフォルト (テフォルト (決定方法 ス(設定方法) (ジーレーレーレーレーレーレーレーレーレーレーレーレーレーレーレーレーレーレーレ	R た す な 「 変 更 内 で 項 目 値 の 流 用 な 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	(1) ななの 送信 を推奨) 定値)	ボタンをクリ 「CP80000 自動 130.10.9 255.255. 130.10.1 「使用 30 「使用	ック後、再 段定内容 0.186 0.0 1.1 する する する	覧(戻る 記動を行っ ▼	てください	*	
 共通 TCP/11 変更内容を有効に 設定表示項目の分 共通設定項目 工CP/1P設定項目 TCP/1P設定項目 SNMP設定項目 	NetWare たい場合は、 類 マシン名 コメント 通信速度 ドアドレ、 ネットマン ドロッドレ、 ドロッドレ、 ネットマン ドロッドレ、 ネットマン ドロッドレ、 シント ジートウン ドロッズ 「 「 「 「 「 「	PRINTE 最下行に 取 で 取 で フォルト 変 で マオルト 変 で マオルト 変 マス マテカ法 ス ス な マカ ス マ	R ある「変更内 定項目 値の流用を そりの設定 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	(1) 内容の送信 を推奨) 室(値) 室(値)	Iボタンをクリ CP8000 自動 130.10.9 255.255. 130.10.1 「使用 30 ド使用 public	ック後、再 後定内容 0.186 0.0 1.1 する する	覧(戻る 記動を行っ ▼	てください 	*	
 生通 TCP/11 変更内容を有効に 設定表示項目の分 共通設定項目 TCP/1P設定項目 TCP/1P設定項目 	NetWare たい場合は、 類 マシン名 コメント 通信速度 IPアドレ、 ネットマン FTPパス Keep ブリンタi SNMP コミュニラ TRAP/5	PRINTE 最下行に 取 で 取 で フォルト 変 で マカルト 変 で マカルト 変 で マカルト マカル マル マル	R た す る 「 変 更 内 こ で す 目 値 の 流 用 を す 日 一 で の 流 用 を す 日 一 の 流 用 を う の 流 用 を う の 流 用 を う の 、 、 用 を う の ふ 、 用 を う の ふ 、 用 を う の ふ 、 用 を う の ふ 、 用 を う の ふ 、 用 を う の ふ 、 用 を う 、 う の ふ 日 を う の ふ 、 用 を う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 の ふ 、 、 の ふ 、 、 の 、 う 、 、 う 、 、 、 の う 、 、 、 う 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	中容の送信 を推奨) を推奨) を値) を値)	Iボタンをクリ Iボタンをクリ CP80000 自動 130.10.9 255.255. 130.10.1 「使用 30 ビ使用 、 アし目に ・ス 130.10.1	ック後、再 後定内容 D1 0.186 0.0 1.1 する する 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1	覧(戻る 記動を行っ ↓	てください	*	

⑤ ヘルプページ。 🥙 ヘルプ画面 – Microsoft Internet Explorer _ D X ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) (図) 中止 (学) 更新 ヘルプページには設定項目に関する情報をまとめて **⊾**・ メール 4- \rightarrow (1) 印刷 進む 戻る ありますので、設定内容が解らない場合などに参照して アドレス(D) 🥑 http://130.10.90.186/help.html#TOP ください。 LAN I/Fボード CP-NW200Tのヘルブ 各項目名をクリックすると説明文へジャンプします。 目次 共通設定 ◆マシン名 ◆<u>⊐メント</u> ◆<u>通信速度決定方法</u> TCP/IPの設定 ● IP アドレス決定方法 ● IP アドレス決定方法 ● IP アドレス ◆ ネットマスク ● グートウェイアドレス ● ETPパスワード ◆<u>Keep-Alive時間</u> ◆<u>ブリンタ制御ソフトウェアリセット機能</u> SNMPの設定 ◆<u>コミュニティ名</u> ◆<u>Trapホストアドレス</u> NETWAREの共通設定 ◆<u>NetWareモード</u> ◆バケットタイプ リモートプリンタの設定 ◆ <u>プリントサーバ名</u> ◆ <u>タイムアウト時間</u> ◆SPXタイムアウトアボート ◆SPXタイムアウトリッスン ◆SPXタイムアウトベリファイ ブリントサーバの設定 ハットサーバの設定 ◆ファイルサーバ名 ◆ボーリングタイム ◆NetWare用バスワード ◆NCPオブションタイムアウト ◆NCPオブションリトライカウント プリンタの設定 ◆<u>バナー印字</u> ◆<u>タブサイズ</u> ◆プリンタタイプ • 🖉 ページが表示されました 📴 イントラネット

⑥ 変更内容の送信。

設定変更を行った後は、必ず最下行にある

変更内容の送信 ボタンをクリックして、設定変更 内容の送信を行いLANボードへ保存してください。

設定変更ページの有効時間は約5分間となっていま す。設定変更に時間が掛かる場合は、途中で変更内容の 送信を行ってください。約5分間経過しますとLANボ ードは管理者権限を解放し、Webページによる設定変更 を受け付けなくなります。約5分間を経過してしまって から変更内容の送信を行った場合は変更内容受付拒否ペ ージを表示します。(7参照) この場合は、設定変更 操作を始めから(1から)やり直してください。

※設定変更内容は、次回LANボードが正常に起動に起動 した後に有効になります。

(月起動) ボタンをクリックしてLANボードを再起動(リセット)してください。または、LANボードの[リセットSW]を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

後で再起動(リセット)を行う場合は、

一覧に戻る	をクリックして管理者権限を解放してくだ
さい。	

🛎 CASIO PAGEPRINTER W	Veb Monitor – Microsoft Internet Exp	olorer		
│ ファイル(<u>E</u>) 編集(E) 表	長示(⊻) お気に入り(<u>A</u>) ツール(T)	ヘルプ(円)		
		 (2) 図 (3) 検索 お気に入り 		 (1) (1)
アドレス(D) 🛃 http://130.1	10.90.186			▼
			2-12/2/2/2	
CASIO				
CASIO PAGEPRINT	ER Ethernet Board CP-NW	200T V	er.NC0T 2.01	
Port st Model In Version Paper f	tatus : Printer Ready(sleep) name : N5 No. : FPOK1.75/K4 feeder: MPF:A3 CPF1:A4 CPF2:B4 CPF2:B4 CPF3:A3 CPF4:Letter CPF5:B5 Duplex-unit	・ ANボードの情報 Net W	rnet address: 08:00 status : 10Bas IP status : 1P cc IP ad Netme Gatew packet type : Discc are status : Mode	:74:80:00:01 e/Half Duplex (Auto) nfig : memory dress : 130.10.80.188 sk : 255.255.0.0 ay : 130.10.1.1 rded (Auto) : Disable (rprinter)
[共通] [TCP/IP]	NetWare PRINTER	「「記動」		
	ftp/lpr時のバナー印字	- 印字	:する	
<u>フリンタ設定項目</u> ・prestoOの設定	ftp/lpr時、ジョブ開始文字列			
(Throughポート)	ftp/lpr時、ジョブ終了文字列			
	ftp/lpr時のブリンタタイプ	P R201		
	ftp/lpr時のバナー印字	印字	する	
・prestorの設定 (SJISポート)	ftp/lpr時、タブサイズ (0~132) 8		
	ttp/lpr時、ジョブ開始文字列			
	ttp/lpr時、ショフ統了文子列	P P001		
	ftp/lpr時のバナー印字		<u> </u>	
・presto2の設定	ftp/lpr時、タブサイズ (0~132) 8		
(EUCホート)	ftp/lpr時、ジョブ開始文字列			
	ftp/lpr時、ジョブ終了文字列			
★変更内容を有効にした	変更内容の送信	いた いた たりいっつ後、再起動	疹行ってください★	
④ ページが表示されました				 置 イントラネット /

⑦ 変更内容受付拒否時の操作。

設定変更ページの有効時間は約5分間となっていま す。

約5分間経過しますとLANボードは管理者権限を解 放し、Webページによる設定変更を受け付けなくなりま す。約5分間を経過してしまってから変更内容の送信を 行った場合は変更内容受付拒否ページを表示します。

この場合は、設定変更操作を始めから(1から)やり 直してください。



4.2. NetWare環境での設定

<u>NetWare環境</u>においては、IPXを使用する以下のユーティリティにてLANボードの設定を行うことができます。

ユーティリティ名	機能概要
IPX版設定ユーティリティ (LANCONF.EXE)	LANボードの内部設定の参照・変更に使用します。これによりLANボードの設定変数の設定が行えます。 また、LANボードの動作状態を表示することもできます。 MS-Windows 95/98/Me, MS-Windows NT 4.0, MS-Windows 2000, MS-Windows XPの各オペレーテ
	ィングシステム(OS)へIPX/SPX互換プロトコルを組み込んだ環境で動作します。 ※MS-DOS へ Novell Client を組み込んだ環境では動作しません。 詳しくはシステム管理者へお尋ねください。

IPX版設定ユーティリティでは、CP-NW100 Series の各製品(CP-NW100, CP-NW100L, CP-NW100SP, CP-NW110) へ付属しております「MS-DOS用ユーティリティ(CP1CONF.EXE)」の代わりとしてお使いいただきます。(但し、MS-DOS環境では動作しない、など、動作するOS環境は異なります。)。

CP-NW100 Series での設定可能項目は、 CP-NW100 Series の各製品(CP-NW100, CP-NW100L, CP-NW100SP, CP-NW110)の CD-ROMに収納されている取扱説明書をお読みください。

4.2.1.IPX版設定ユーティリティのインストール

① IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)をCD-ROMからインストールする場合。

i) 「IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)」をインストールするには、LANボード付属のCD-ROMのセットアッププログラム (STARTUP.EXE)から行います。 コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの "STARTUP.EXE"を実行してください。)

- ii) 「セットアップタイプ」の選択画面が表示されます。「カスタム」インストールを選択し【次へ(N)>】をクリックします。
- iii) 「コンポーネントの選択」画面が表示されます。
 「IPX版設定ユーティリティ」を選択(チェックボックスをオン)し、【次へ(N)>】をクリックします。
 この時、すでにインストール済みの他のコンポーネントは選択しないでください。
- iv) 「インストール先の選択」画面が表示されます。
 インストール先ディレクトリを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。
- v) 「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
 プログラムフォルダを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。
- vi) 「使用許諾契約」画面が表示されます。
 よくお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は【はい(Y)】をクリックしてください。
 インストールを中止する場合は【いいえ(N)>】をクリックしてください。
- vii) プログラムのインストールが開始されます。
- viii)「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。

Readmeファイルを表示する場合には【はい(Y)】をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。 本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

ix) 以上で「IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)」のインストールは終了しました。

② LANボード設定ユーティリティをフロッピーディスクからインストールする場合。

- i) 「IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)」をインストールするには、LANボード付属のCD-ROMから「IPX版設定ユーティリティ」の「FD作成」をおこなってください。 FD作成については「スタートアップメニュー」の【FD作成】をクリックし、画面の 指示に従って操作してください。 コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スター
 - トアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの "STARTUP.EXE" を実行してください。)
- ii) 「IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE) ディスク 1」をフロッピードライブへ挿入します。
- iii) 【スタート】をクリックし、【ファイル名を指定して実行(R)】をクリックします。
- iv) 「ファイル名を指定して実行」画面にて「A:¥SETUP.EXE」と入力し、【OK】をクリックするとインストールプログラムが起動します。
 ※ここではフロッピードライブが "A" ドライブでの説明です。 ドライブ番号は、ご利用になるコンピュータによって異なることがあります。
- v) 「セットアップ」画面が表示されます。
 【次へ(N)>】をクリックします。
- vi) 「使用許諾契約」画面が表示されます。
 よくお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は【はい(Y)】をクリックしてください。
 インストールを中止する場合は【いいえ(N)>】をクリックしてください。
- vii)「インストール先の選択」画面が表示されます。
 インストール先ディレクトリを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。
- viii) 「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
 プログラムフォルダを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

- ix) プログラムのインストールが開始されます。
- x) 「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。Readmeファイルを表示する場合には【はい(Y)】をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

xi) 以上で「IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)」のインストールは終了しました。

(4.2.2.IPX版設定ユーティリティの起動方法)

 「スタートメニュー」から起動する場合。
 [スタート] メニュー → [プログラム] →
 [CASIO SPEEDIA] に登録された
 [LANボード設定(コマンド)] ユーティリティを クリックします。

	プログラム(<u>P</u>)	۱ 📻	CASIO SPEEDIA	▶ 🗒	LANボート設定(コマント) Readme.txt
<u></u>	最近使ったファイル(<u>D</u>)	۱	アクセサリ	• 🍤	LANボード設定(コマンド)
🍇 I	設定(S)	ا 📻	スタートアップ	١T	,
्रि ः	検索(<u>C</u>)	١T		_	
. 🤣	ヘルプ(円)				
7	ファイル名を指定して実行(<u>R</u>)				
)	シャットダウン(山)				
R 7	<u>/9-</u>	_			

ファイル名を指定して実行」から起動する場合。

[スタート] メニュー → [ファイル名を指定して実行] にて開くダイアログの [名前] 欄に

「C:¥Program Files¥CASIO¥SPEEDIA¥LANCONF¥LANCONF.EXE」 と入力し、【OK】ボタンをクリックします。

※設定を行うLANボードのマシン名があらかじめ分かっている場合は、引数として指定することにより該当のLANボードとの通信を開始します。

(例)LANボードのマシン名(設定変数machine name設定文字列)が「CP800001」の場合、[名前]欄に

「C:¥Program Files¥CASIO¥SPEEDIA¥LANCONF¥LANCONF.EXE CP800001」 と入力します。

(4.2.3. IPX版設定ユーティリティの説明)

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を使用することにより、LANボードの内部設定の参照・変更を行うことができます。 また、LAN ボードの動作状態を表示することもできます。

4.2.3.1.LANボードへの接続方法

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を起動すると、お使いの NetWare環境で動作しているLANボードの検索を行います。検索には少々時 間が掛かりますのでしばらくお待ちください。検索が終了すると現在接続可 能なLANボードの一覧を表示します。

「999」を入力すると、再度LANボードの検索を行い、一覧表示を更新します。



表示された一覧より接続したいLANボードの [Number] を入力して 【Enter】 キーを押下してください。指定されたLANボードへの接続処理を開 始します。

Section 2017 Section 2017	
Search	
[0] EXIT	
[1] CP800001	
[2] CP800002	
[3] CP800003	
[999] RETRY	
Number[0-3,999]>1	
CASIO CP-NW200T Ver. NCOT 2.01	
User:	

選択したLANボードと接続できなかった場合、エラーメッセージを表示後、 再度一覧表示を行います。

<u>ک</u> ر	SLANホート*設定(17)ト*)	_ 🗆 🗵
		_
	Search	
	[0] EXIT	
	[1] CP800001	
	[2] CP800002	
	[3] CP800003	
	[999] RETRY	
	Number[0-3,999]> 3	
	LAN board not found.	
	[0] EXIT	
	[1] CP800001	
	[2] CP800002	
	[3] CP800003	
	[999] RETRY	
	Number[0-3,999]>	

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を起動する際、 <u>引数として</u>
LANボードのマシン名を指定した場合は現在接続可能なLANボードの一覧表
示は行わずに、指定されたLANボードへの接続処理を開始します。

為LANホード設定(17)トッシュレント、	
Search CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01 User:	

指定したLANボードと接続できなかった場合、LANボードの検索を行った後、一覧表示を行います。

Search [0] EXIT [1] CP800001 [2] CP800002 [3] CP800003 [0001 PETPY	×	は、一下設定(17)と、「二〇一×	
Search [0] EXIT [1] CP800001 [2] CP800002 [3] CP800003 [000] PETPY	-		
[0] EXIT [1] CP800001 [2] CP800002 [3] CP800003		ch	
[1] CP800001 [2] CP800002 [3] CP800003 [000] PETPV] EXIT	
[2] CP800002 [3] CP800003 [000] PETRY] CP800001	
[3] CP800003		CP800002	
[000] BETRY		CP800003	
999 REIRI		RETRY	
Number [0-3.999]>		er[0-3,999]>	

LANボードへ接続し、ユーザ名/パスワードを入力してログインを完了します。ログインが完了すると、入力したユーザ名を元にした プロンプトが表示されます。

CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01 USER: *cpadmin*

Password:

cpadmin>

※斜体部分を入力します。

- ・「USER:」と表示されるのでユーザ名を入力します。
- ・ユーザ名は管理者以外は特に定められてはいません。管理者のユーザ名は「*cpadmin*」です。
- ・管理者は更にパスワードを要求されますので設定されているパスワードを入力してください。(初期状態は未設定)
- ・管理者以外は以下のコマンドが使えません。

<u>set</u> <u>reset</u>

管理者のパスワードが不一致の場合、	[Login incorrect]	と表示されますので、	再度ユーザ名入力からやり直してください。	с
--------------------------	-------------------	------------	----------------------	---

CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01 USER: *cpadmin* Password:

Login incorrect

USER:

既に他の管理者がLANボードへ接続している場合、「Login incorrect. Already used by another administrator.」と 表示されますので、管理者以外のユーザ名を再度入力してください。

CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01 USER: *cpadmin* Password: Login incorrect. Already used by another administrator.

USER:
LANボードへ接続した状態で約5分間無操作状態が続きますと、LANボードはIPX設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)との接続を強制切断します。 IPX設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)は強制切断を検出すると終了しますので、操作を始めからやり直してください。

CASIO	CP-NW200T	Ver.NC0T	2.01
USER:	cpadmin		
Passwo	rd:		
cpadmi	n>		
cpadmi	n>		
Idle t	ime limit	reached.	

--- Hit any key to exit. ---

(4.2.3.2. 使用可能コマンド

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)にて使用可能なコマンドは、接続したLANボードの「<u>TELNET</u>」にて使用可能なコマンド と同じです。接続先LANボードが <u>CP-NW100 Series (CP-NW100, CP-NW100L, CP-NW100SP, CP-NW110)</u>の場合は、CP-NW100 <u>Series のマニュアルを参照</u>してください。ここでは CP-NW200T へ接続した場合の説明をします。

コマンドはプロンプト表示状態(「入力したユーザ名」+">")で入力してください。

cpadmin>**help**

① help コマンド

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)にて使用可能なコマンド一覧、各コマンドの入力ガイダンス、および各設定変数へ設定する値のガイダンスを表示します。

・コマンドー覧表示の例。

cpadmin> help	
set <parameter=value></parameter=value>	set parameter
show [parameter/section/all]	show parameter
stat	display status
quit	quit without saving
exit	save and exit
reset	save and reset
help [command]	display help
cpadmin>	
※ここで表示されたコマンドによって、	LANボードの設定内容を得、またその設定を変更することができます。製品では初期値
が設定されておりますが、 <u>nw_mode</u>	e, <u>pserver</u> , <u>fserver1~fserver4</u> などはご使用になる <u>NetWare環境</u> にあわせて変更してくだ

さい。

・各コマンドの入力ガイダンスの例

cpadmin> help sho Display parameter usage:show [param	W r meter/section/all]
Command	display what
show [network]	Basic parameters
show all	All parameters
show tcpip	TCP/IP communication parameters
show common	Common parameters
show snmp	SNMP parameters
show nw param	NetWare communication parameters
show port	Printing parameters
show port	Printing parameters

・各設定変数へ設定する値のガイダンスの例

cpadmin>**help nw_mode** nw_mode = disable/rprinter/pserver

cpadmin>**help link_mode**

link_mode = auto / 100M/Full / 100M/Half / 10M/Full / 10M/Half

cpadmin>

② show コマンド

指定した変数名、グループ名、または設定可能な変数すべての設定状態を表示します。

・変数名指定の例。

cpadmin> show nw_mode	
nw_mode	: rprinter
cpadmin>	

・グループ名指定の例。 ※「show」のみを入力した場合、「show network」と入力した場合と同じ表示となります

cpadmin> show network	
machine_name	: CP800001
comment	:
link_mode	: auto
ip config	: memory
ip address	: 130.10.90.186
netmask	: 255.255.0.0
gateway	: 130.10.1.1
print reset	: enable
nw mode	: rprinter
_	-
cpadmin>	

・設定可能な変数すべて(all)指定の例。

cpadmin> show all			
machine name	: CP800001	fserver1	:
comment	:	fserver2	:
link_mode	: auto	fserver3	:
ip_config	: memory	fserver4	:
ip_address	: 130.10.90.186	polltime	:15
netmask	: 255.255.0.0	nw_passwd	:
gateway	: 130.10.1.1	nw_ncp_timeout	: 3
ftp_passwd	: off	nw_ncp_retry	: 20
tcp_keep_alive	: 30	banner0	: off
print_reset	: enable	bojstring0	:
snmp_mode	: enable	eojstring0	:
snmp_name	: public	banner1	: off
snmp_host	: 130.10.1.10	bojstring1	:
nw_mode	: rprinter	eojstring1	:
nw_packet	: auto	printertypel	: PR201
pserver	:	tabsizel	: 8
timeout	: 10	banner2	: off
nw_spx_abort	: 30	bojstring2	:
nw_spx_listen	: 6	eojstring2	:
nw_spx_verify	: 3	printertype2	: PR201
		tabsize2	: 8
		cpadmin>	

※管理者用のパスワード設定変数「 admin passwd 」は一覧表示されません。

③ set コマンド

指定した変数名に数値または文字列を設定します。

※setコマンドは管理者専用コマンドです。

cpadmin> set com comment	ment=CASIO-Color-PagePrinter_2nd-floor_north-east-coner : comment=CASIO-Color-PagePrinter_2nd-floor_north-east-coner
cpadmin> set link	mode=100m/full
link_mode	: 100M/Full
cpadmin> set pse	rver=printserver1
pserver	: PRINTSERVER1
cpadmin>	
※設定した数値また	は文字列は、後述「 <u>exitコマンド</u> 」「 <u>resetコマンド</u> 」にて設定値の保存を行った後、LANボードの[<u>リセッ</u>
<u>トSW</u>] を押下する	るか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」して次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。
また、設定値の保	存を行わない場合は、後述「quitコマンド」にてIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)接続を終了して

ください。

特記事項: setコマンドを使用しますと、管理者用のパスワードを設定することができます。 パスワードは 英大文字/英小文字 / 数字 が設定可能です。 なお、英大文字と英小文字は区別されますのでご注意ください。

cpadmin> set admin	passwd=CASIO		
admin passwd	: CASIO		
_			
cpadmin>			

設定されている管理者用のパスワードを未設定状態にする場合は、「=」の後に何も入力せずにEnterキーを押下して送信してください。

cpadmin>**set admin_passwd=**

:

admin_passwd

cpadmin>

④ stat コマンド

LANボードの状態を表示します。

・基本情報表示の例。

cpadmin> stat					
CASIO CP-NW200T V	/er.	NCOT 2.01			
Ethernet address	:	08:00:74:80:00	:01		
Link status	:	100Base/Full D	uplex	(Auto)	
TCP/IP status	:	IP address	:	130.10.90.186	
		IP config	:	Memory	
		Netmask	:	255.255.0.0	
		gateway	:	130.10.1.1	
IPX packet type	:	IEEE802.2(Auto)		
NetWare status	:	Mode	:	rprinter	
		print server	:	PRINTSERVER1	
Printer status	:	Port status	:	Printer ready	
		Model name	:	N5300	
		Version No.	:	GV0K 1.73/K4	
		Paper feeder	:	MPF:A4	
				CPF1:A4	
				CPF2:B4	
				CPF3:A3	
				CPF4:Letter	
				CPF5:B5	
				CPF6:A4	
				Duplex-unit	
cpadmin>					

・印刷ジョブ情報表示の例。

cpadmin	stat qu	eue		
Rank	Job	Owner		User-ID
1st	100	130.10.90.100		PowerUser
2nd	101	130.10.90.101		Administrator
3rd	102	130.10.91.52		guest
4th	103	130.10.92.143		casiotaro
5th	104	130.10.90.104		PrintUser
6th	105	PRINTSERVER1	₩1	

cpadmin>

※1:NetWareによる印刷の場合、送信元のプリントサーバ名またはファイルサーバ名が表示されます。

・接続中ホスト情報表示の例。

cpadmin> stat hos	st
130.10.90.100	: ftp
130.10.90.101	: http 💥1
130.10.92.143	: telnet
130.10.90.104	: ftp
	· NetWare console 💥2

cpadmin>

※1:「http」はWWWブラウザにて設定変更を行っている場合に表示されます。

※2:「NetWare console」はIPX版設定ユーティリティにて接続中に表示されます。

⑤ quit コマンド

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了し接続を切断します。 <u>setコマンド</u>にて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存は行わずに破棄した後にIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了します。

cpadmin>**quit**

※ユーティリティが終了し、ウィンドウが閉じます。

⑥ exit コマンド

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了し接続を切断します。 <u>setコマンド</u>にて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存を行った後にIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了し、接続を切断します。

※保存した設定値は、次回LANボードが正常に起動に起動した後に有効になります。 LANボードの [<u>リセットSW</u>]を押下するか、 プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

cpadmin>**exit**

※ユーティリティが終了し、ウィンドウが閉じます。

※設定値の保存を行わない場合は、前述「quitコマンド」にてIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)接続を終了してください。

⑦ reset コマンド

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了し接続を切断した後、LANボードをリセットします。 <u>setコマンド</u>にて変数へ数 値または文字列を設定した場合は、設定値の保存を行った後にIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了し、接続切断→リセットを行います。

※resetコマンドは、管理者専用コマンドです。

cpadmin>**reset**

※ユーティリティが終了し、ウィンドウが閉じます。

5. 設定可能変数一覧

5.1. プリンタ本体の操作パネルで設定可能な変数一覧

 < ご注意 >
 下記プリンタ機種の場合、本LANボード(CP-NW200T)をご使用いただくためには、プリンタ本体のプリンタ制御ソフトウェアが以下のバージョンである必要があります。

 N5serirs、N4-614series、CP-E8000series ・・・・ プリンタ制御ソフトウェア Ver.1.73 以上
 ※ N6000series、N5000series、CP-E8500series は、初期バージョンよりご使用いただけます。

 「ステータスシート」を印刷(「オンライン」ボタンを押しながら電源スイッチを ON にします)し、バージョン をご確認ください。 例) //F-Cont Ver:GV0K1.73/K4
 最新のプリンタ制御ソフトウェアは、弊社インターネット・ホームページよりダウンロードすることが可能です。 カシオ ページプリンタ インターネット インフォメーション ホームページ http://www.casio.co.jp/ppr/

詳しくは、弊社インターネットインフォメーション http://www.casio.co.jp/ppr/ をご覧ください。

プリンタ本体の操作パネルで設定可能な変数は以下の5項目です。

※設定した内容は、操作パネルにて [オンライン] ボタンを押して、オンライン状態へ移行する際に保存されます。設定変更後は必ずオンライン状態にしてください。 また、保存した設定内容は次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。LANボードの [リセットSW] を押すか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

★プリンタ本体操作パネルの操作手順・操作例は、次ページ以降に記載してありますので参照してください。

【表 5	5.1. —	1 . [·]	プリンタ本体操作/	ペネルに	て設定可能な項目-	一覧
------	--------	-------------------------	-----------	------	-----------	----

設定項目名称	プリンタ本体 操作パネル表示名称	プリンタ本体操作パン	プリンタ本体操作パネルに表示される設定候補	
通信速度	Link Mode	Automatic	①設定候補選択キー(▲▼)で選択	link_mode
		100M/Full		
		100M/Half	②実行キーで確定	
		10M/Full		
		10M/Half		
IPアドレス	IP Config	Memory		ip_config
決定方法		RARP		
		BOOTP		
		DHCP		
IPアドレス	IP Address	0.0.0.0	①設定候補選択キー(▲▼)で数値を変更(0~255)	ip_address
		5	②ユーザキーで桁移動 XXX.xxx.xxx.xxx <	
		255.255.255.255		
サブネットマスク	Netmask	0.0.0.0		netmask
		5	xxx . xxx . XXX . xxx <	
		255.255.255.255	XXX . XXX . XXX . XXX /	
ゲートウェイ	IP Gateway	0.0.0.0		gateway
		5	③実行キーで全桁確定	
		255.255.255.255		

※各設定項目の説明は『<u>5.2. LANボードの設定変数一覧</u>』を参照してください。

■プリンタ本体へ本LANボード(CP-NW200T)を装着すると、操作パネルの設定メニューにて以下の項目が設定可能となります。

【H】 I / F設定、



【図 5.1.-1. プリンタ本体操作パネルの操作例】

<ボタンの操作>

- 「オンライン」ボタンを押してオフラインの状態にします。 i) (オンラインのランプが消えます。)
- ii) 「メニュー」ボタンを8回押します。 (「*」は現在設定されている内容です。)
- 「項月] ボタンを8回押し、「IP Address」の設定にします。 iii) (「*」は現在設定されている内容です。)

<パネルの表示例>









H8	ΙP	Add	dress	
(*19	92.1	68.	1.	<u>1</u>

(H9 Netmask * <u>0</u>. 0. 0. 0



iv) [▼] [▲] ボタンを押して、数値を変更します。

また、 [ユーザ] ボタンで桁が変わります。

- v) 最後の桁まで入力したら、 [実行] ボタンを押してください。全桁の値が設定 されます。 「*」が表示され、設定値が確定したことを表します。
- vi) [項目] ボタンを押して、「Netmask」(サブネットマスク)の設定に 進み、以降iv)~vi)の操作を行います。「Gateway」(デフォルトゲー トウェイ)も同様にiv)~vi)の操作で設定します。

vii) [オンライン] ボタンを押して通常表示に戻し、少し待ちます。

インサツ デ キマス

viii)最後にLANボードの[リセットSW]を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」

→「入」してください。

※N4-614 series をご利用いただいている場合、パネル設定項目は「I8 IP Address」「I9 Netmask」 「IA Gayeway」となります。上記ii)の手順で「メニュー」ボタンを「9回」押してください。 5.2. LANボードの設定変数一覧

TELNETおよびIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)にて設定した内容は、「exitコマンド」「reset コマンド」にて「設定値の保存」 を行った際に保存されます。 WWWブラウザにて設定した内容は、「変更内容の送信」操作を行った際に保存されます。これらの設定変更 は同時に行えませんが、プリンタ本体の操作パネルによる設定変更は同時に行えます。操作パネルで設定可能な5項目の変数は [オンライン] ボタンを押してオンライン状態へ移行する際に保存され、最終的には後から保存を行った設定内容が有効となりますので、ご注意ください。 なお、保存した設定内容は、次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。 LANボードの[リセットSW] を押すか、プリンタ本体 の電源を「切」→「入」してください。

変数グループ	変数名称/変数名	解記	デフォルト	
	管理者用	LANボード設定管理者用(ユーザ名: <i>cpadmin</i>)パスワードを指定します。	未設定	
	パスワード	未設定時は未入力で接続できますが、LANボードの設定を管理者以外が安易に変えられないよ		
	admin_passwd	うに設定することを推奨します。		
common	マシン名	LANボードのマシン名を指定します。デフォルト値での使用を推奨します。		
	machine_name	最大15Byteまで設定が可能です。英小文字で入力した場合、英大文字へ変換して設定します。		
		マシン名は、SNMPの標準MIBに定義している「システム管理名」、NetWareで使用する		
		「マシン名(ファイルサーバへ設定するプリントサーバ名、フリントサーバへ設定するプリンタ		
		名)」、などに使用します。		
	コメント	LANボードのコメントを指定します。最大48Byteまで指定が可能です。		
	comment			
	通信速度	通信速度の決定方法を指定します。		
	決定方法	LANボードは 10Base-T と 100Base-TX の通信速度、および全二重と半二重の通信モードで		
	link_mode	使用することができます。ご使用になるシステム環境で定められている通信速度/通信モード		
		を指定してください。		
		・auto指定時 : Auto Negotiation 機能を使用して 通信速度/通信モード を自動決定し		
		ます。		
		・100M/Full 指定時 :100Mbpsの通信速度、全二重の通信モード、で通信を行います。		
		・100M/Half 指定時 :100Mbpsの通信速度、半二重の通信モード、で通信を行います。		
		・10M/Full 指定時 : 10Mbpsの通信速度、全二重の通信モード、で通信を行います。		
		・10M/Half 指定時 :10Mbpsの通信速度、半二重の通信モード、で通信を行います。		

変数グループ	変数名称/変数名	解記	デフォルト
		※デフォルトでは「auto」になっています。通常は「auto」でお使いください。「auto」	
		でコンセントレータ(Hub)とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。	
		★「auto」以外に設定した場合、『セルフプリント』『LAN設定情報のEI帰』』『TELNET』 『WWW	
		ノフリサ』『IPX版設定ユーテイリテイ(LANCONF.EXE)』などで表示される通信速度(LINK_status)	
		は、実际に決定C11/2週間速度と共なる衣小になりより。付に「王―里(FUII)」に改たしに場合、 実際の通信速度は「半一重(Half)」であることがほとんどです。また、「10Mbns(10Base-T)」に設	
		定してLANケーブルの接続先が100Mbps(100Base-Tx)の「Fast Ethernet Hub」(スィッチングHub	
		ではありません)場合、表示上は通信速度が決定して「通信可能」となっていますが、実際には通	
		信速度が決定しておらず(Linkが確立いない)、通信が行えない状態となっています。 この場合、	
		LANボードの <u>オレンジ色のLEDが非常に短い周期で点滅</u> していますので、確認してください。	
tcpip	IPアドレス	IPアドレス決定方法を指定します。	memory
	決定方法	IPアドレスの設定方法を設定値に応じて決定します。	
	ip_config	・memory指定時:ip_addressの設定値をIPアドレスとして設定します。	
		・bootp指定時 : BOOTPを使用してIPアドレスを設定します。	
		・dhcp指定時 : DHCPを使用してIPアドレスを設定します。	
		・rarp指定時 :RARPを使用してIPアドレスを設定します。	
	IPアドレス	IP環境で使用するIPアドレスの値を指定します。(ip_configがmemoryの時に有効となります)	0.0.0.0
	ip_address	指定は「xxx.xxx.xxx」の形式で行います。	
		IPを使用する機器に与えられる番号です。 IPの環境ではこのような番号をアドレスと呼びま	
		す。IPアドレスはお客様がお使いになっている環境によって違います。また、ホストコンピュ	
		ータを含む他の機器と同じ番号をつけてはいけません。すなわち、他の機器が使用している番	
		号をご存知の方(一般的にはネットワーク管理者)から新しいIPアドレスを取得してください。	
		※{0.0.0.0}.{255.255.255.255}.{127.0.0.1}などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、	
		正常な通信が行えません。	
		★ip address を設定したにもかかわらず正常に通信が行えない場合『LAN設定情報の印刷』を行い、	
		ip_config, netmask, gateway の設定とあわせて確認してください。 IP address 欄に「0.0.0.0」と表示	
		される場合は設定値の誤り、ip_configがmemory以外の設定で、サーバ上で設定していない場合や該当	
		のサーバからの応答が無い、などが考えられます。また、設定値と異なる値が表示される場合は、	
		IP_coniigルimemory以外の設定となっています。	
	ネットマスク	IP境境で使用するサフネットマスクの値を指定します。	0.0.0.0
	netmask	指定は「xxx.xxx.xxx」の形式で行います。	
		受信したIPアドレス(印刷した方のアドレス)が外部のネットワークから送られたものか、内	
		部のHUB等で接続された機器から送られたものかを判断する場合に使用します。	

変数グループ	変数名称/変数名	解 説	デフォルト
		0.0.0.のが設定されている場合は、決定したIPアドレスを元に自動設定します。	
		サブネットマスクはネットワーク管理者の方が管理されていますので、お問い合わせください。	
		BOOTP/DHCPを使用して、BOOTPサーバ/DHCPサーバより取得したサブネットマスク値を	
		使用する場合は、0.0.0.0を指定してください。	
		※サブネットマスク値は、マスクのためのbit指定が上位bitより連続して「on」でなければなら	
		ず、異なる設定行った場合はエラーとなり決定したIPアドレスを元に自動設定されます。	
		例:netmask=255.255.160.0 の場合エラー。	
		(1111111b,111111b,1010000b,000000bの為)。	
		★netmask を設定したにもかかわらす外部ネットワーク環境との通信が正常に行えない場合、『LAN	
		設定情報のEPIAI』を行い ip_config, ip_address, gatewayの設定とあわせて確認してください。	
	ゲートウェイ	P環境で使用するゲートウェイのIPアドレスの値を指定します。	0.0.0.0
	gateway	指定は「xxx.xxx.xxx」の形式で行います。	
		IPは外部のネットワーク環境にアクセスができるように設計されています。インターネットは	
		この機能の有効な活用方法です。外部のネットワークに繋ぐ場合は接続に使用する機器が必要	
		になります(ルーター等)。この機器のIPアドレスを設定します。このアドレスを指定するこ	
		とで外部のネットワークと接続が可能になります。	
		ゲートウェイはネットワーク管理者の方が管理されていますので、お問い合わせください。	
		BOOTP/DHCPを使用して、BOOTPサーバ/DHCPサーバより取得したゲートウェイアドレス	
		を使用する場合は、0.0.0.0を指定してください。	
		※{0.0.0.0},{255.255.255.255},{127.0.0.1}などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、	
		外部ネットワーク環境との正常な通信が行えません。	
		※決定したIPアドレスとゲートウェイアドレス値が異なるサブネットワークとなった場合、ゲー	
		トウェイアドレスは無効となり外部ネットワーク環境との正常な通信が行えません。	
		例: ip_address=130.10.90.186, netmask=255.255.255.0, gateway=130.10.1.1の場合、ゲー	
		トウェイアドレスが異なるサブネットワークとなるため無効となります。	
		★gatewayを設定したにもかかわらず外部ネットワーク環境との通信が正常に行えない場合『LAN設定	
		定していない場合や該当のサーバからの応答が無い、などが考えられます。また、設定値と異なる値	
		が表示される場合は、ip_configがmemory以外の設定となっています。	

変数グループ	変数名称/変数名	解 説	デフォルト
	FTPパスワード	FTPにてLANボードへ接続した際の、パスワードの入力要求を指定します。	off
	ftp_passwd	パスワードの入力要求が必要なFTPクライアントを使用する場合に設定してください。	
		・on指定時 :FTP接続時にパスワードを要求します。	
		・off指定時 : FTP接続時にパスワードを要求しません。	
		※FTP接続時に指定したユーザ名がLANボード設定管理者用(ユーザ名:cpadmin)の場合は、	
		常にパスワードの入力要求を行い、入力されたパスワードの一致チェックを行います。	
		admin_passwd に設定されている文字列を正しく入力してください。不一致の場合はログイ	
		ンできません。	
		※FTP接続時に指定したユーザ名がLANボード設定管理者用以外の場合は、入力されたパスワー	
		ドの一致チェックを行いません。入力された文字列にかかわらずログインできます。	
	Keep-Alive時間	TCP・キープ・アライブ・パケットの送信間隔を指定します。(0~79秒)	30
	tcp_keep_alive	TCP通信でホストコンピュータとの通信が接続されているか切れているかを確認する為のパケ	
		ットを、キープ・アライブ・パケットと呼びます。このパケットを通信が途切れてからどの間	
		隔で送信するかを指定します。 tcp_keep_alive を設定すると、ホストコンピュータの異常を	
		検出しLANボード側からTCP接続を切断します。	
		「0」を設定すると、キープ・アライブ・パケットは送信されなくなります。但し、LANボードは	
		ホストコンピュータの異常を検出できなくなりTCP接続をLANボード側から切断できませんの	
		で、ホストコンピュータとの通信に異常が発生した場合は処理が止まったままとなります。	
	プリンタ制御	プリンタ制御ソフトウェアリセット機能の指定を行います。	enable
	ソフトウェア	・enable指定時 : プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用します。	
	リセット機能	・disable指定時 : プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用しません。	
	print_reset	ホストコンピュータにて印刷途中に「ドキュメントのキャンセル」を行った際、すでに印刷デ	
		ータのプリンタへの送信が開始されているとプリンタ内部に印刷データが残ってしまう場合が	
		あり、そのまま続けて印刷を行うと以降の印刷が正しく行えない場合があります。そのまま印	
		刷を行わずに一度プリンタの電源を再投入してから印刷を行えば正く印刷されますが、本LAN	
		ボードでは印刷途中に「ドキュメントのキャンセル」を行った場合などに、プリンタ電源の再	
		投入の代わりにプリンタ制御ソフトウェアのリセットを行いソフトウェアを電源投入直後と同	
		じ状態にするようにして(個別にプリンタへ登録したデータなどは削除されることがあります	
		ので、注意してください)、ホストコンピュータから続けて印刷を行っても以降の印刷を正し	
		く行うことができます。	

変数グループ	変数名称/変数名	解 説	デフォルト
		また、LPRにて印刷途中にホストコンピュータやネットワーク回線に異常が発生した際などで	
		は、キープ・アライブ・パケットの送信を行うことによりホストコンピュータの異常を検出し	
		て、LANボード側からTCP接続の切断を行いますが、この場合もプリンタ制御ソフトウェアの	
		リセットを行い、他のコンピュータからの印刷を正しく行うことができます。	
		この機能はホストコンピュータにて、CP-LPRを使用した印刷、Micosoft Windows NT/2000/XP	
		<u>のLPR</u> を使用したTCP/IPEI刷をお使いの場合に動作します。 ただし、Windows 2000/XPでは	
		「 <u>標準TCP/IPポートモニタの構成</u> 」にて「 <u>LPRバイトカウントを有効にする</u> 」を選択しないと	
		動作しません。なお、CASIO スピーディアマネージャ for Network にて「ドキュメントのキ	
		ャンセル」を行った場合は、プリンタ制御ソフトウェアのリセットを行わなくても正しい印刷	
		が継続されますので、この機能を使用する必要はありません。	
snmp	SNMPモード	SNMPの動作モードを指定します。	enable
	snmp_mode	LANボードは、IP環境においてSNMPを使用してプリンタの状態監視を行うことができます。	
		・enable指定時 : SNMPを使用します。	
		・disable指定時 : SNMPを使用しません。	
		「CASIO スピーディアマネージャ for Network」をご使用になる場合、必ず「enable」を指定	
		してください。	
	コミュニティ名	SNMPのコミュニティ名を指定します。	public
	snmp_name	最大16Byteまで指定可能です。	
	Trapホスト	SNMPの Cold Start Trapパケットを送信するホストのIPアドレスを指定します。	0.0.0.0
	snmp_host	指定は「xxx.xxx.xxx」の形式で行います。	
		LANボードはSNMPのポーリング(Get/Set Request PDU)へ正常応答した場合、応答先ホスト	
		コンピュータのIPアドレスを一定時間記憶し、プリンタの状態が変化した場合に記憶したホス	
		トコンピュータへ Trap パケットを送信します。Trapホストに設定されたホストコンピュータ	
		は、その1番目として記憶します。	
nw_param	NetWareモード	NetWareでLANボードを使用する場合の動作モードを設定します。	rprinter
	nw_mode	rprinter <u>リモートプリンタモード</u> で動作します。	
		リモートプリンタモードは、ファイルサーバ機もしくは専用のプリントサーバ機	
		上で動作するPSERVERを介して運用されるモードです。	
		※弊社としてはリモートプリンタモードでのご使用を推奨します。	

変数グループ	変数名称/変数名	解記	デフォルト	
		pserver プリントサーバモード で動作します。		
		プリントサーバモードは、LANボード上でPSERVERを動作させて運用するモー		
		ドです。		
		※NetWare 4.1J 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなり		
		ます。		
		disable 使用しない。		
		IP環境のみでご使用の場合で、NetWareを使用しない設定にします。		
	パケットタイプ	NetWareで使用するEthernetのパケットタイプを設定します。		
	nw_packet	auto 自動を選択します。		
		フレームタイプ(パケットタイプ)を起動時に、自動的に選択します。		
		フレームタイプを以下のように順次変更して、NetWareファイルサーバの検索		
		を行い、最初に発見したフレームタイプを以降のNetWareサーバとの通信にて		
		・ 検索順多 IEEE802.2 → IEEE802.3 → Ethernet II		
		NetWareファイルサーバが発見できなかった場合、NetWareは使用できませ		
		ん。 IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)による設定変更も行えません。		
		ieee802_2 IEEE802.2(LLC RAW ヘッダ付きの IEEE802.3)を選択します。		
		ieee802_3 IEEE802.3 を選択します。		
		Ethernet_ii Ethernet II を選択します。		
	プリント	接続するプリントサーバ名を設定します。 最大47Byteまで設定が可能です。英小文字で入力	未設定	
	サーバ名	した場合、英大文字へ変換して設定します。		
	pserver	リモートプリンタモードを使用する場合は必ず設定してください。		
		未設定の場合、リモートプリンタモードでは使用できません。		
	タイムアウト	リモートプリンタモードでのタイムアウト時間を設定します。 (1~255秒)	10	
	時間	リモートフリンタモードの印刷では、NetWareプリントサーバから送信される印刷データが一		
	timeout	定時間内に达信されに場合、連続した出刷ナータとして扱い、他のフロトコルによる出刷より 原生されます		
		愛光されま9。 印刷を行うアノリケーションによっては一連の印刷アータが複数の印刷 100 (112)ます。 ブークリング (112)またでは、これにたまた、これになった。		
		JUB(印刷十ユーナータ)に万割される場合がめりまりか、これらを進続して印刷したい場合に個		
		な入心へしみる。		

変数グループ	変数名称/変数名	解 説	デフォルト
	SPX	NetWareで使用するSPX監視停止タイムアウト時間を設定します。 (30~300秒)	30
	タイムアウト	リモートプリンタモードで応答が受け取れないとき、セッションを終了する前にSPXプロトコ	
	アボート	ルが特機する時間です。	
	nw_spx_abort	ネットワークが非常に遅い場合に値を大きくします。	
	SPX	NetWareで使用するSPX監視検査タイムアウト時間を設定します。 (1~180秒)	6
	タイムアウト	リモートプリンタモードでパケットが受信できないとき、接続が有効かどうか確認するパケッ	
	リッスン	トを送信するまでSPXプロトコルが特機する時間です。	
	nw_spx_listen	ネットワークが非常に遅い場合に値を大きくします。	
	SPX	NetWareで使用するSPX確認待機タイムアウト時間を設定します。 (1~15秒)	3
	タイムアウト	リモートプリンタモードでSPXプロトコルが接続が有効であることを示すパケットを送信する	
	ベリファイ	間隔です。	
	nw_spx_verify	値を小さくすると通信異常の検知が早くなりますが、ネットワークのトラフィックは多くなり	
		ます。	
	ファイル	ログイン(接続)するファイルサーバの名前を設定します。 それぞれ最大47Bytまで設定が可能	未設定
	サーバ名	です。英小文字で入力した場合、英大文字へ変換して設定します。	
	fserver1	プリントサーバモードでは最大4台のファイルサーバヘログイン(接続)することができます。プ	
	fserver2	リントサーバモードを使用する場合は、必ず1つ以上ファイルサーバ名を指定してください。	
	fserver3	指定が無い場合プリントサーバモードでは使用できません。	
	ISEIVEI4	同じファイルサーバ名を複数指定しないでください。	
	ポーリング間隔	プリントサーバモードでのポーリング間隔を設定します。 (1~255秒)	15
	polltime	この値を短くすると、ファイルサーバに転送された印刷データが、LANボード(プリンタ)へ転送	
		開始されるまでの時間が短くなりますが、頻繁にプリントキュー中のED刷データ(プリントジョ	
		ブ)の有無を調べるため、ファイルサーバの動作に影響を与えるか、もしくはネットワークに負	
		荷を与える可能性があります。	
	パスワード	NetWareで使用するパスワードを設定します。 最大15Byteまで設定が可能です。英小文字で	未設定
	(NetWare)	入力した場合、英大文字へ変換して設定します。	
	nw_passwd	プリントサーバモードの場合、LANボードがプリントサーバとなりファイルサーバへログイン	
		するかたちとなりますが、この際に使用するパスワードを設定します。	
		PCONSOLE上の「プリントサーバ情報」にて「パスワード」を設定した場合、同じ文字列を	
		設定してください。	

変数グループ	変数名称/変数名	解 説	デフォルト		
	NCPオプション	NetWareで使用するNCPタイムアウト時間を設定します。 (1~255秒)	3		
	タイムアウト	プリントサーバモードでのポーリングパケットの応答が受信できないとき、再送信を行うまで			
	nw_ncp_timeout	NCPが特機する時間です。			
		ネットワークが非常に遅い場合に大きくします。			
	NCPオプション	NetWareで使用するNCPパケット再送信回数を設定します。 (1~255回)	20		
	リトライ	ネットワーク上で多くのパケットが失われる場合は、この値を増やす必要があります。			
	カウント	この値を増やすとマシン名の登録など、一部のネットワーク機能の実施に要する時間が長くな			
	nw_ncp_retry	ります。			
port	バナー印刷	FTP/LPRによる印刷時のバナー印刷の指定を行います。	off		
	banner0	・on指定時 : FTP/LPRによる印刷時、バナーの印刷を行います。			
	banner1	・off指定時 : FTP/LPRによる印刷時、バナーの印刷を行いません。			
	banner2				
			+∋∩⇔		
		FIP/LPRによる印刷時、印刷開始時に出力されるナータ列を指定します。 立 南国を見たっていたく、 地向できます	木設正		
	人子列 beietring0	乂子州を取入 32Byte 江、 指定 (さま9。 ************************************			
	bojstringt	行林又子を指足9る時は以下のように指足してくたさい。			
	bojstring?				
	<u>×1</u>				
		+8 進数指定 · ¥nnn 例 · ¥116 (ASCII+ヤフクターN) を指定)			
			-+=0,		
	ショノ終了	FTP/LPR による印刷時、印刷終了時に出力されるテータ列を指定します。	未設定		
	又子列	又字列を最大32Byte分、指定できます。			
	eojstring0	特殊文字を指定する時は以下のように指定してくたさい。			
	eojstring?	·CR (0dH) : ¥r			
	×1	• LF (OaH) : ¥n			
	<u>2011</u>	• IAB (09H) : ¥t			
		· FF (UCH) : ¥t			
		·¥ (5cH)∶¥¥			

変数グループ	変数名称/変数名	解 説	デフォルト
		・8 進数指定 : ¥nnn 例:¥116 (ASCIIキャラクタ「N」を指定)	
		・16進数指定 : ¥xnn 例:¥x4E (ASCIIキャラクタ「N」を指定)	
	プリンタタイプ printertype1 printertype2 <u>※1</u>	FTP/LPRによるEIPRI時、EIPRIデータ内のシフトJIS漢字コードまたはEUC-JIS漢字コードをJIS 漢字コードへ変換する際のプリンタのタイプを指定します。 EIPRIデータの変換機能(漢字フィルタ機能)では、ANK文字ピッチ10CPI指定,漢字:ANK文 字ピッチ比率=2:1指定,6LPI指定,をEIPRI開始時に設定し、受信したEIPRIデータ中のシフトJIS 漢字コードまたはEUC-JIS漢字コードをJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコー ドへ変換して出力しますので、指定したプリンタタイプとプリンタ本体のプリンタモードの設 定が合致していないと、正しいEIPRIA結果が得られません。 printertype1には、シフトJIS漢字コードをJIS漢字コードへ変換する際のプリンタタイプを指定 します。	pr201
		printertype2には、EUC-JIS漢字コードをJIS漢字コードへ変換する際のプリンタタイプを指定します。 ・pr201指定時 : PC-PR201H系のプリンタ制御コードを含むJIS漢字コードへ変換します。 プリンタ本体のプリンタモード(エミュレーション)を「201H」に設定してくだ さい。 ・esc/p指定時 : ESC/P系のプリンタ制御コードを含むJIS漢字コードへ変換します。 プリンタ本体のプリンタモード(エミュレーション)を「ESC/P」に設定してく ださい。	
	タブサイズ tabsize1 tabsize2 <u>※1</u>	FTP/LPRによる印刷時、受信した印刷データ中の水平タブコードをスペースコードへ変換して 出力する際のタブストップ目標桁位置間隔を設定します。(0~132桁) 「0」を指定すると水平タブコードはスペースコードへ変換されず、そのまま印刷を行います。	8

※1:各変数の末尾の数字は印刷用のプリンタポートを示しています。

末尾の数字	機能	印刷用ブ	リンタポートの名称
0	印刷データの変換機能(漢字フィルタ機能)を使用せずに受信し	lp0	通常はこちらをお使いください。
	た印刷データをそのまま出力します。		CP-NW200シリーズより新規サポートされました。
		presto0	弊社旧製品との互換用です。
			将来機能制限が発生する場合があります。
1	印刷データの変換機能(漢字フィルタ機能)を使用して、受信し	lp1	CP-NW200シリーズより新規サポートされました。
	たEIF刷データ中のシフトJIS漢字コードを設定変数printertype1へ	presto1	弊社旧製品との互換用です。
	設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換、水平タブ		将来機能制限が発生する場合があります。
	コードをスペースコードへ変換して出力します。		
2	印刷データの変換機能(漢字フィルタ機能)を使用して、受信し	lp2	CP-NW200シリーズより新規サポートされました。
	た印刷データ中のEUC-JIS漢字コードを設定変数printertype2へ	presto2	弊社旧製品との互換用です。
	設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換、水平タブ		将来機能制限が発生する場合があります。
	コードをスペースコードへ変換して出力します。		

カ シ オ 計 算 機 株 式 会 社 システムソリューション営業統轄部	ページプリンタ企画室	SPEEDIA CP-NW200T
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2 電話 03-5334-4552	2	Ethernet Board マニュアル 2005年6月21日 第2.1版発行
東京地区 西日本地区	電話 03-5334-4550 電話 06-6243-2100	カ シ オ 計 算 機 株 式 会 社 カ シ オ 電 子 工 業 株 式 会 社
中部地区 カシオ情報機器 北海道地区 カシオ情報機器 東北地区 カシオ情報機器 中国地区	電話 052-324-2135 電話 011-221-7891 電話 022-718-0650 電話 082-239-1500	*本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外 国では電源仕様などが異なるため使用できません。 また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によって異なります。本 装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰 則が料せられることがあります。
カシオ情報機器 四国地区 カシオ情報機器 九州地区 テクニカル・インフォメーション・センター	電話 087-862-8822 電話 092-475-3939 - 電話 03-5334-4557	
インターネット・ホームページ <u>h</u>	ttp://www.casio.co.jp/ppr/	© CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO., LTD.